2024年春季第36回華鐘コンサルタント中国セミナー

新しい発展段階に挑戦する
中国経済の現況

2024年5月23日（ネットセミナー）

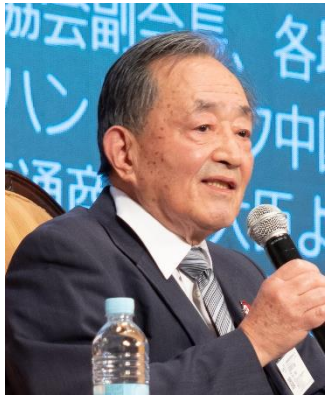
華鐘コンサルタントグループ
董事長　古林恒雄

(Mail:shcsskr@shcs.com.cn　HP:www.shcs.com.cn)

セミナー講師紹介

古林　恒雄

華鐘コンサルタントグループ　代表



（経歴）1965年東京大学工学部卒業、鐘紡㈱入社。75年初訪中の技術紹介が成功し、78年から84年まで上海石化向けPETプラント輸出の現地総代表。85年より中国室長、中国首席代表として中国事業開発に従事、20数社の合弁会社を設立運営。94年上海華鐘コンサルタントサービス㈲、05年株式会社華鐘コンサルティング、上海華鐘投資コンサルティング㈲、09年上海華鐘信息管理コンサルティング㈲を設立、董事長を兼任。上海外国投資促進センター高級顧問、上海市外商投資企業協会副会長、各地人民政府、開発区顧問など。主な著書に『海外職業訓練ハンドブック中国編』(共著、98年11月㈶海外職業訓練協会)他多数。00年通商産業大臣より海外経済協力貢献者表彰、03年上海市白玉蘭記念奨、07年同栄誉奨受賞、09年中国の永住許可証を取得。11年中国30年の業務歴を取材した「中国ビジネスは俺にまかせろ」（山田清機著、朝日新聞出版）出版、17年上海総領事館総領事表彰、23年日本国外務大臣表彰。

Copyright © 2024　HuaZhong Consulting Group　All Rights Reserved.

本日のお話し

Ⅰ. 新しい発展段階を模索して挑戦する中国経済

Ⅱ. 世界の中のアメリカ、中国、日本経済のポジションの変化

Ⅲ. 現状の中国経済の懸案事項を検討する

Ⅳ. 避けられない中国、アメリカ、日本の貿易での相互依存体質

Ⅴ. 中国におけるNEV(New Energy Vehicle)化の現状

Ⅵ. その他の話題

Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

Ⅰ. 新しい発展段階を模索して挑戦する中国経済

-第14期第2回全人代における李強総理の政治活動報告では、2024年の成長目標は5%前後で昨年と同じ第1四半期の実質GDP成長率＋5.3%、しかし名目GDP成長率は＋4.2%。4四半期連続で実質GDPの成長率より名目GDP成長率が低い。昨年一年全体も実質GDP成長率＋5.2%、名目GDP成長率＋4.6%。

-2021年、22年、23年の「中国/アメリカの経済規模比率」は75.3%、69.3%、64.6%

3年のうちに実に75.3%から64.6%まで、10.7%も中国のアメリカに対するGDP比率が後退した

人民元対米ドルは2021年:6.4元/1ドル、2022年:6.8元/1ドル、2023年:7.2元/1ドルと人民元安。

-もはや必ずしも「中国は世界の工場」ではない。2030年代、或いは2040年代には中国は経済規模でアメリカを抜くだろう、との予測は、今後は消えるであろう。但し当面、中国は世界経済成長の最大のトップランナー、貢献国であることに変わりはない。

-2035年までに2020年の1人当たりGDPを2倍にするとの公約？は人民元ベースの話であり、為替レートには関係がない。15年間でGDPを2倍にする為には、人民元ベースで年率平均4.7%の成長が必要。無理かもしれないが、当面は目標として忘れないであろう。しかし日本のように通貨安でドルベースでは経済規模がどんどん縮小するのでは意味が無い。

Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

第14期第2回全人代における李強総理の政治活動報告

項　　目	2023年目標	実績	2024年目標	実績
GDP国内総生産（実質）	5%前後	5.2%	5%前後	
GDP国内総生産（名目）	無し	4.6%	無し	
CPI消費者物価上昇率	3%前後	0.2%	3%前後	
食料生産量	6.5億トン以上	6.95億トン	6.5億トン以上	
都市部調査失業率	5.5%前後	5.2%	5.5%前後	
対GDP比の財政赤字	3%	3.8%	3%	
個人所得増加率	GDP成長率とほぼ同じ	6.1%	GDP成長率とほぼ同じ	
都市部新規就業者率	1,200万人前後	1244万人	1,200万人前後	
都市化率		66.2%		
GDP単位エネルギ消費量	前年比マイナス		前年比2.5%前後減少	
超長期特別国債発行		（1兆元）	1兆元	
専項債券（レベニュー債）	3.8兆元	3.8兆元	3.9兆元	

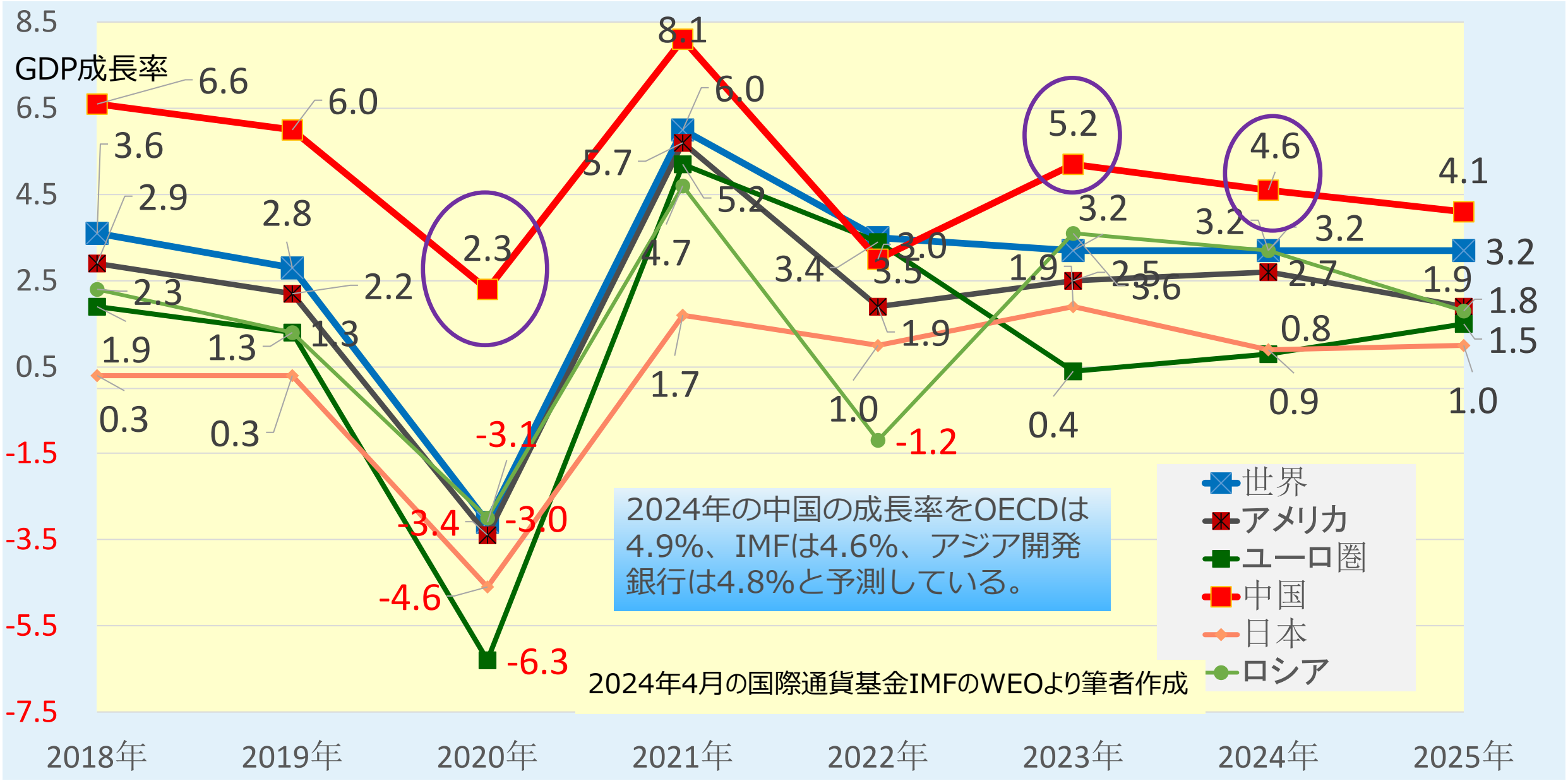
Copyright © 2024　HuaZhong Consulting Group　All Rights Reserved.

世界経済の実質GDPの成長率予測（IMF2024.4月発表のWEO）

	実績					予測		2024年1月との差	
	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2024	2025
世界経済成長率	**2.8**	**-3.1**	**6.0**	**3.5**	**3.2**	**3.2**	**3.2**	**0.1**	**0.0**
先進国・地域	1.6	-4.5	5.2	2.6	1.6	**1.7**	1.8	0.2	0.0
アメリカ	**2.2**	**-3.4**	**5.7**	**2.1**	**2.5**	**2.7**	**1.9**	**0.6**	**0.2**
ユーロ圏	1.3	-6.3	5.2	3.3	0.4	0.8	1.5	-0.1	-0.2
ドイツ	0.6	-4.6	2.6	1.8	-0.3	0.2	1.3	-0.3	-0.3
フランス	1.5	-8.0	6.8	2.5	0.9	0.7	1.4	-0.3	-0.3
イタリア	0.3	-8.9	6.6	3.7	0.9	0.7	0.7	0.0	-0.4
スペイン	2	-10.8	5.1	5.8	2.5	1.9	2.1	0.4	0.0
日本	**0.3**	**-4.6**	**1.7**	**1.0**	**1.9**	**0.9**	**1.0**	**0.0**	**0.2**
英国	1.4	-9.8	7.4	4.1	0.1	0.5	1.5	-0.1	-0.1
カナダ	1.9	-5.3	4.5	3.4	1.1	1.2	2.3	-0.2	0.0
発展途上国	3.6	-2.1	6.6	4.1	4.3	4.2	4.2	0.1	0.0
ロシア	1.3	-3.0	4.7	-2.1	3.6	3.2	1.8	0.6	0.7
中国	**6.0**	**2.3**	**8.1**	**3.0**	**5.2**	**4.6**	**4.1**	**0.0**	**0.0**
インド	4.2	-7.3	8.7	7.2	7.8	6.8	6.5	0.3	0.0
アセアン５	4.9	-3.4	3.4	5.5	4.1	4.5	4.6	-0.2	0.2
ブラジル	1.4	-4.1	4.6	2.9	2.9	2.2	2.1	0.5	0.2
メキシコ	-0.1	-8.3	4.8	3.9	3.2	2.4	1.4	-0.3	-0.1
サウジアラビア	0.3	-4.1	3.2	8.7	-0.8	2.6	6.0	-0.1	0.5
南アフリカ	0.2	-6.4	4.9	1.9	0.6	0.9	1.2	-0.1	-0.1

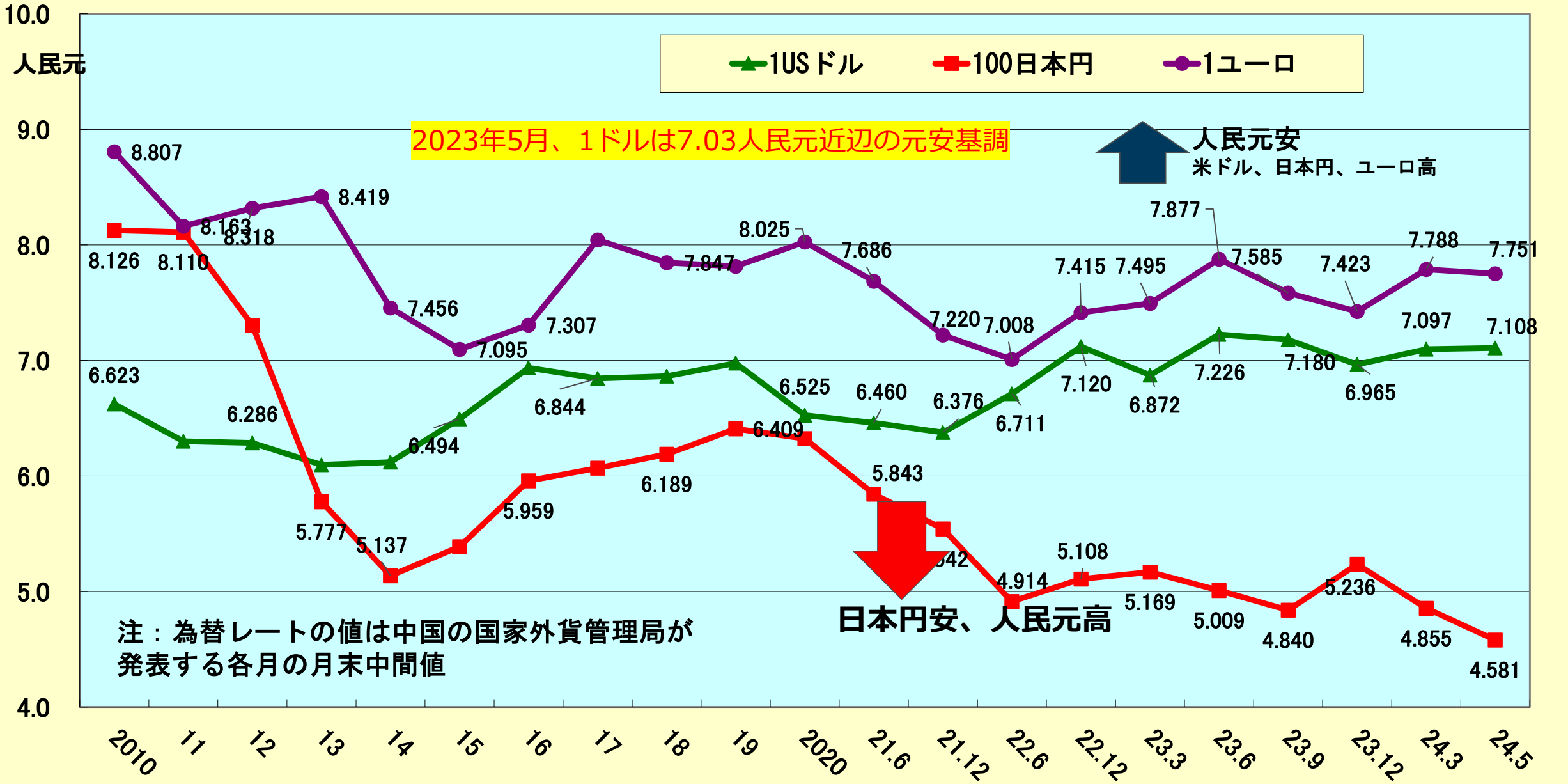
Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

コロナ禍後の世界及び各国GDP成長率（IMF2024.4月発表WEO）



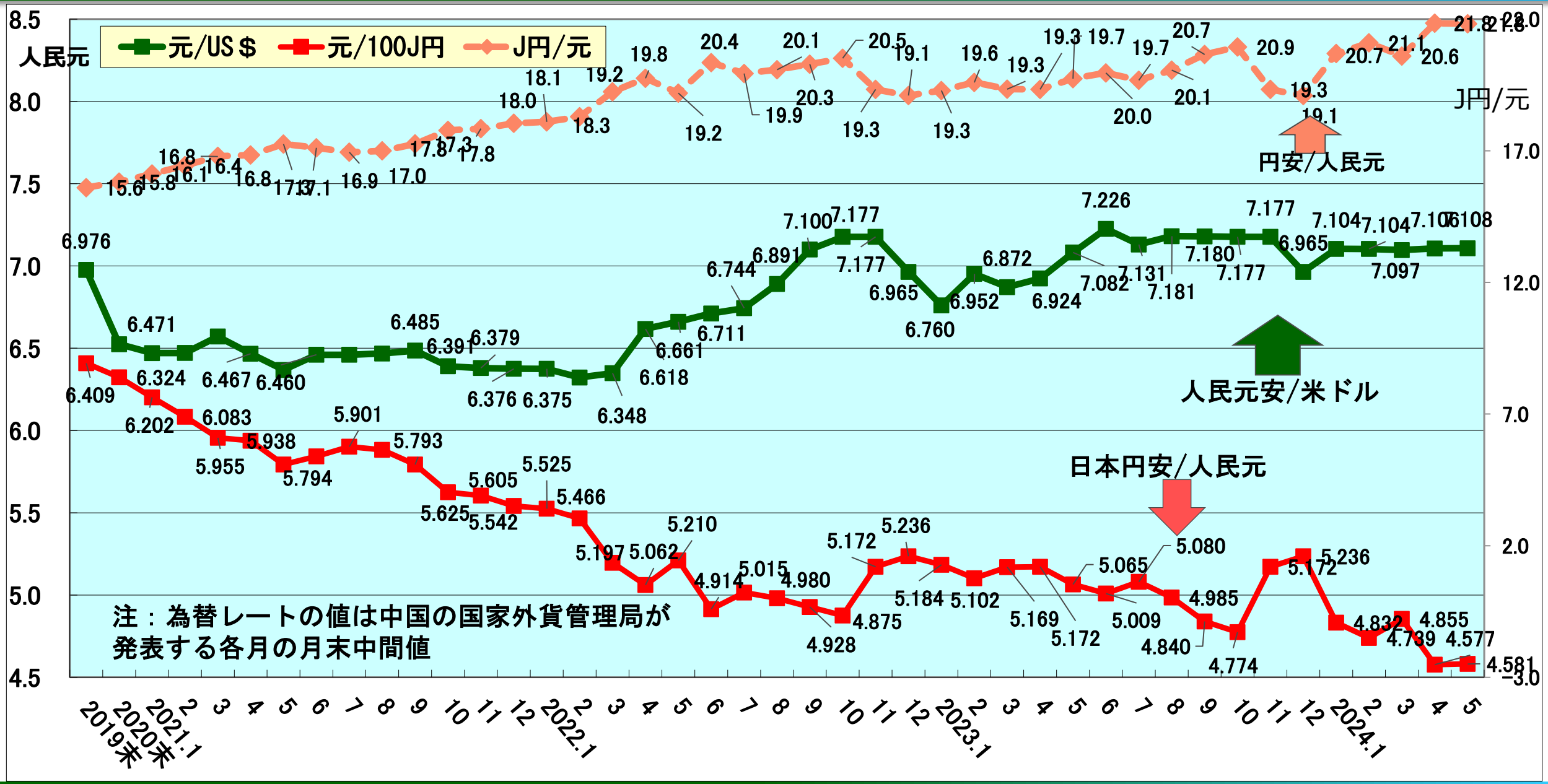
Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

主要通貨に対する人民元為替レート



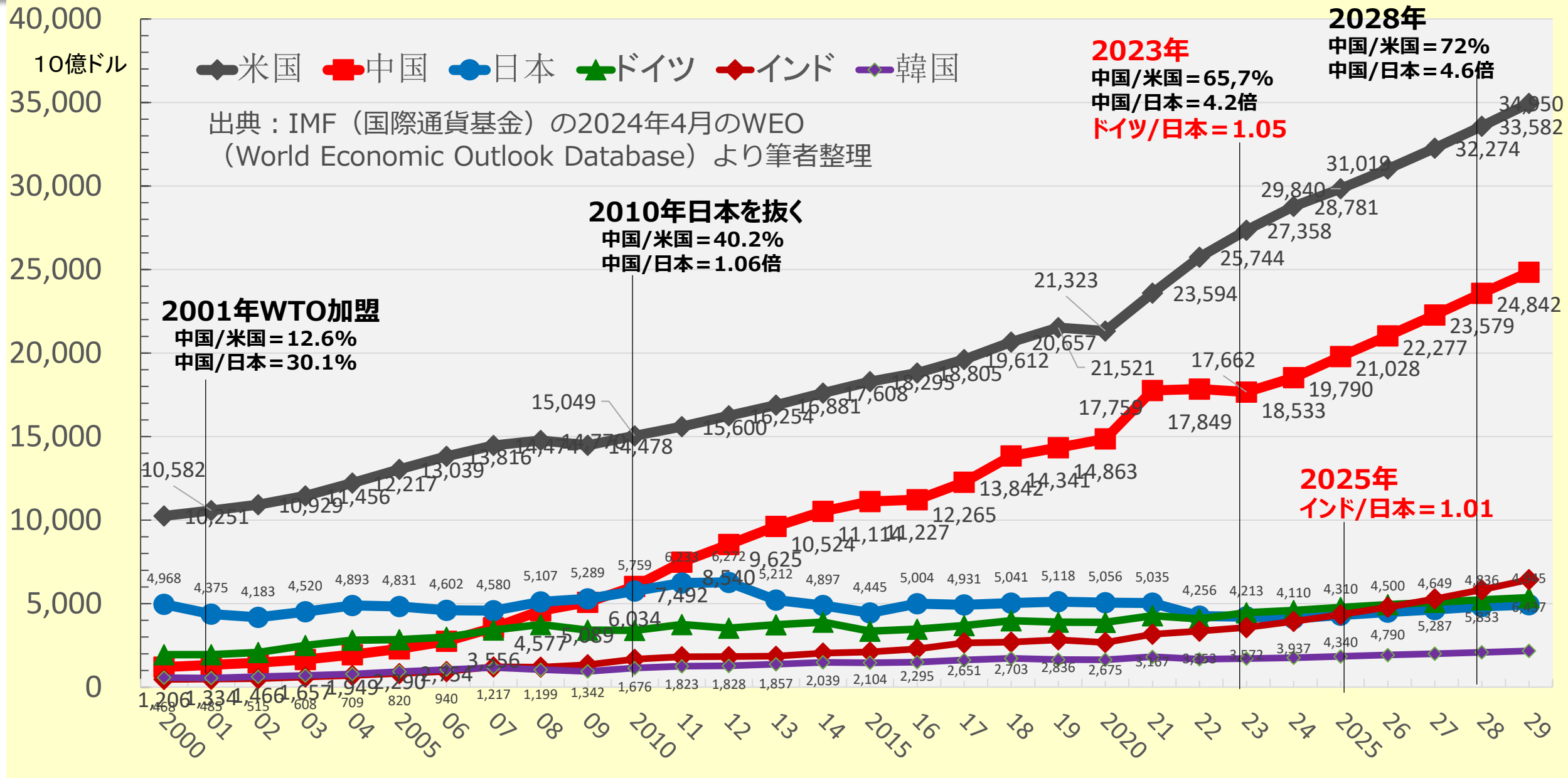
Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

主要通貨に対する人民元為替レート



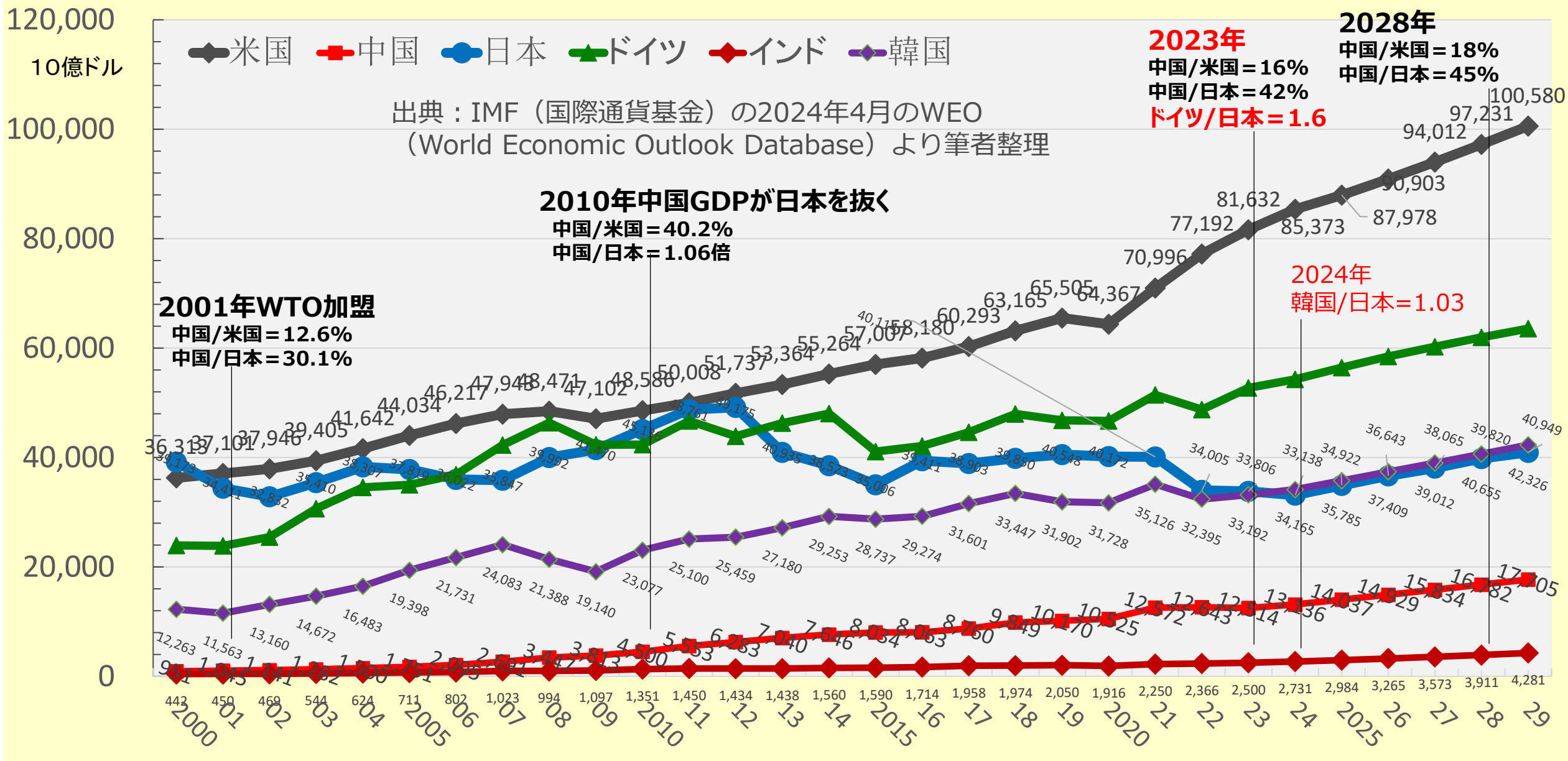
Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

主要国の名目GDPの推移（IMF2024.4月発表のWEO）



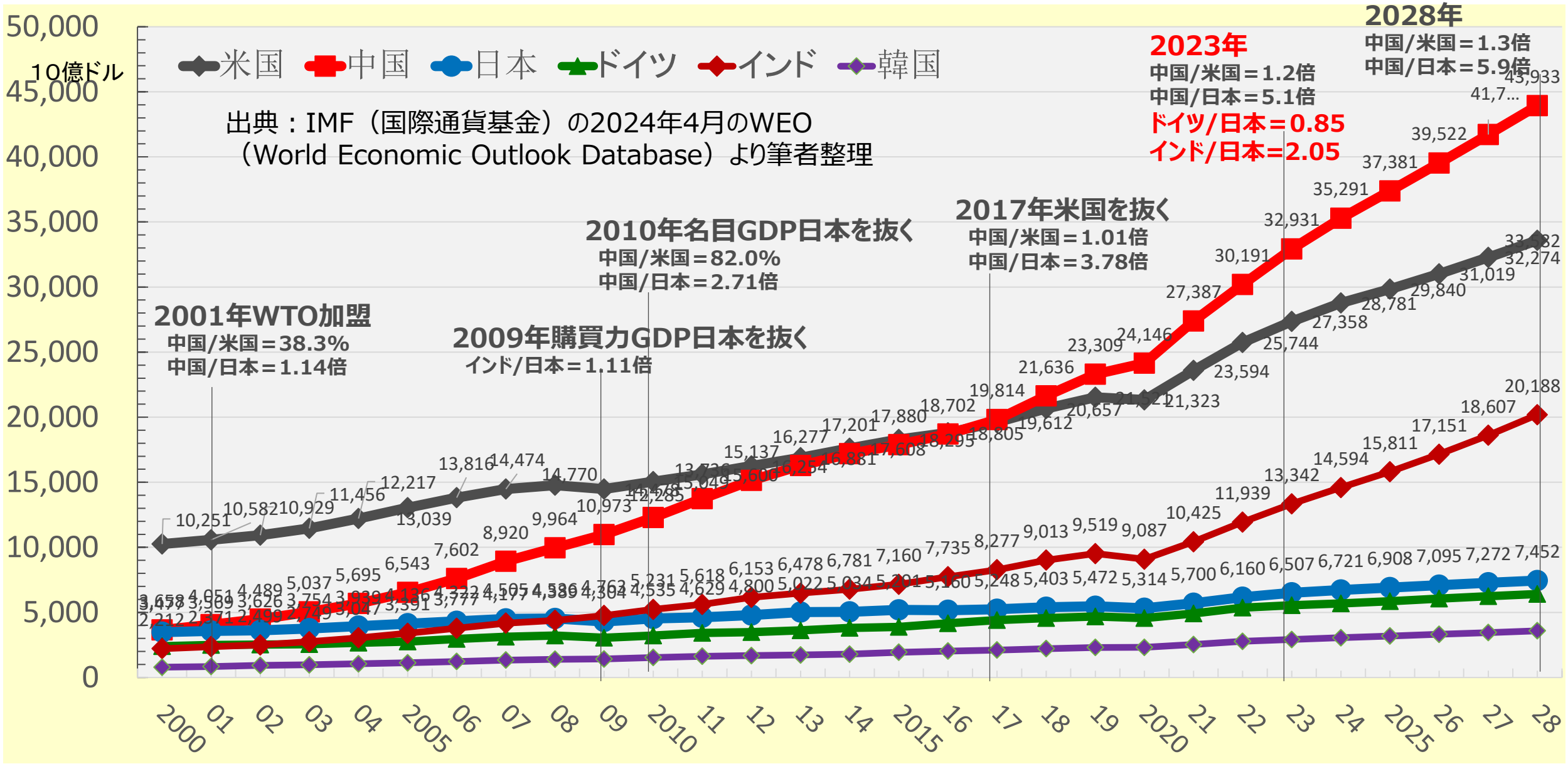
Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

主要国の1人当たり名目GDP（IMF2024.4月発表のWEO）



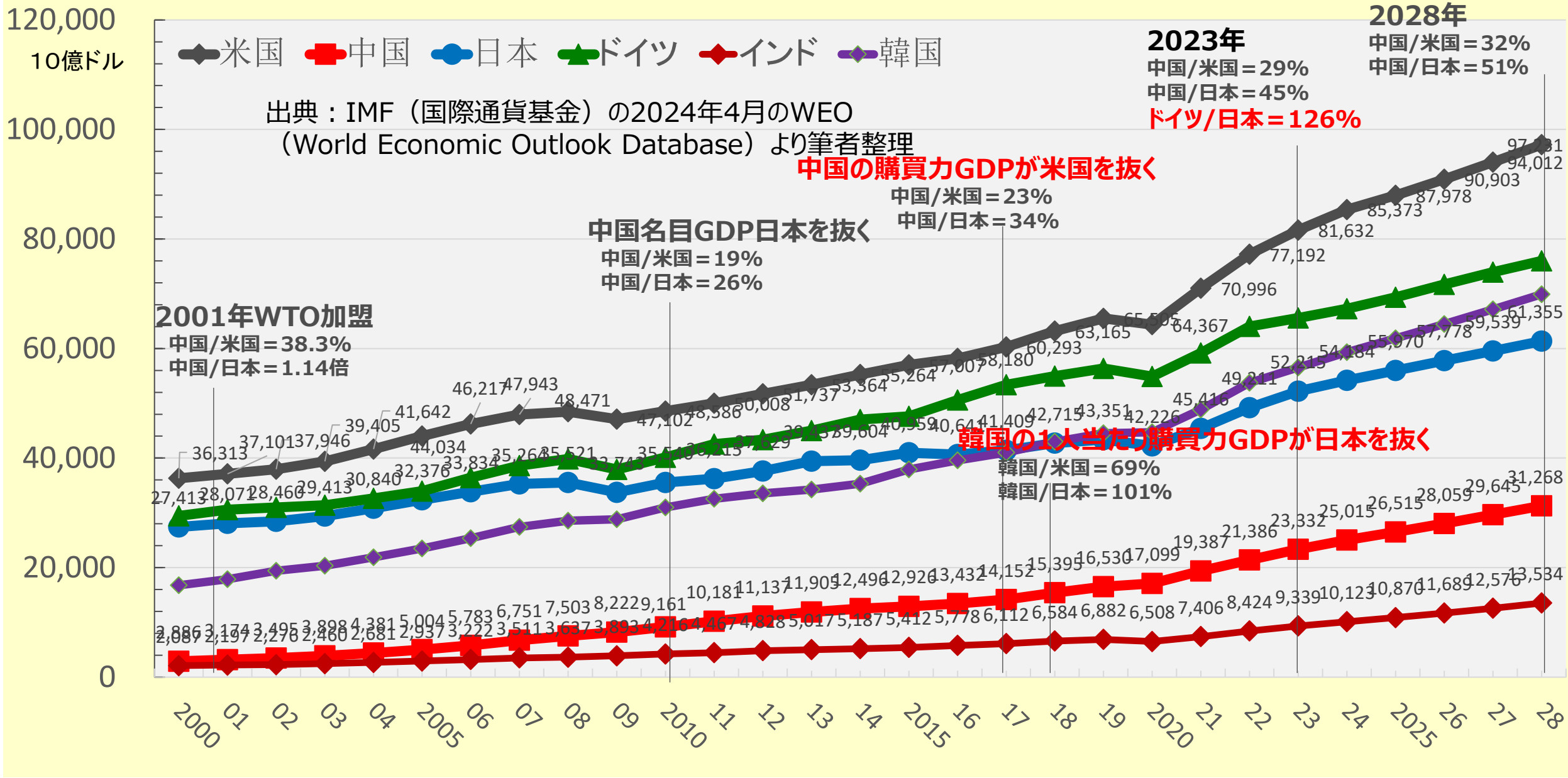
Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

主要国の購買力平価GDPの推移（IMF2024.4月発表のWEO）



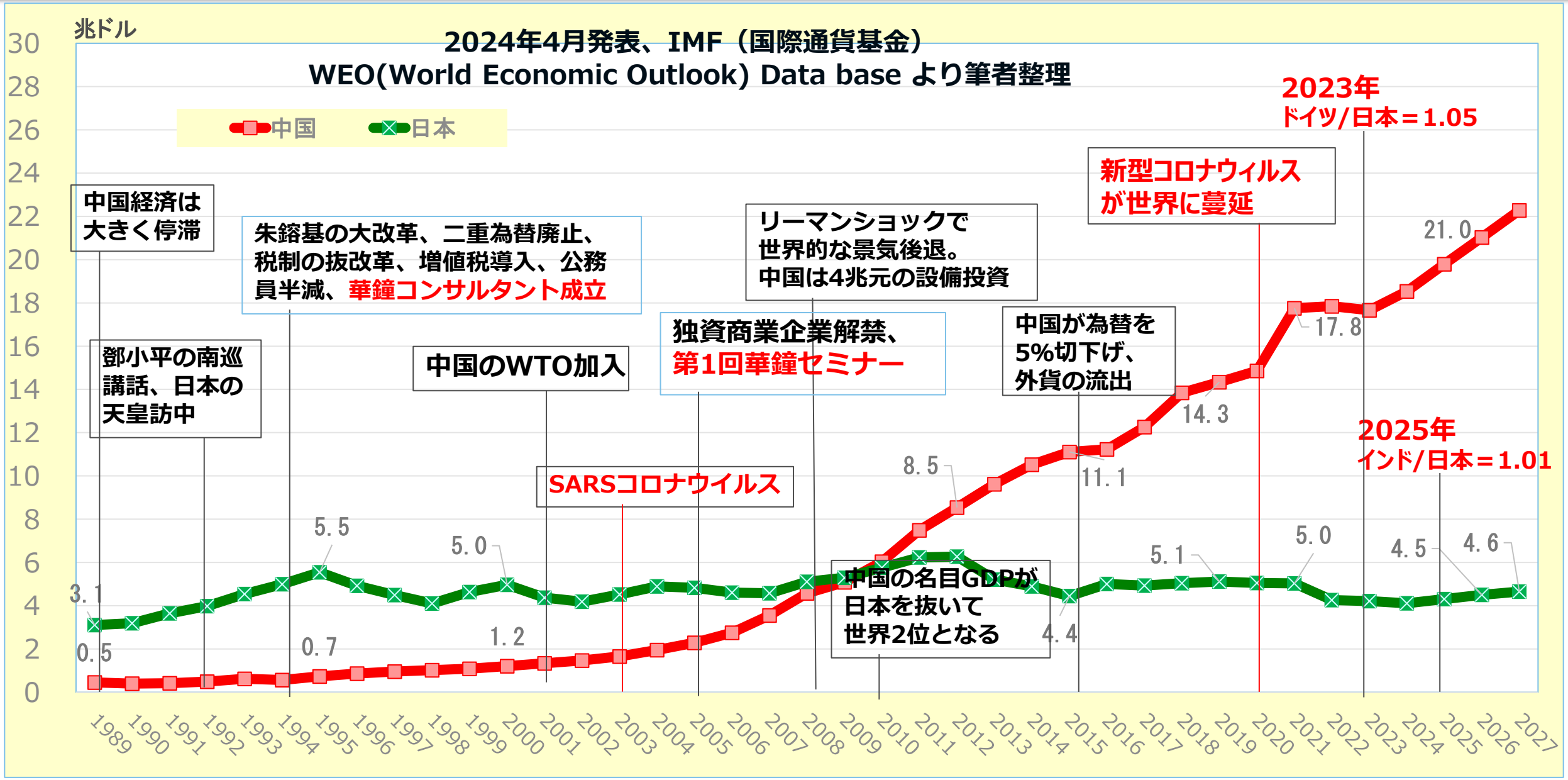
Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

主要国の1人当たり購買力平価GDP（IMF2024.4発表のWEO）



Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

「平成・令和の時代」日本と中国の名目GDP推移比較



Copyright © 2022 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

Ⅱ．世界の中のアメリカ、中国、日本経済のポジションの変化

-世界の名目GDP104.8兆ドルの各国占有率：アメリカ26.1%（前年は25.4%で＋0.7%)、
中国16.9%（前年は18.1%で－1.2%）、日本4.0% （前年は4.2%で－0.2%）
日本（人口1.26億人）は名目GDPでドイツ（人口0.85億人）に抜かれて世界第4位、
IMFは、来年2025年にはインドにも抜かれて世界第5位となる、と推定。

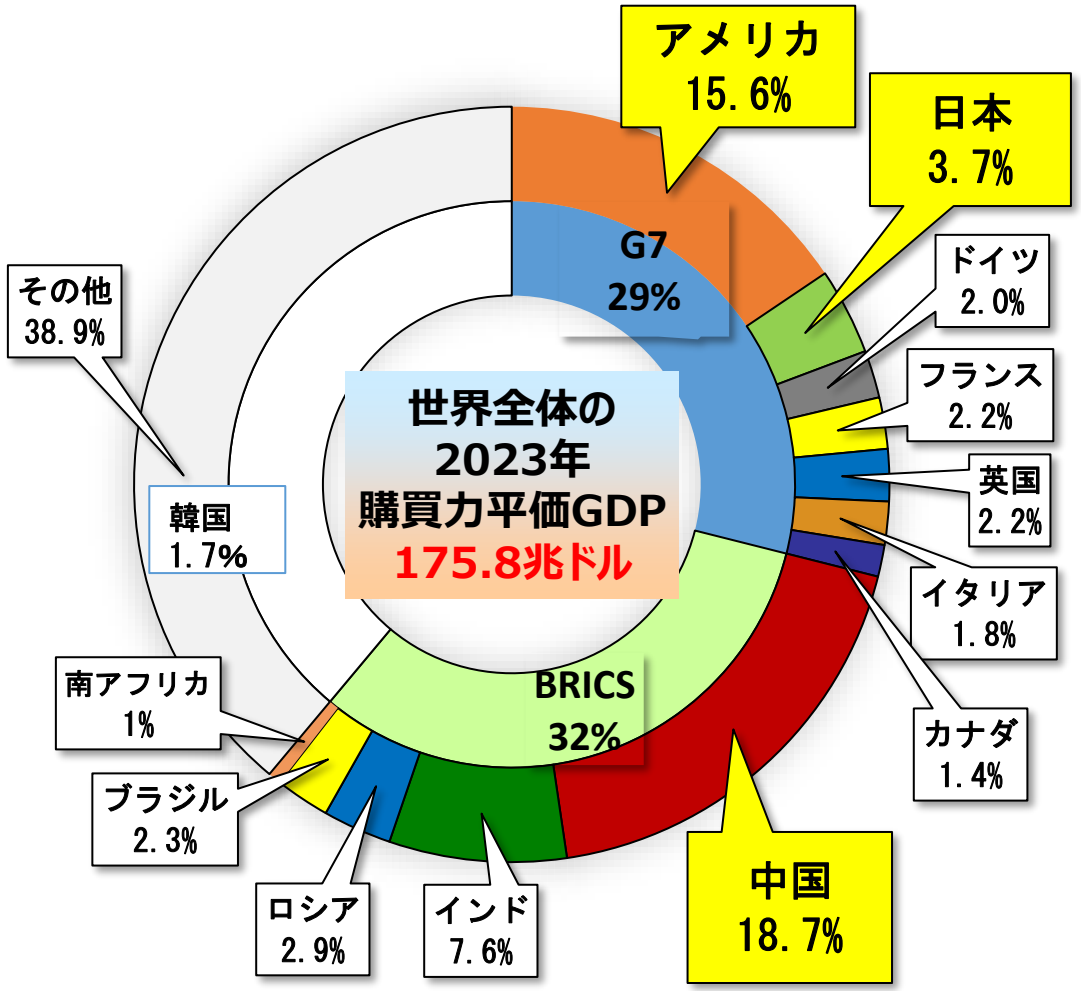
-世界の購買力平価GDP163.5兆ドルの占有率：中国18.7% （前年は18.5%で＋0.2%) 、
アメリカ15.6% （前年も15.6%で＋0.0%) 、日本3.7% （前年は3.8%で－0.1%)

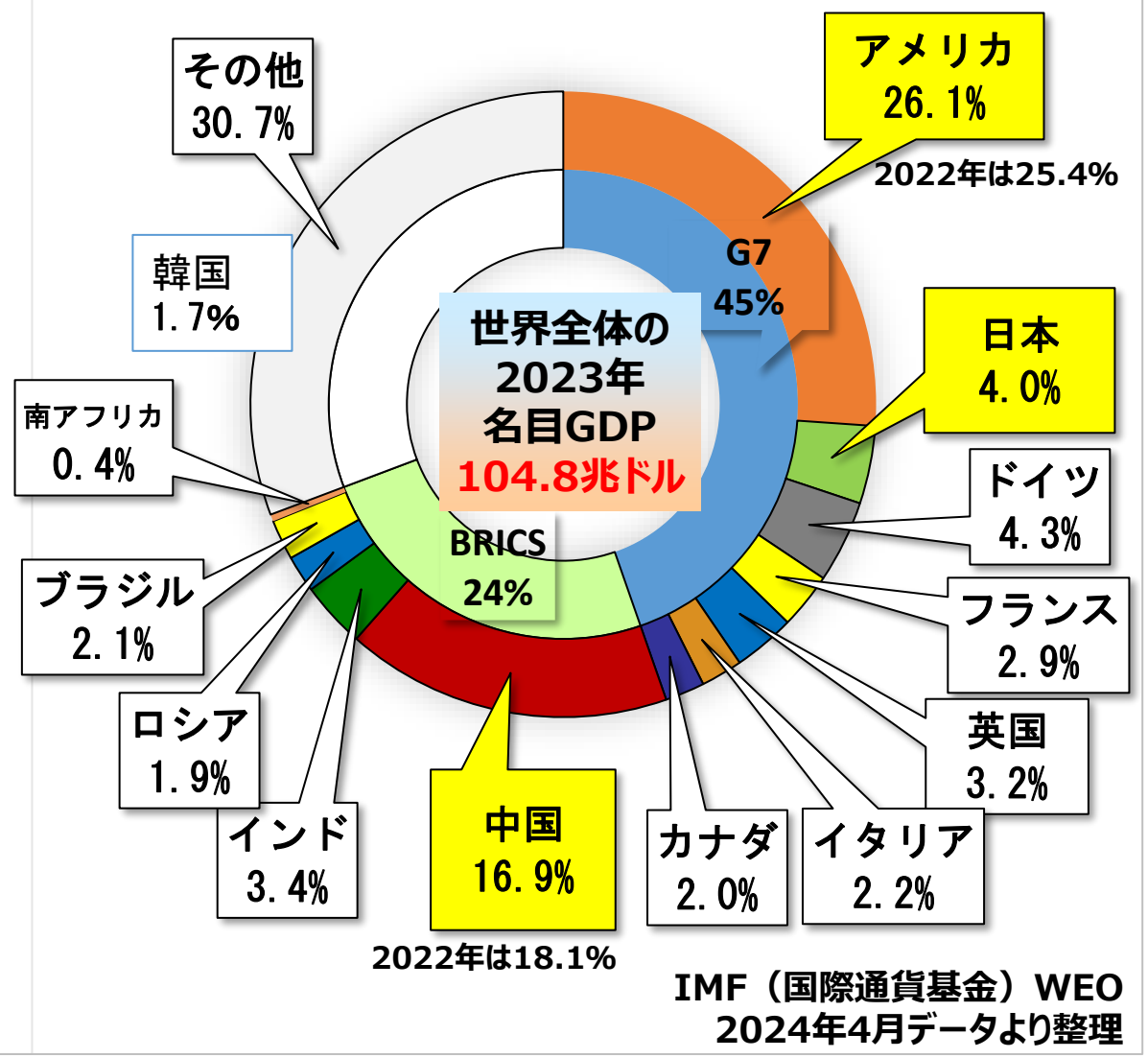
-2023年は世界の貿易額は大幅縮小したが、最大の事件は中国のドル換算GDPがマイナスに転じたことであろう。それに伴って、中国の世界シェアは下がり、アメリカの世界シェアが上昇した。
ただし、中国は依然として貿易総額としては世界一を独走している。

-中国とアメリカの貿易額は世界の2国間貿易額の最大、2022年は過去最大で6,906億ドル
2023年は世界経済の減速もあって5,750億ドル、アメリカの最大輸入相手国が、中国からメキシコへ移った。今後貿易戦争はますます激烈化するが、相互依存体質も抜けないだろう。

Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

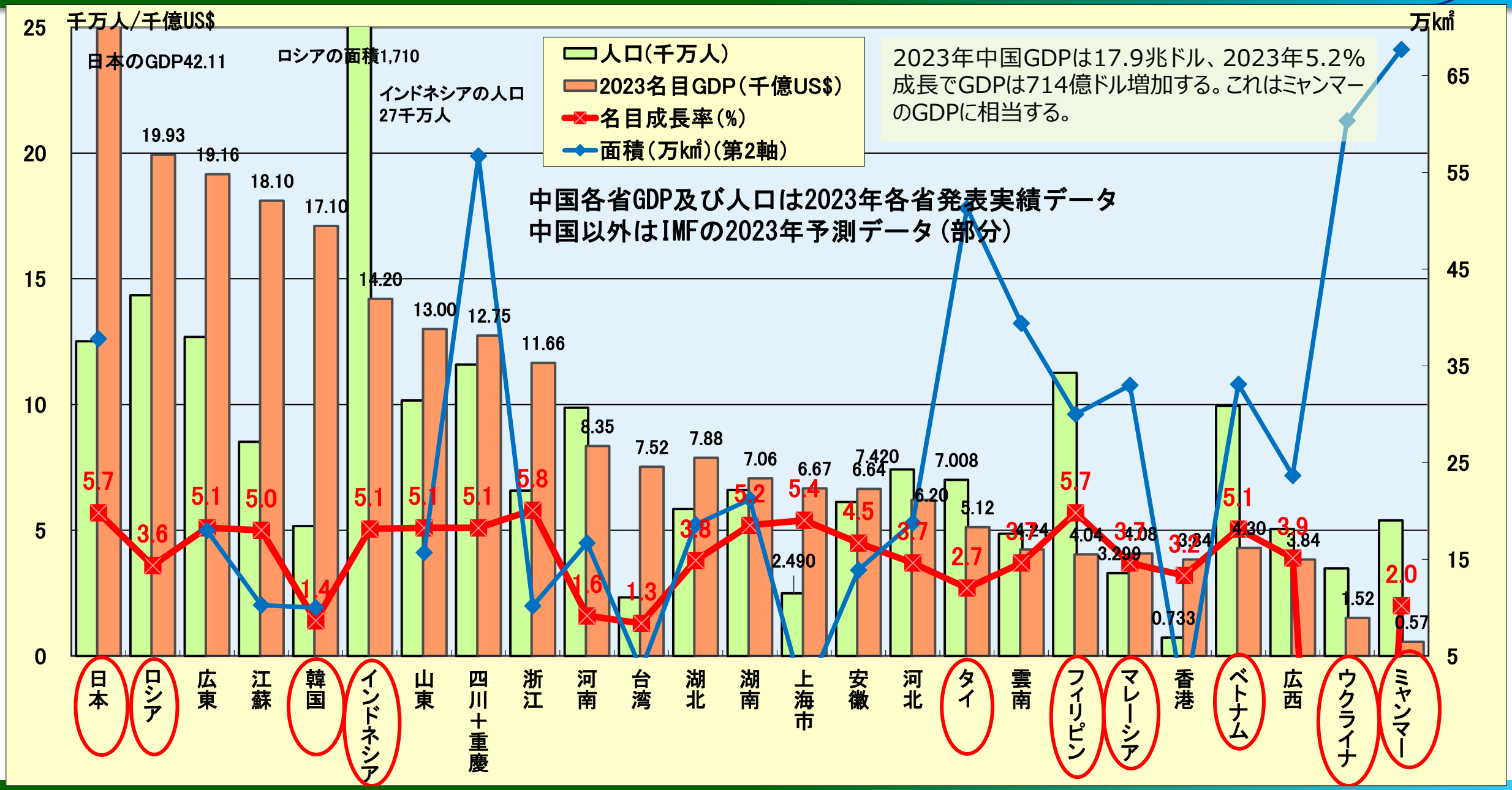
世界の購買力平価GDP及び名目GDP分布（2024年4月　IMFのWEO）





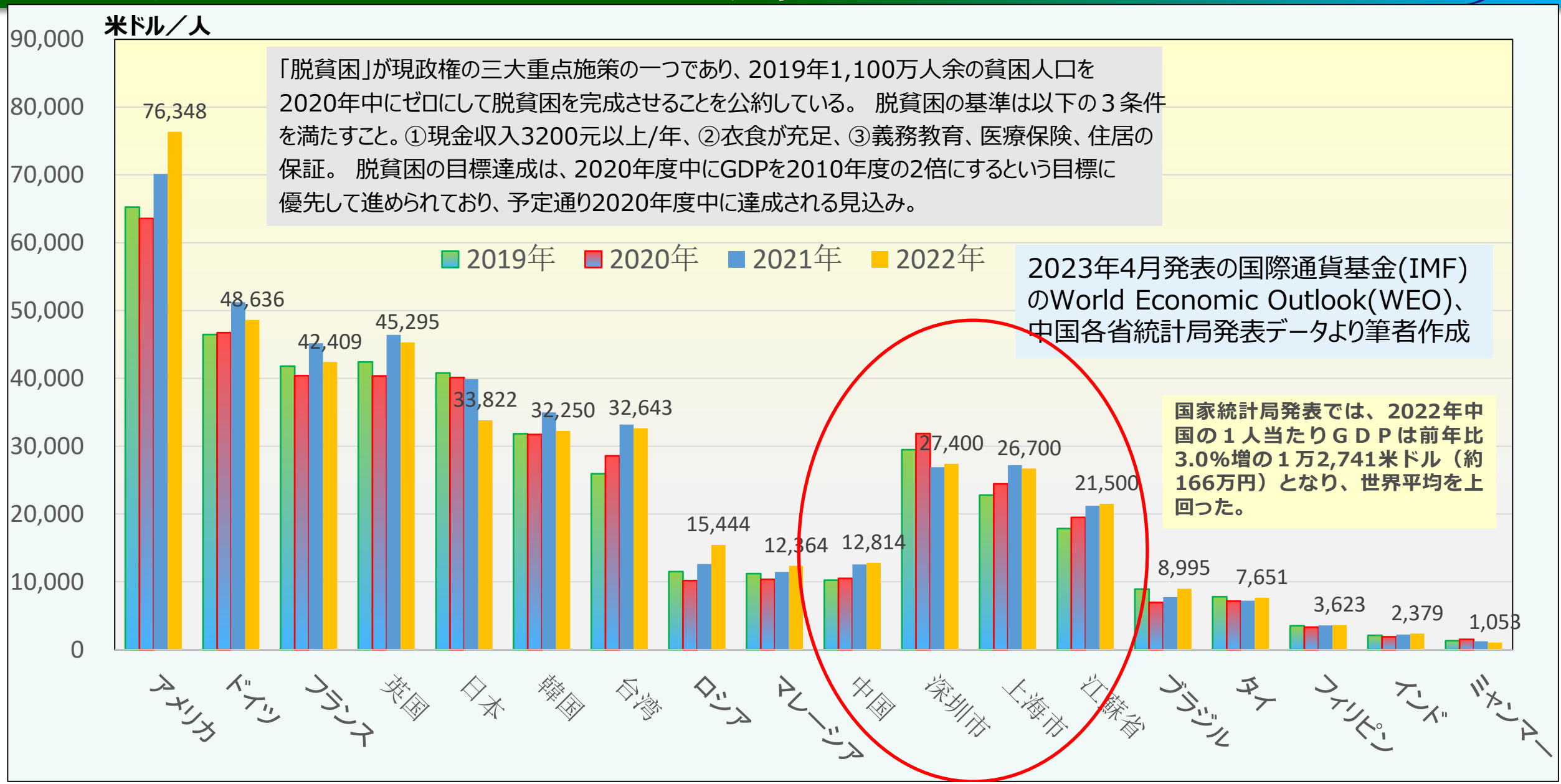
Copyright © 2024　HuaZhong Consulting Group　All Rights Reserved.

2023年、各国、地区と中国各省の 人口・GDP・面積



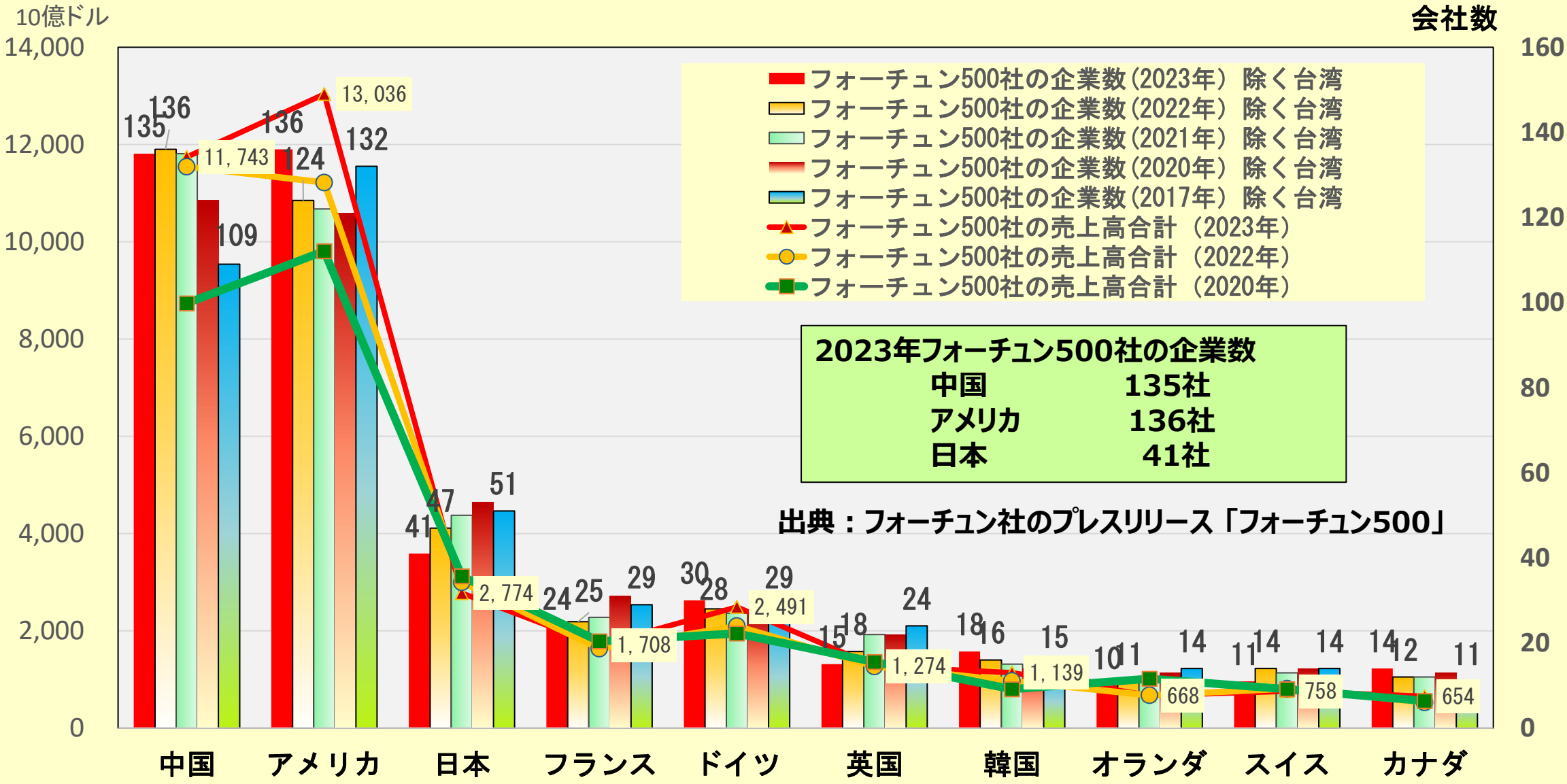
Copyright © 2022 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

世界各国及び地区の一人当たり名目GDP



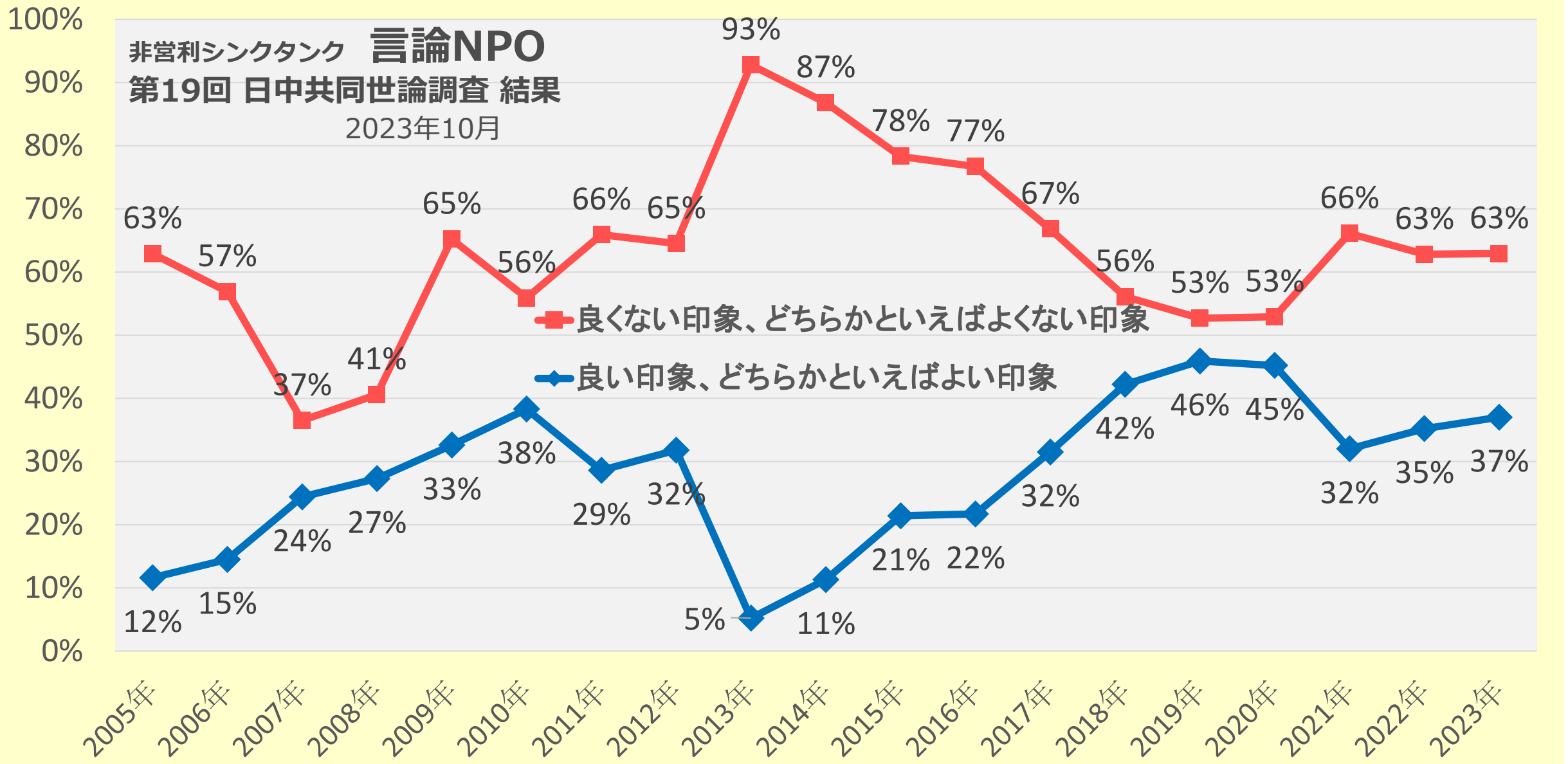
Copyright © 2022 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

2023、2022年、2021年、2020年と2017年のフォーチュン500社推移



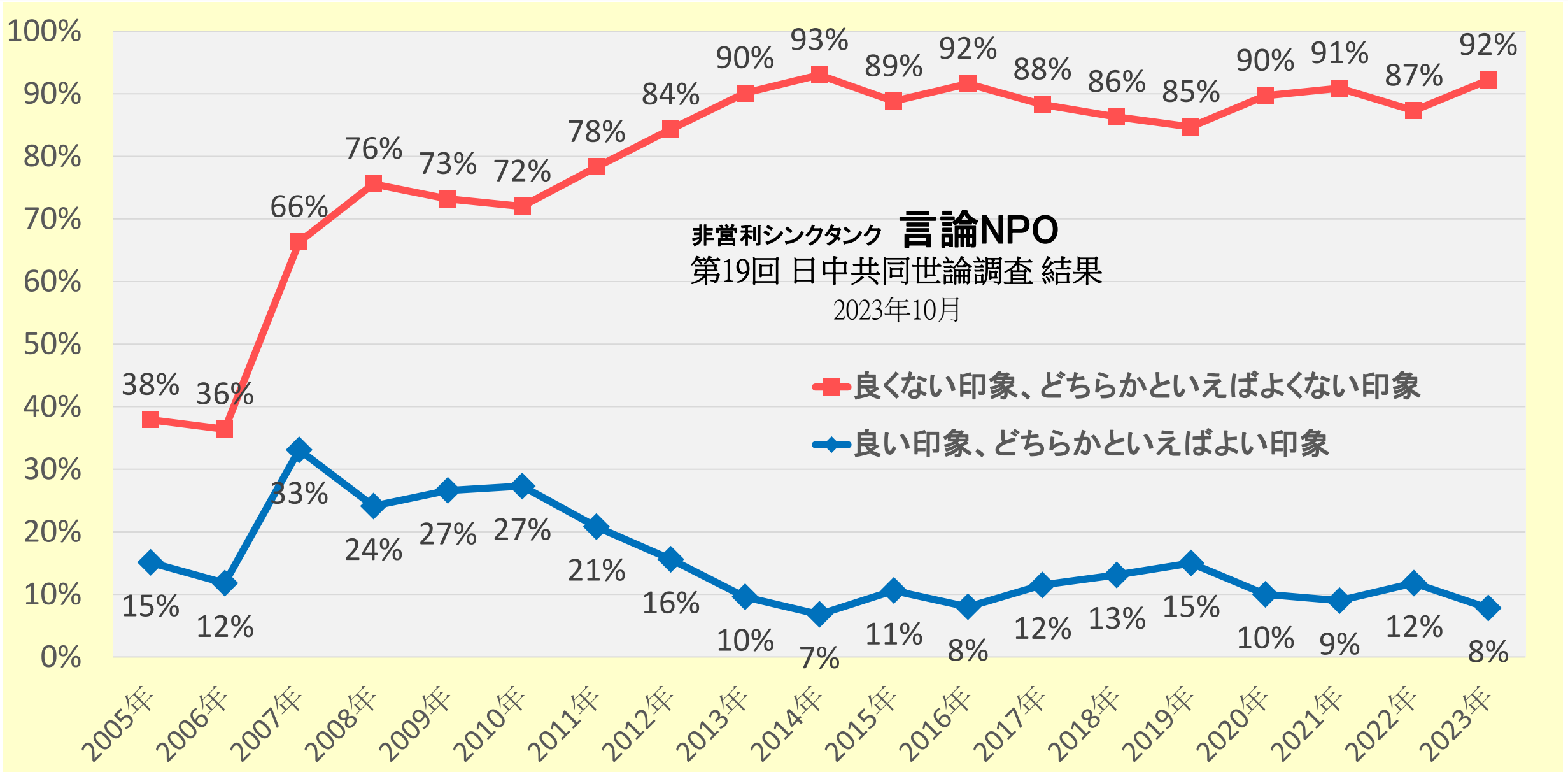
Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

中国人の日本に対する好感度調査



Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

日本人の中国に対する好感度調査



Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

ピュー研究所(PEC)の国際世論調査（2024.4.1～7）

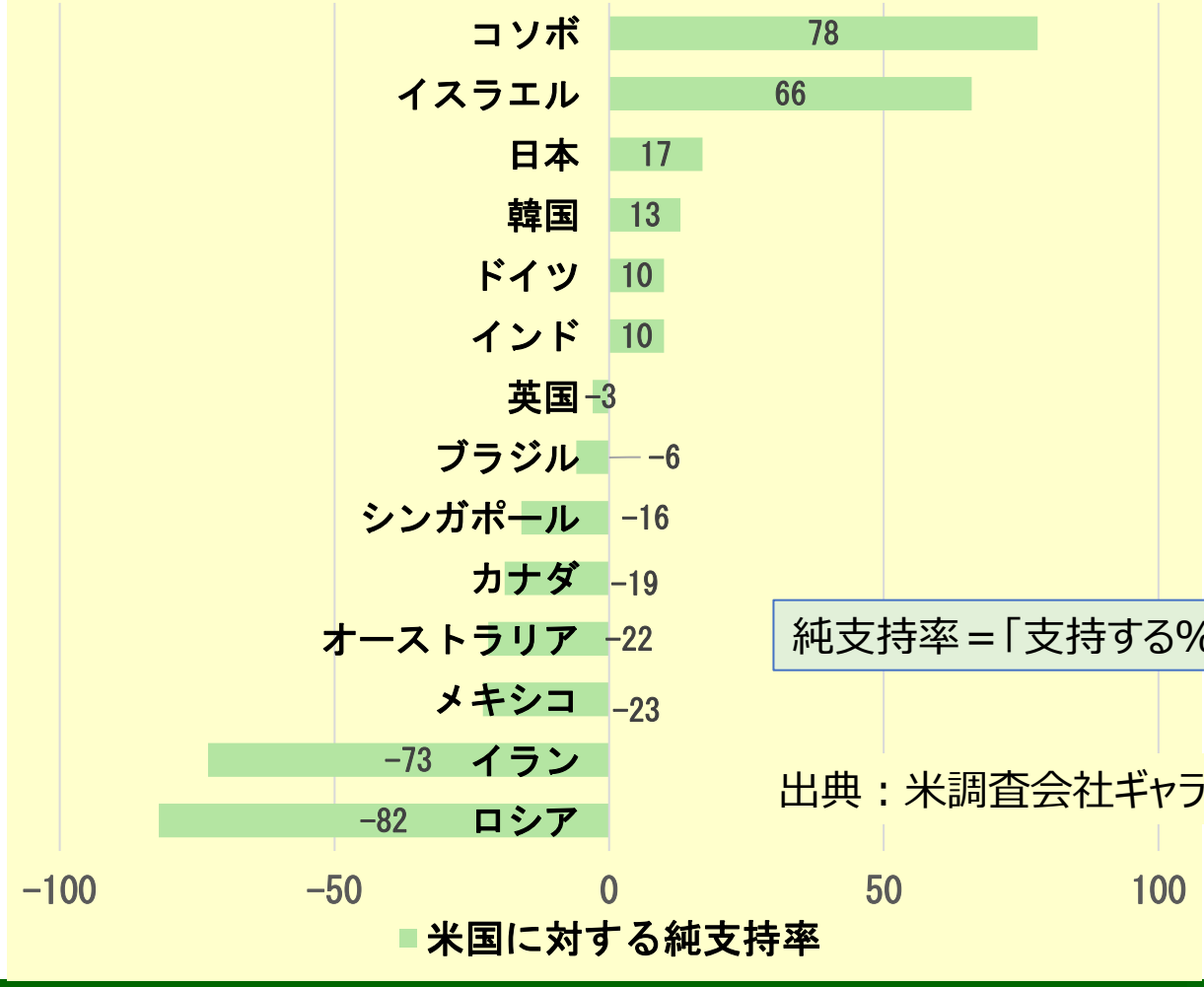
設問：アメリカ人が中国に対して好感を持っ

Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

米ギャラップが世界における米国と中国の影響力調査報告（2024.5.6）

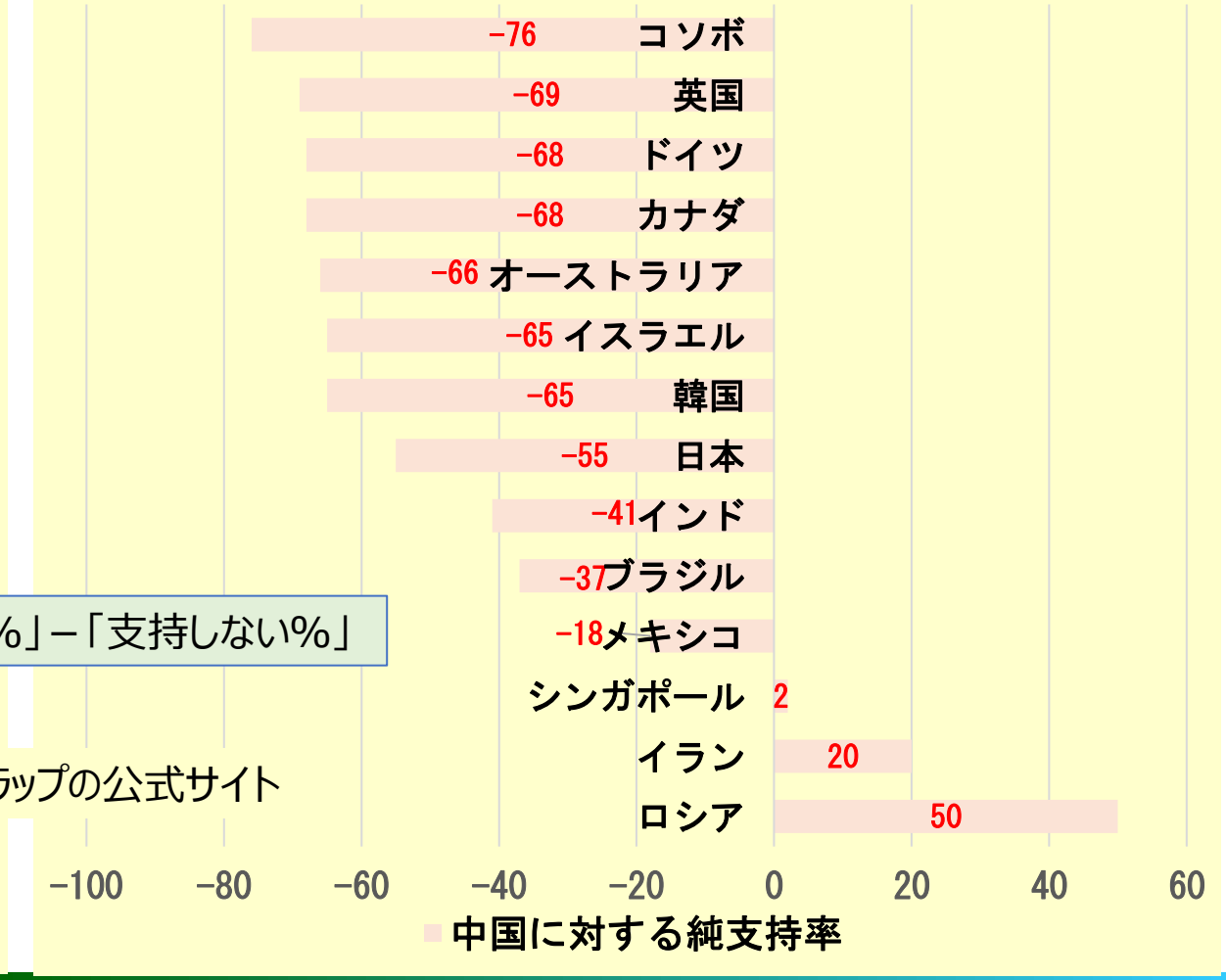
設問：米国と中国に対する支持度について、支持率から不支持率を差し引いた「純支持率」（2023）

調査結果： 調査対象となった133カ国のうち、米国に対する純支持率がプラスになったのは74カ国、マイナスになったのは59カ国だった。中国についてはプラスが58カ国、マイナスが76カ国だった。



純支持率＝「支持する%」－「支持しない%」

出典：米調査会社ギャラップの公式サイト



Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

Ⅲ．現状の中国経済の懸案事項を検討する

-中国経済最大の課題は「不動産値上がり依存病」の克服。これなくして中国経済正常化は無い！
過去の中国経済成長は不動産値上がり依存がGDP成長の3割を占めた。

-不動産値上がり⇒投機対象⇒実需無いのに建設⇒建築資材、家具、家電、紡織品売行き好調・・
不動産の値上がりがそのままGDPの押し上げに繋がる。この悪循環を断ち切る勇気が必要。

-2023年のGDP成長5.2%の内訳は、最終消費支出が4.3ポイント、成長率の82.5%を占める。
固定資産投資が1.5ポイントで28.9%を占め、純輸出が－0.6ポイントで－11.4%であった。
今後、経済先進国型のように消費主導の経済成長が定着するかどうかの正念場である。

-今後の課題は、中国の経済成長をいかに国内需要主導型にするか、双循環（国内消費と貿易振興）による経済成長、更なる都市化率の拡大と中間層の拡大による経済成長への切り替え。

-14億人の人口を持ち、9億人の労働力人口、毎年生まれる1,500万人以上の新規労働者、
2.4億人の高等教育受講者、4億人の中産階級・・・・などの人的資源を活性化して、
貧富の格差を解消することに努力して、自律的な発展を模索する時代が来た。

Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

2024年第1四半期の中国経済実績値（１）

項　目	単位	2023年		2023年		2024年	
		通年	前年比	1-3月	前年比	1-3月	前年比
国内総生産(GDP)	億元	1,260,582	5.2%	284,997	4.5%	296,299	5.3%
第一次産業	億元	89,755	4.1%	11,575	3.7%	11,538	3.3%
第二次産業	億元	482,589	4.7%	107,947	3.3%	109,846	6.0%
第三次産業	億元	688,238	5.8%	165,475	5.4%	174,915	5.0%
工業生産付加価値額	億元	-	4.6%	-	3.0%	-	6.1%
固定資産投資	億元	503,036	3.0%※	107,282	5.1%	100,042	4.5%
東部地区投資	億元	-	4.4%	-	6.5%	-	5.7%
中部地区投資	億元	-	0.3%	-	1.5%	-	4.1%
西部地区投資	億元	-	0.1%	-	4.9%	-	1.4%
東北部地区投資	億元	-	-1.8%	-	13.7%	-	9.6%
第一次産業投資	億元	10,085	-0.1%	2,425	0.5%	1,804	1.0%
第二次産業投資	億元	162,136	9.0%	33,964	8.7%	33,213	13.4%
第三次産業投資	億元	330,815	0.4%	70,894	3.6%	65,025	0.8%
不動産開発投資	億元	110,913	-9.6%	25,974	-5.8%	22,082	-9.5%
社会消費品小売総額	億元	471,495	7.2%	114,922	5.8%	120,327	4.7%
小売業	億元	418,605	5.8%	102,786	4.9%	106,882	4.0%
飲食業	億元	52,890	20.4%	12,136	13.9%	13,445	10.8%
自動車販売台数	万台	3,009	12.0%	608	-6.7%	672	10.6%
卸売り物価指数(PPI)		-	3.0%↓	-	-1.6%↓	-	-2.7%↓
消費者物価指数(CPI)		-	0.2%↑	-	1.3%↑	-	0.0%↑
食品		-	0.3%↑	-	2.9%↑	-	-1.7%↓
衣服		-	1.0%↑	-	0.7%↑	-	1.6%↑

Copyright © 2024　HuaZhong Consulting Group　All Rights Reserved.

2024年第1四半期の中国経済実績値（２）

項　目	単位	2023年		2023年		2024年	
		通年	前年比	1-3月	前年比	1-3月	前年比
全住民可処分所得(実質)	元	39,218	6.1%	10,870	3.8%	11,539	6.2%
都市可処分所得(実質)	元	51,821	4.8%	14,388	2.7%	15,150	5.3%
農村部純所得(実質)	元	21,691	7.6%	6,131	4.8%	6,596	7.7%
輸出入貿易総額	億ﾄﾞﾙ	59,368	-5.0%	14,390	-2.9%	14,313	1.5%
一般貿易	億ﾄﾞﾙ	38,475	-3.4%	9,391	0.0%	9,321	1.5%
加工貿易	億ﾄﾞﾙ	10,823	-14.7%	3,632	15.9%	2,470	-32.0%
輸出総額	億ﾄﾞﾙ	33,800	-4.6%	8,218	0.5%	8,075	1.5%
輸入総額	億ﾄﾞﾙ	25,568	-5.5%	6,171	-7.1%	6,238	1.5%
貿易黒字	億ﾄﾞﾙ	8,232	-6.2%	2,047	25.7%	1,837	-10.3%
外貨準備高	億ﾄﾞﾙ	32,380	3.5%	31,839	-0.1%	32,457	1.9%
対外債務残高	億ﾄﾞﾙ	24,475	-0.2%	24,909	-8.1%	-	-
社会融資増加額	億元	355,874	11.2%	145,336	20.6%	129,287	-11.1%
非銀行融資増加額	億元	135,837	16.9%	37,745	6.7%	36,670	-3.1%
マネーサプライＭ２	千億元	2,923	9.7%	2,815	12.7%	3,048	8.3%
外国投資契約件数	件	53,766	39.7%	10,000	25.5%	12,086	20.7%
外国投資実行総額	億ﾄﾞﾙ	1,633	-13.7%	604	2.2%	425(※)	-29.6%
対外投資実行総額	億ﾄﾞﾙ	1,479	0.9%	315	17.2%	342(※)	8.7%
上海株価指数		2,975	114↓	3,273	21↑	3,041	232↓
株式時価総額	億元	773,131	-1.9%	848,855	5.4%	768,946	-9.4%
株式取引総額の総計	億元	2,122,110	-5.5%	519,805	-11.1%	514,853	-1.0%
為替レート　　１US$	元	7.0827	1.7%	6.8717	8.2%	7.0950	3.2%
100円	元	5.0213	-4.1%	5.1693	-0.5%	4.7158	-8.8%
1ユーロ	元	7.8592	5.9%	7.4945	5.8%	7.6765	2.4%

Copyright © 2024　HuaZhong Consulting Group　All Rights Reserved.

住宅は住むためのもので投機の対象ではない（2016年中央経済工作会議にて）

華鐘諮詢

2024年第1四半期の固定資産投資は前年同期比4.5%増で2023年比1.5%上昇した。インフラ投資が6.5%増、製造業の投資は9.9%増で、不動産投資を除けば9.3%増で、比較的好調の数字である。一方不動産投資は－9.5%と引き続き絶不調。そのうち住宅投資は10.5%減、新築商品住宅の販売面積は前年同期比19.4%減、新築商品住宅の販売額は前年同期比27.6%減、そのうち住宅販売額は30.7%減少した。不動産開発企業の払込資金は前年同期比26.0%減。

2024年5月になって、政府は、売れ残りの不動産在庫を買い上げて、それを安く販売する政策を発表した。何らかの政府資金を注入しなければ現状の不動産不況からは脱却できないのは確か。

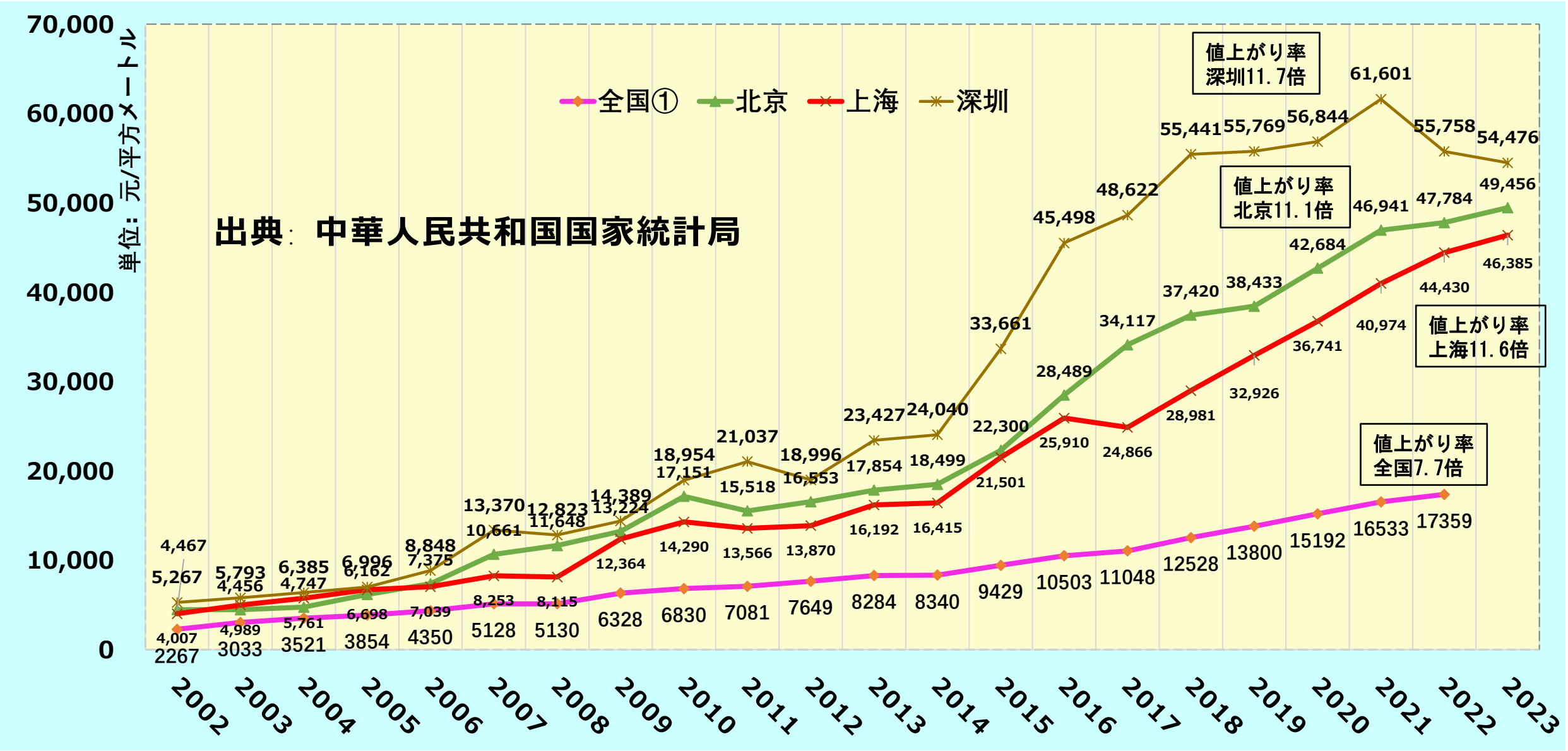
世界から中国経済崩壊の元凶と言われる現在の不動産不況は、中国国内から見ると当たり前の情況であり、やっと正常感覚の路線に戻りつつあるかということでむしろ好ましい情況のようにも見える。

もともと中国政府が「住宅は住むためのもので、投機の対象ではない」とはっきり言明したのは、2016年末の中央経済工作会議であり、「不動産依存症候群」を打破しなければならない、と提言された。それから2017年、2018年、2019年、2020年、2021年と毎年の中央経済工作会議において、常に不動産値上がり期待投資に依存した経済成長から脱却しなければならない、と言われ続けてきたがなかなか果たせなかった。

不動産の値上がり期待の固定資産投資による経済成長は実に麻薬みたいなものである。従来は地方政府も経済成長を達成するために野放図な借入金増大による不動産投資を繰り返して、その不動産値上がりによるGDPの成長に依存してきた。不動産投資は家電や家具などの業界にも恩恵を及ぼすので、従来はGDP成長率の30%を担うとも言われてきた。ただ住むための実需を伴わない値上がりは所詮意味が無いGDP成長である。それがすべて剥げ落ちて、改めて着実な成長過程に入ることが出来れば、長期的に見て望ましい方向であろう。

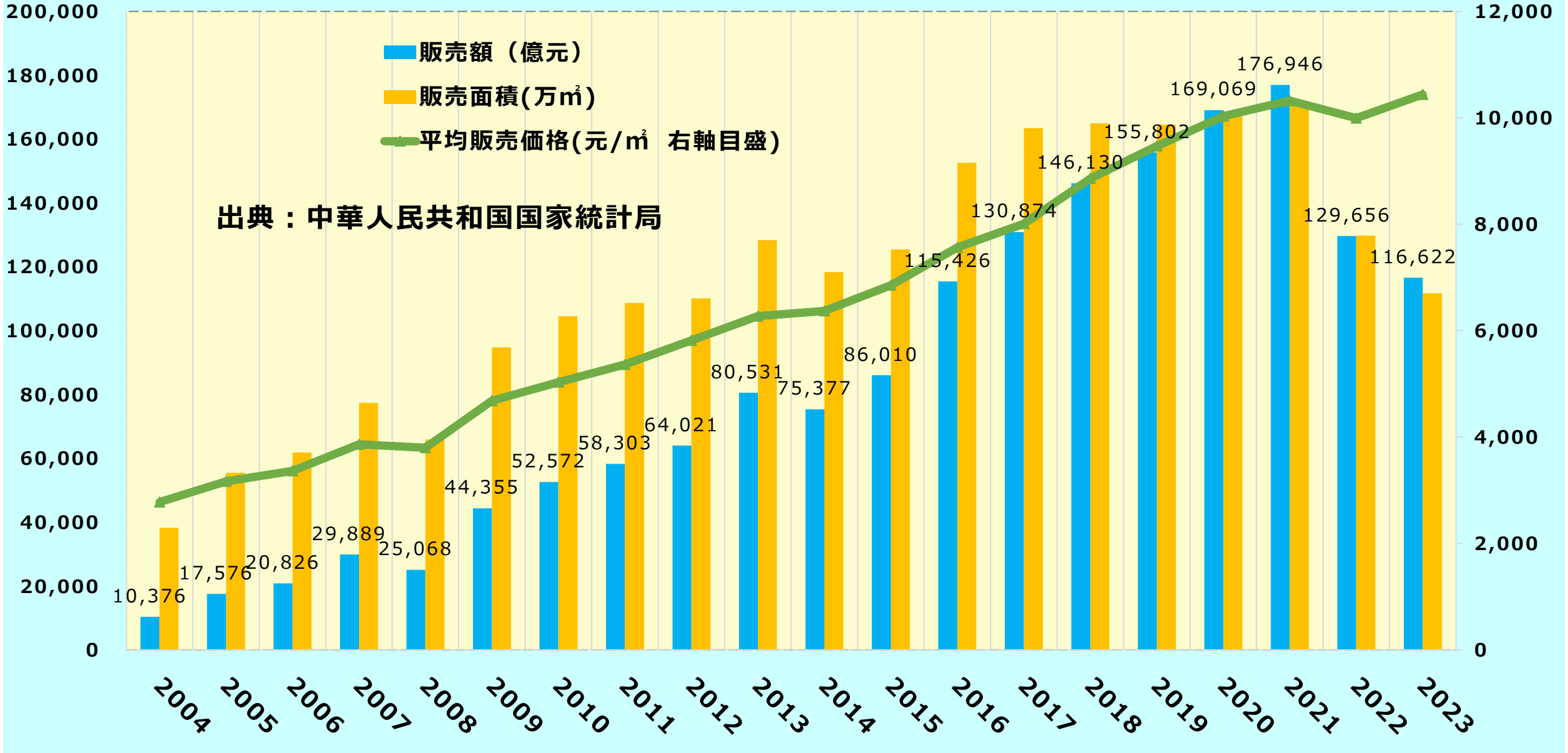
Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

歴年の商品房（住宅）の平均販売価格



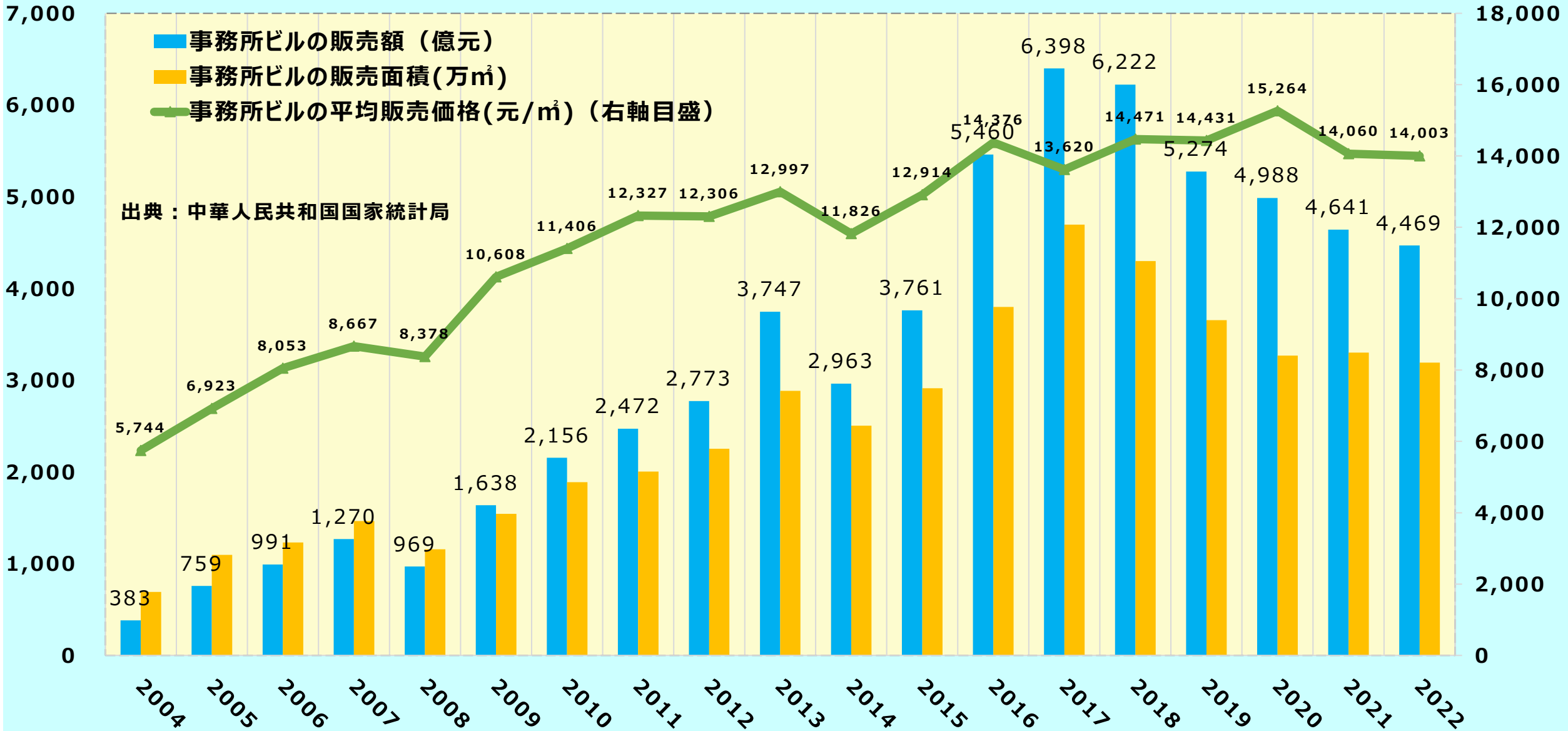
Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

商品房の販売額、販売面積及び平均販売価格推移



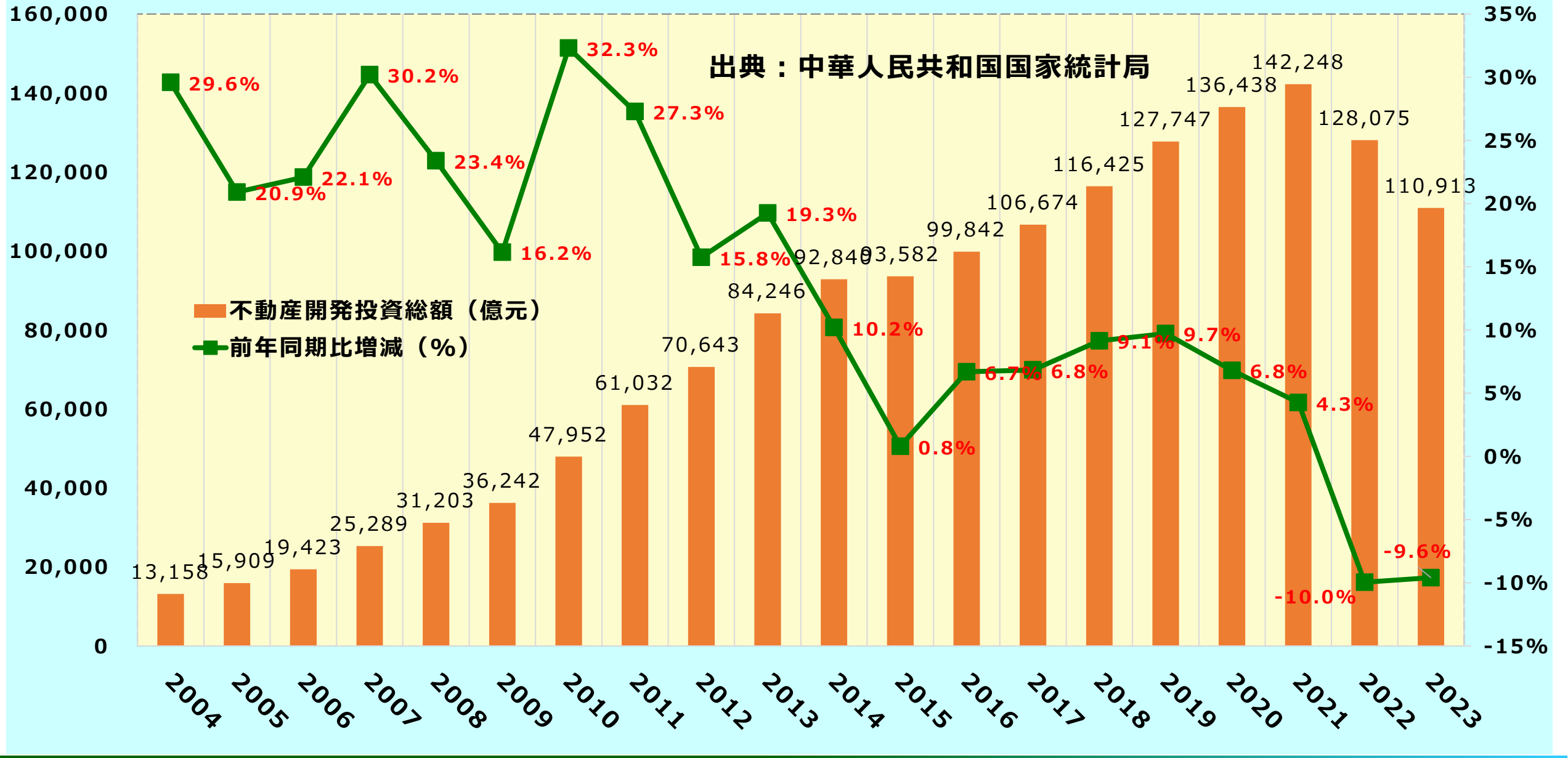
Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

商品房（事務所ビル）の販売額、販売面積、平均販売価格推移



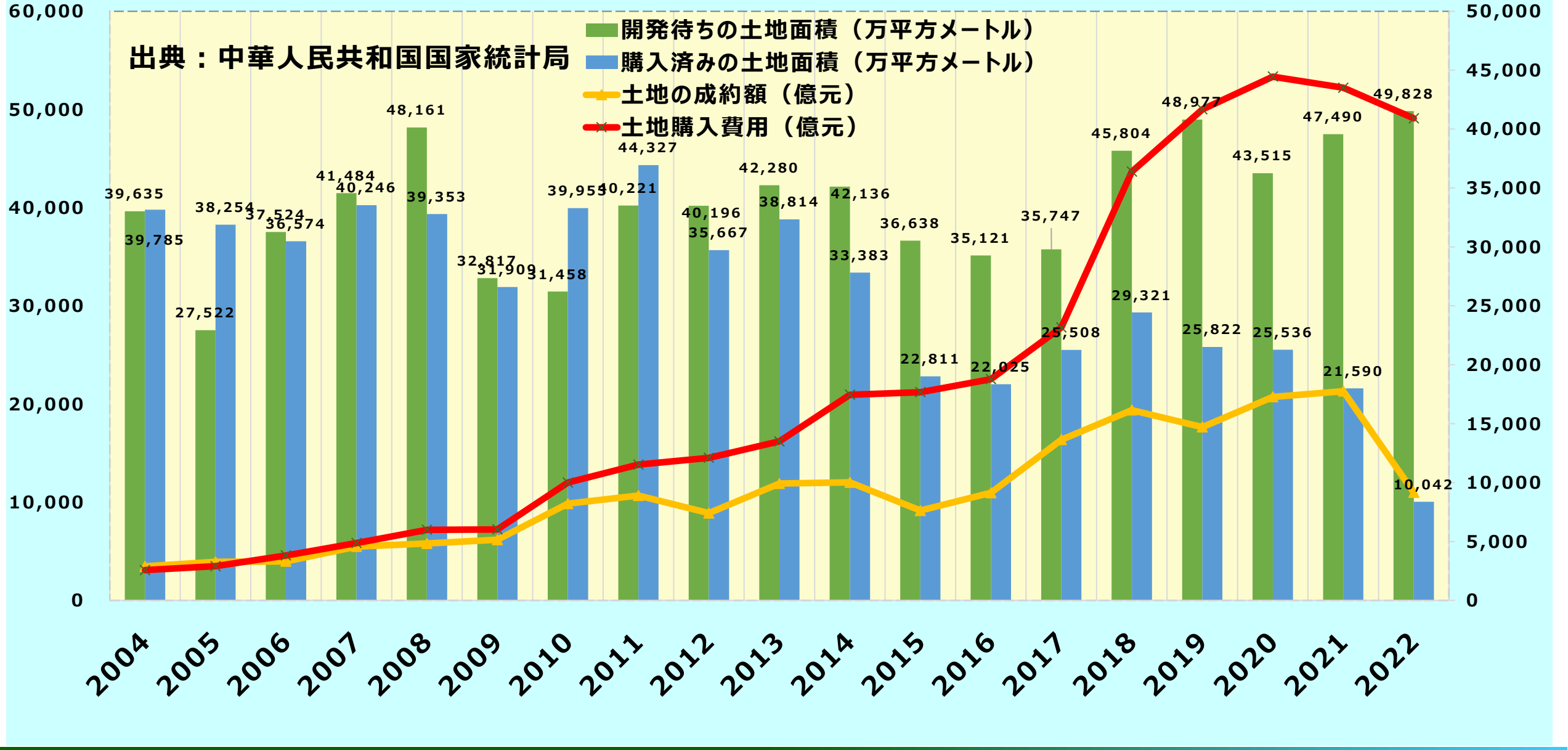
Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

不動産開発投資総額の推移



Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

不動産開発企業による土地の開発及び購入推移

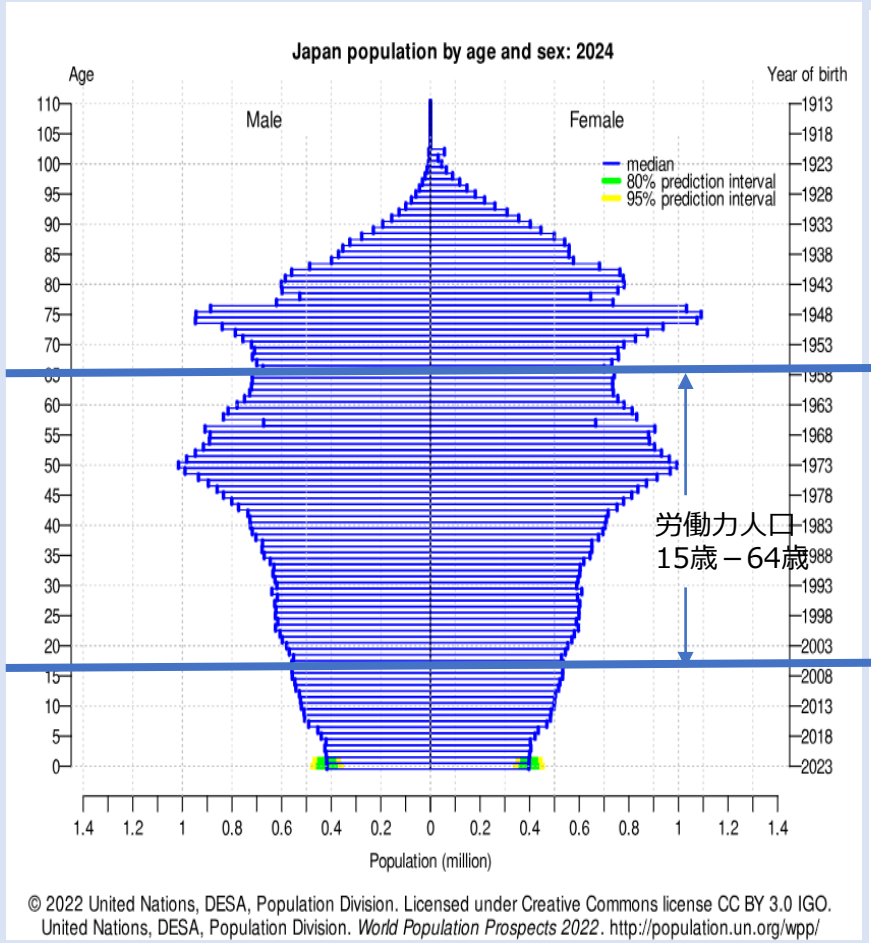


Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

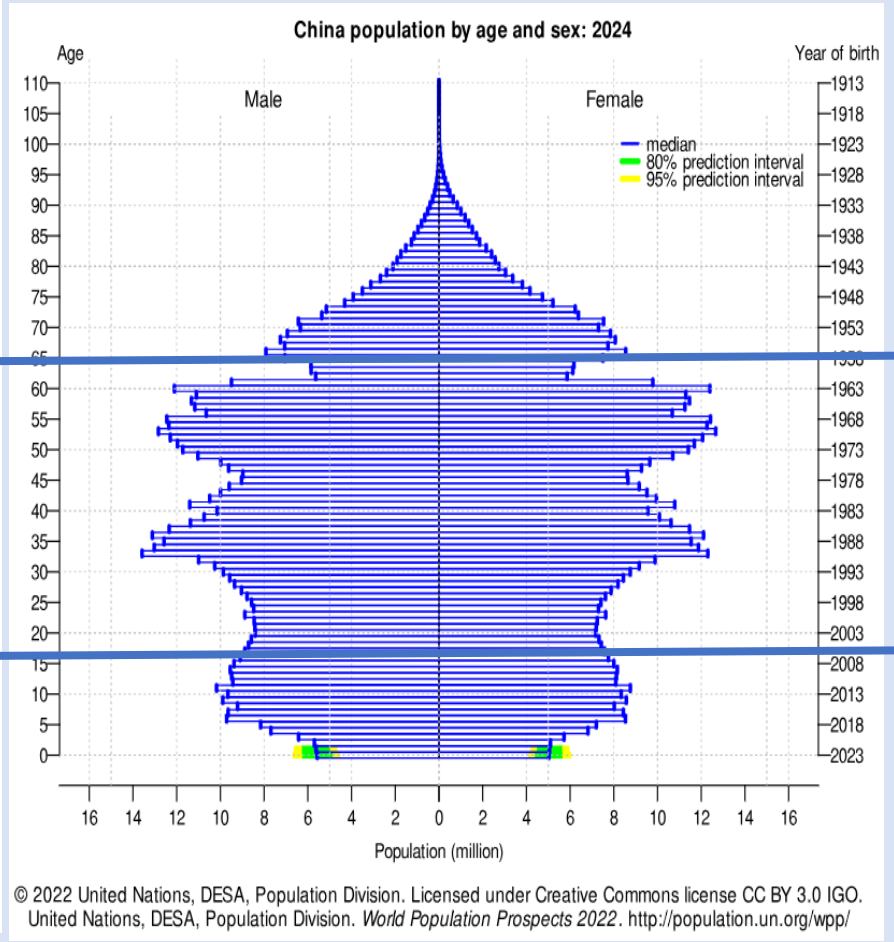
日本、中国、インドの人口ピラミッド（United Nations人口統計）

華鐘諮詢

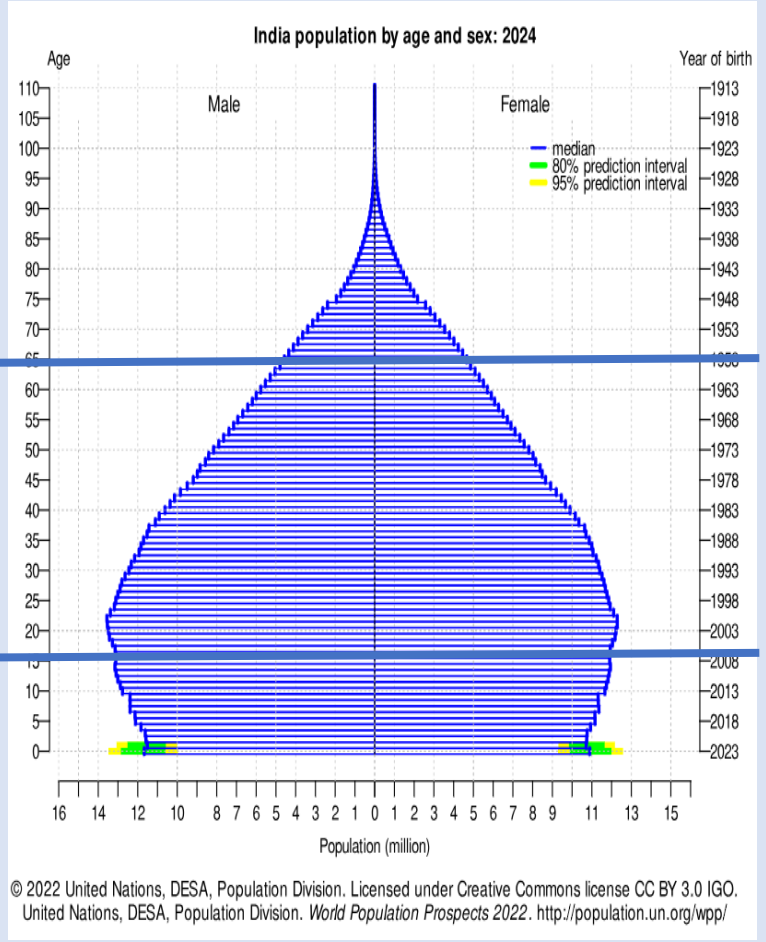
日本の人口ピラミッド



中国の人口ピラミッド



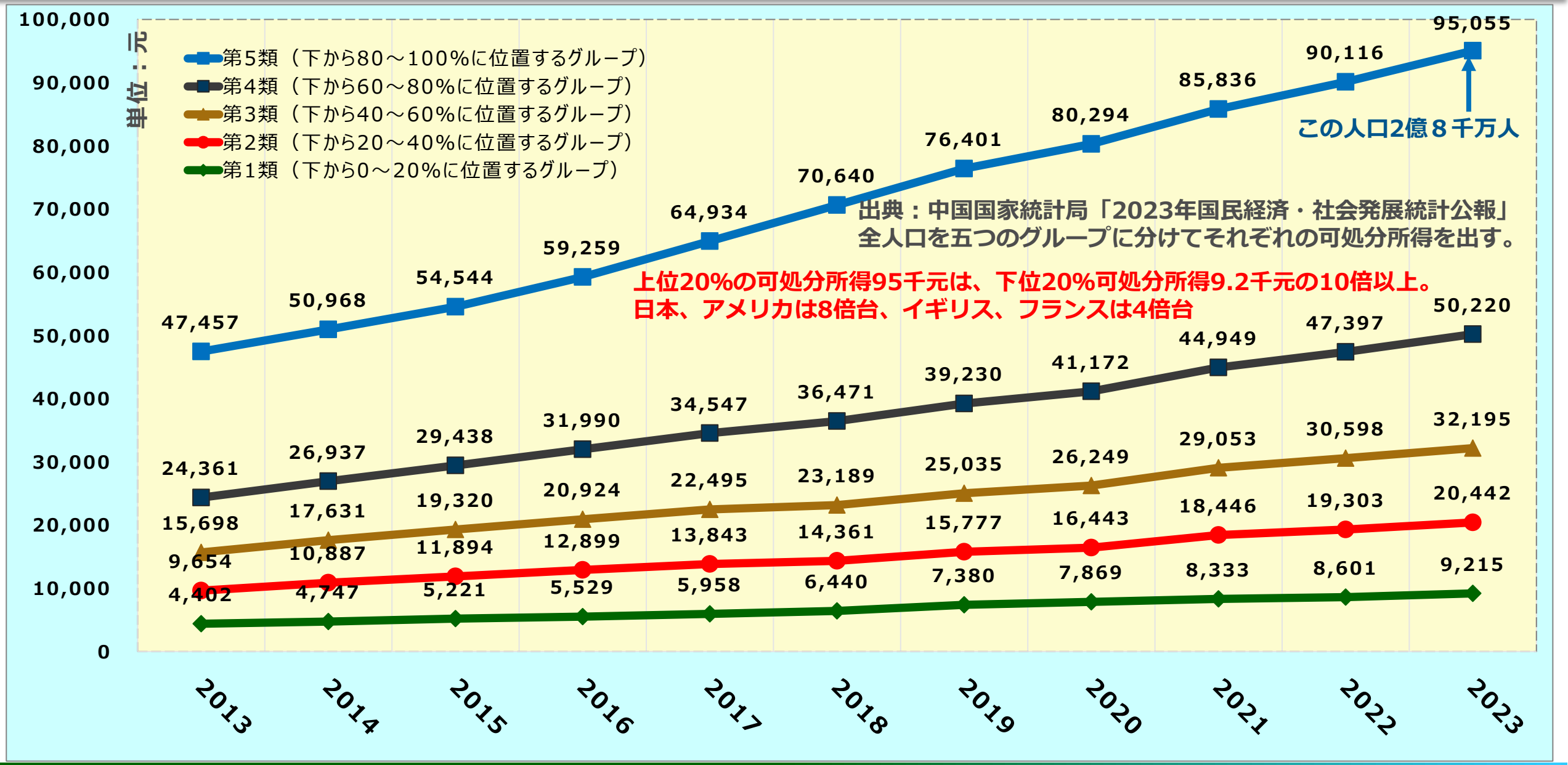
インドの人口ピラミッド



出典：国際連合ホームページ　World Population Prospect 2022

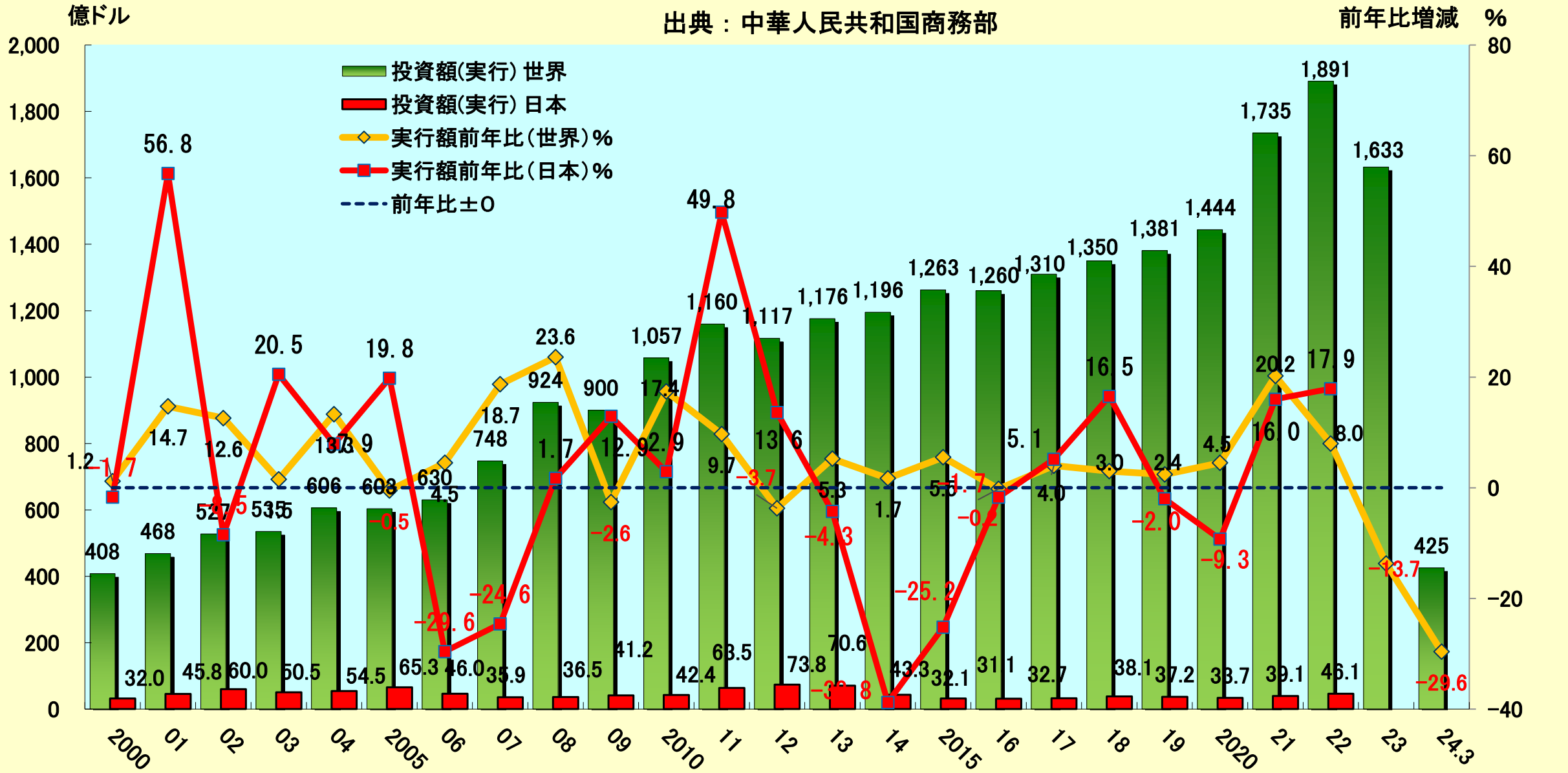
Copyright © 2024　HuaZhong Consulting Group　All Rights Reserved.

中国の可処分所得五分位法に依る統計（出典：中華人民共和国国家統計局）



Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

世界と日本の対中投資の推移

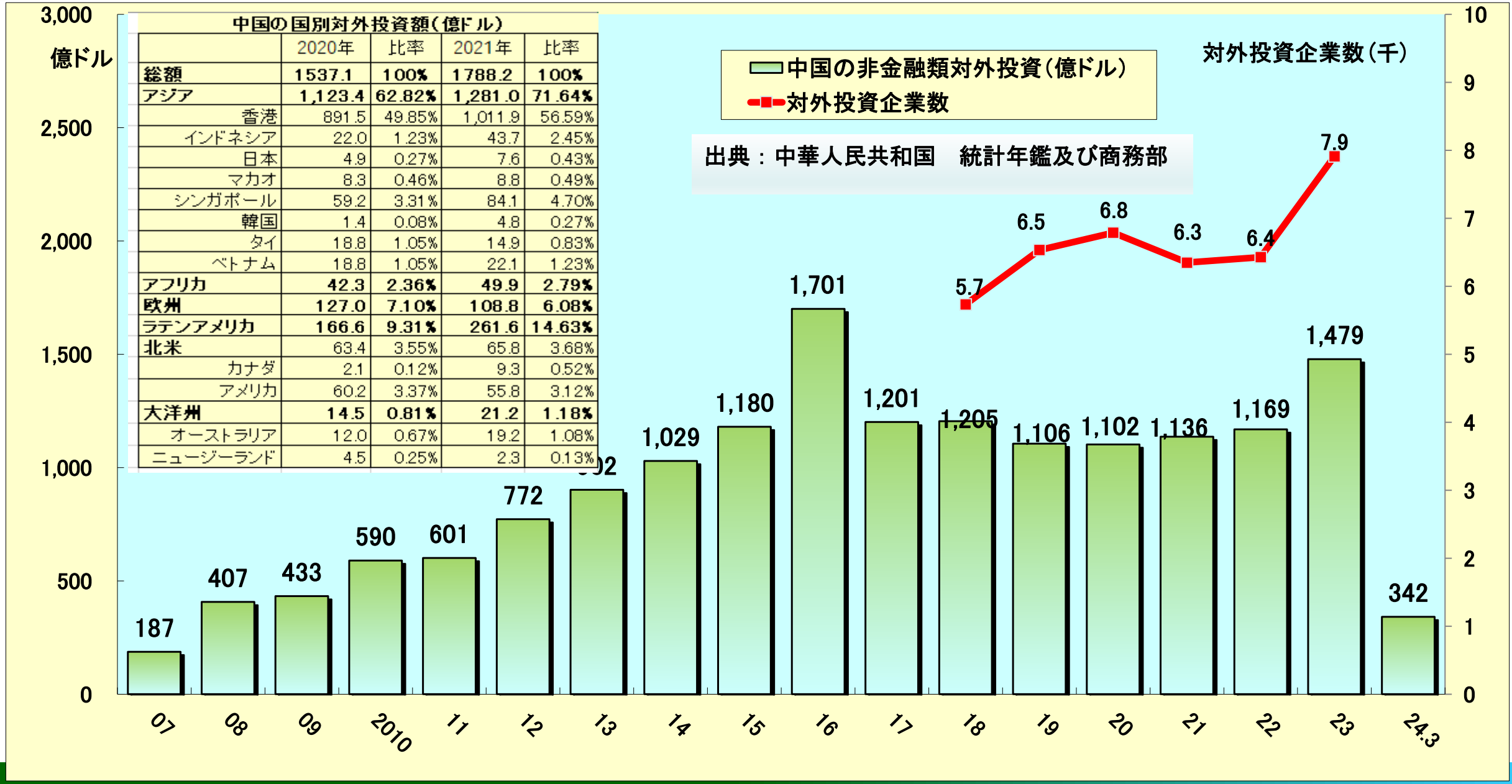


Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

中国の対外投資（非金融類）の推移

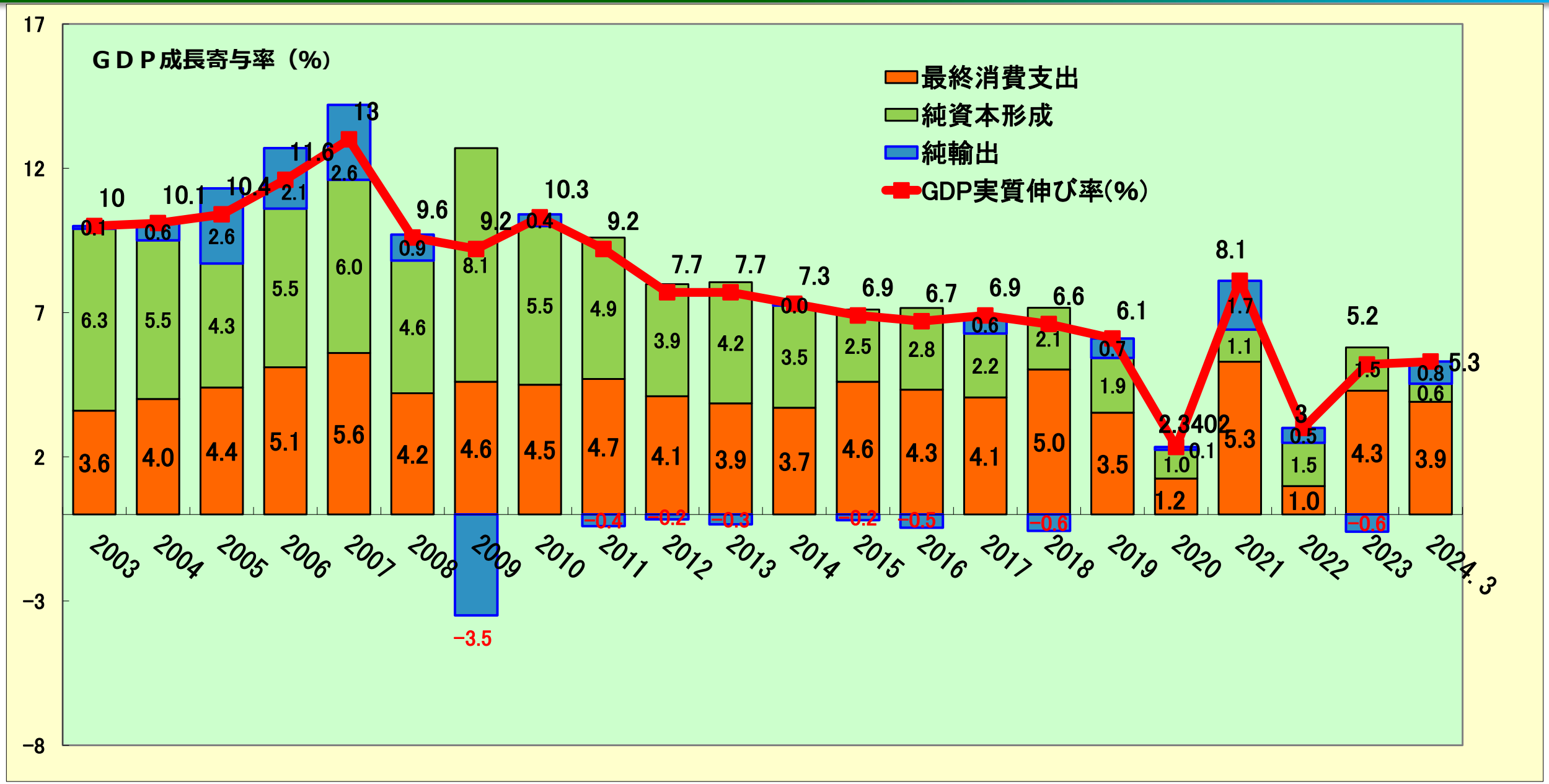
中国の国別対外投資額（億ドル）

	2020年	比率	2021年	比率
総額	**1537.1**	**100%**	**1788.2**	**100%**
アジア	**1,123.4**	**62.82%**	**1,281.0**	**71.64%**
香港	891.5	49.85%	1,011.9	56.59%
インドネシア	22.0	1.23%	43.7	2.45%
日本	4.9	0.27%	7.6	0.43%
マカオ	8.3	0.46%	8.8	0.49%
シンガポール	59.2	3.31%	84.1	4.70%
韓国	1.4	0.08%	4.8	0.27%
タイ	18.8	1.05%	14.9	0.83%
ベトナム	18.8	1.05%	22.1	1.23%
アフリカ	**42.3**	**2.36%**	**49.9**	**2.79%**
欧州	**127.0**	**7.10%**	**108.8**	**6.08%**
ラテンアメリカ	**166.6**	**9.31%**	**261.6**	**14.63%**
北米	63.4	3.55%	65.8	3.68%
カナダ	2.1	0.12%	9.3	0.52%
アメリカ	60.2	3.37%	55.8	3.12%
大洋州	**14.5**	**0.81%**	**21.2**	**1.18%**
オーストラリア	12.0	0.67%	19.2	1.08%
ニュージーランド	4.5	0.25%	2.3	0.13%



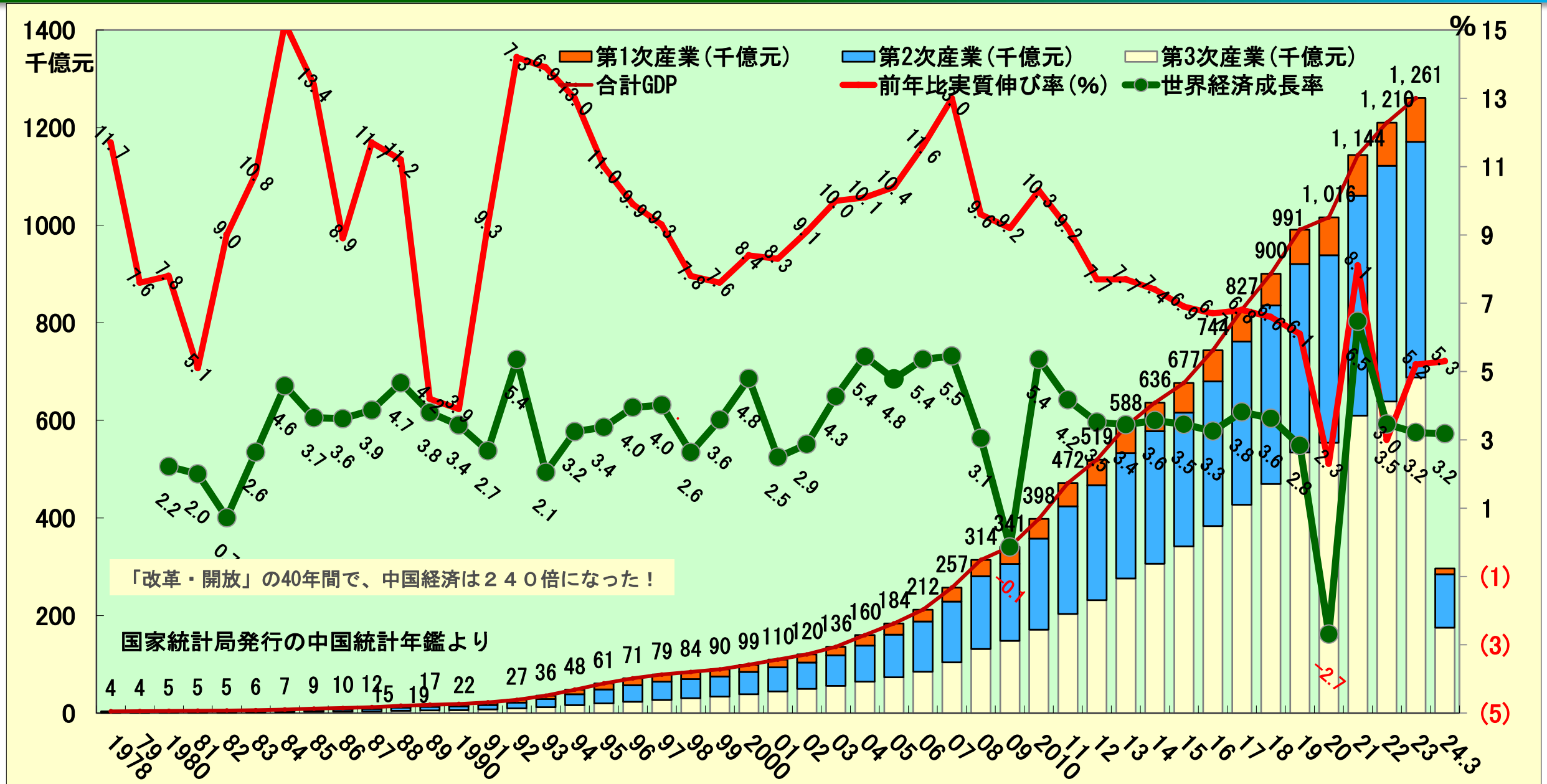
Copyright © 2024　HuaZhong Consulting Group　All Rights Reserved.

中国GDP成長の構成要素推移



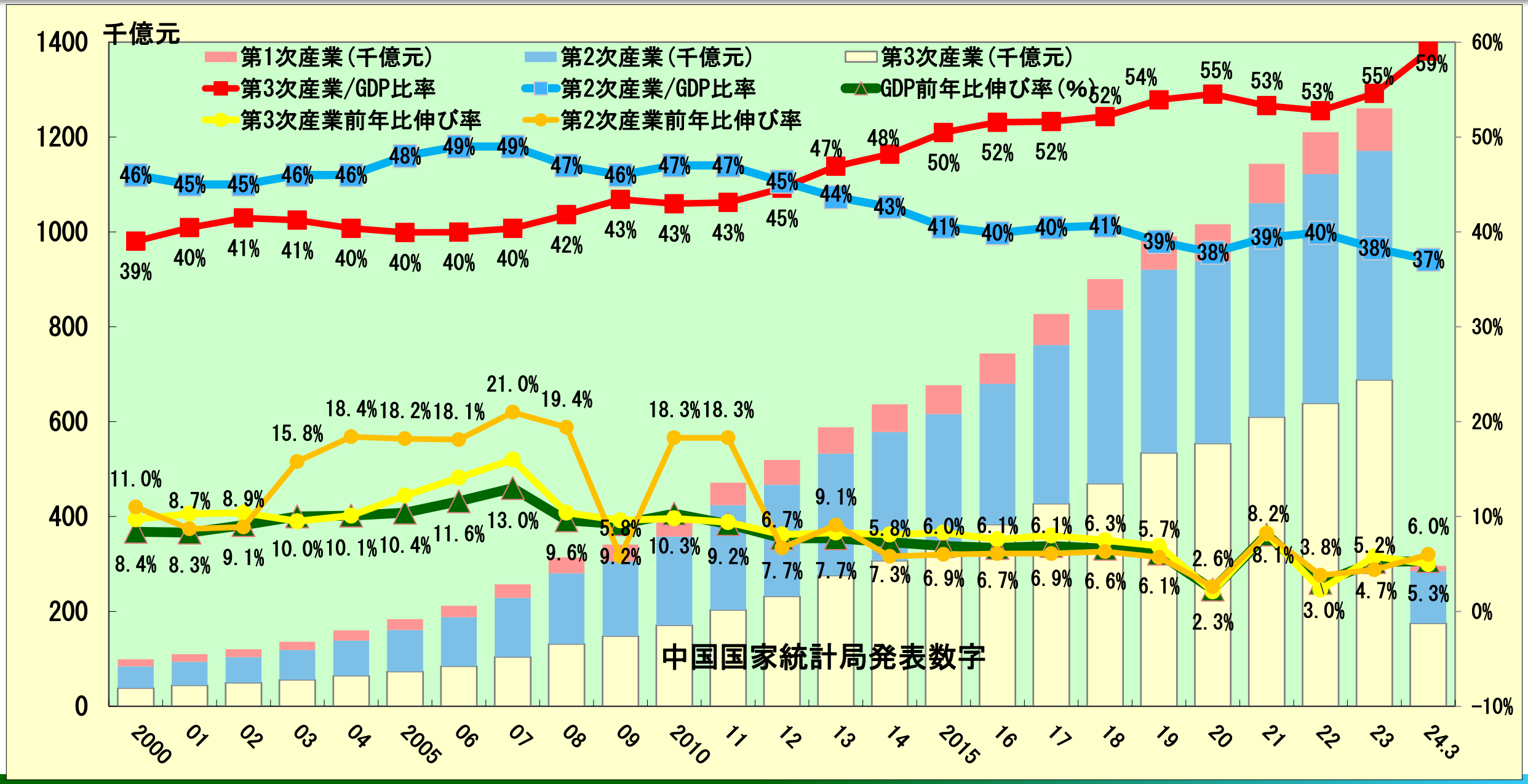
Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

「改革・開放40年」中国の名目GDPと世界経済の成長率推移



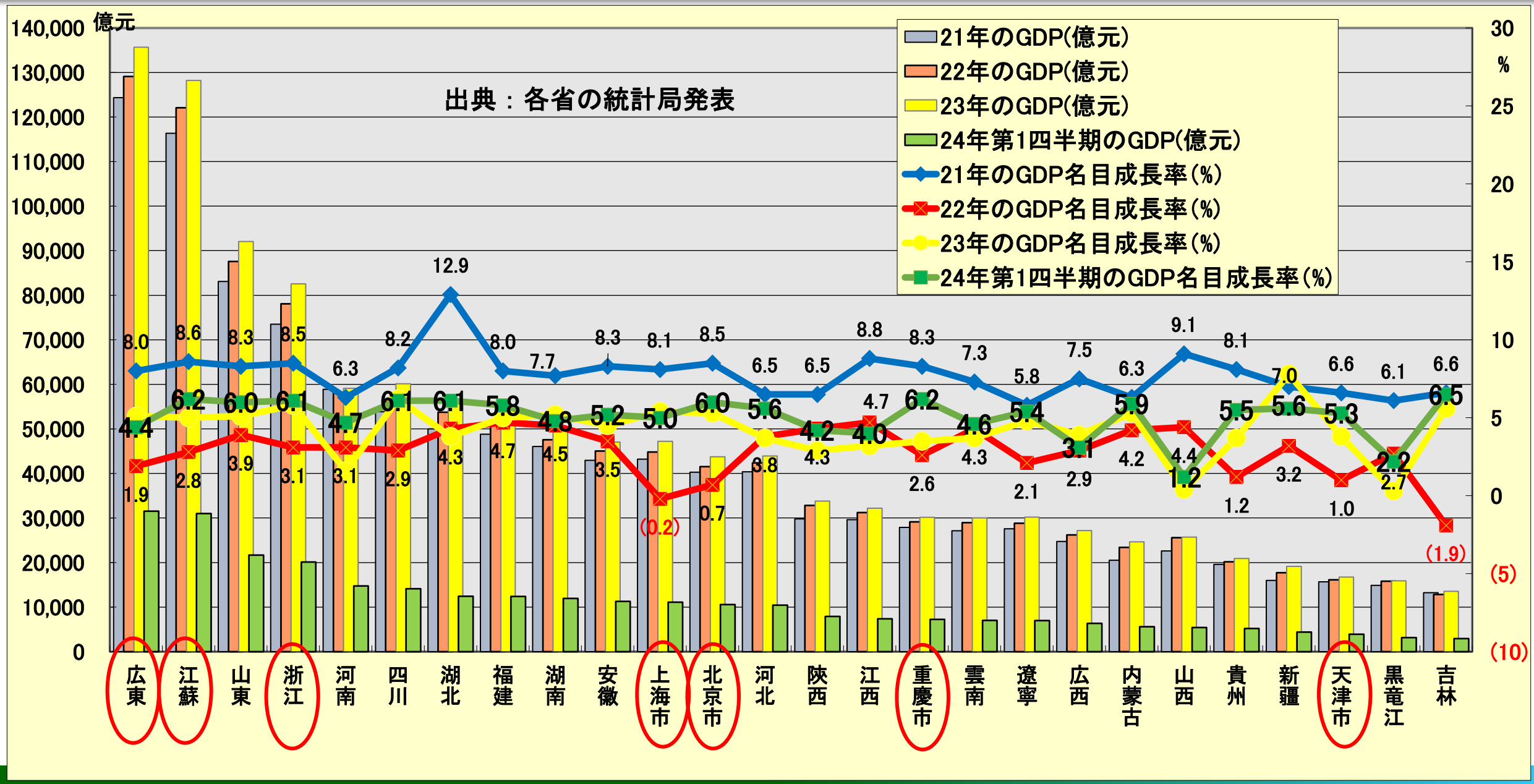
Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

中国GDPの第一、第二、第三次産業の推移



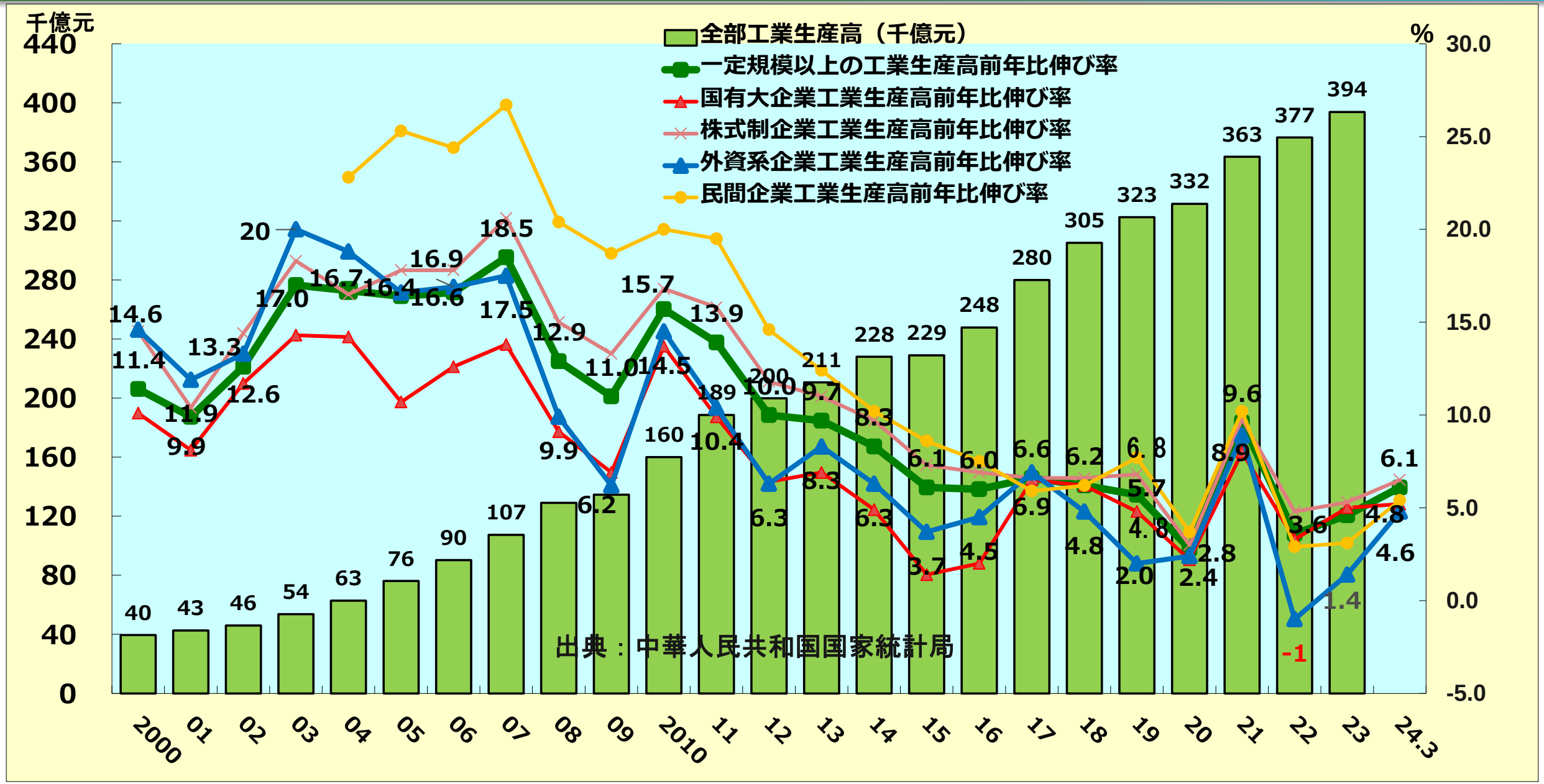
Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

21、22、23、24年第1四半期の中国各省市GDP金額とGDP成長率



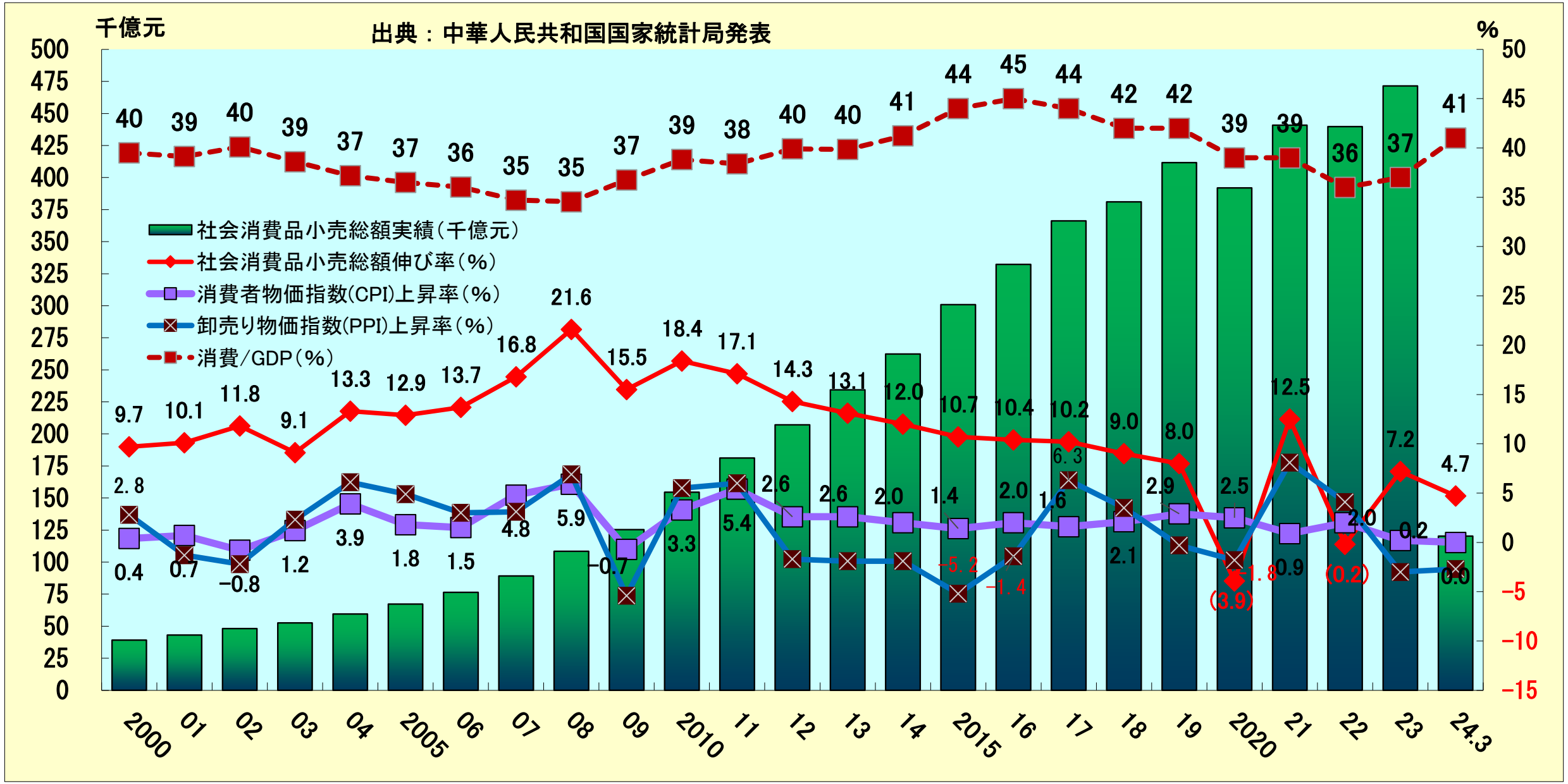
Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

工業生産高増加値の推移



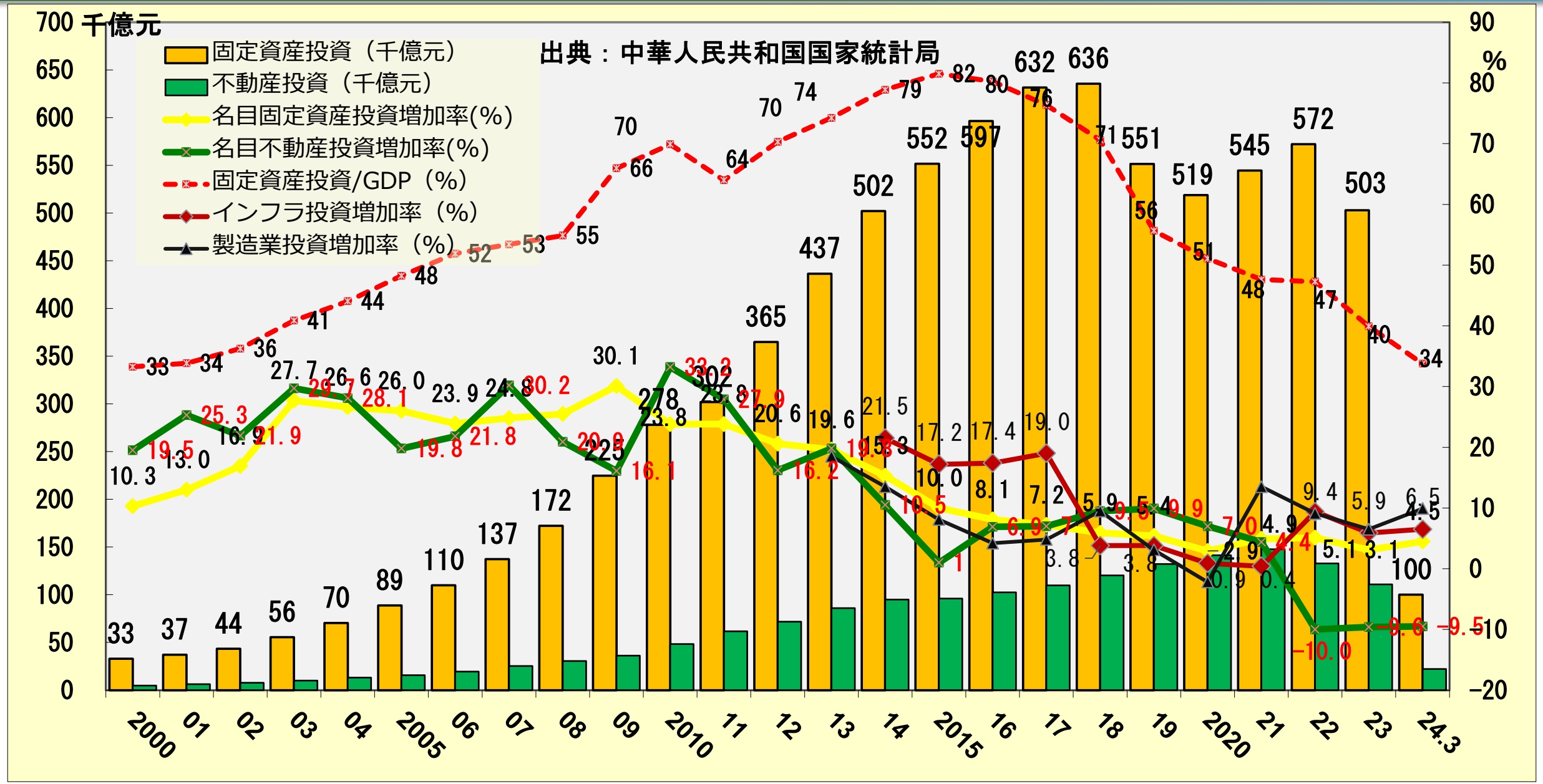
Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

社会消費小売品総額と物価上昇率



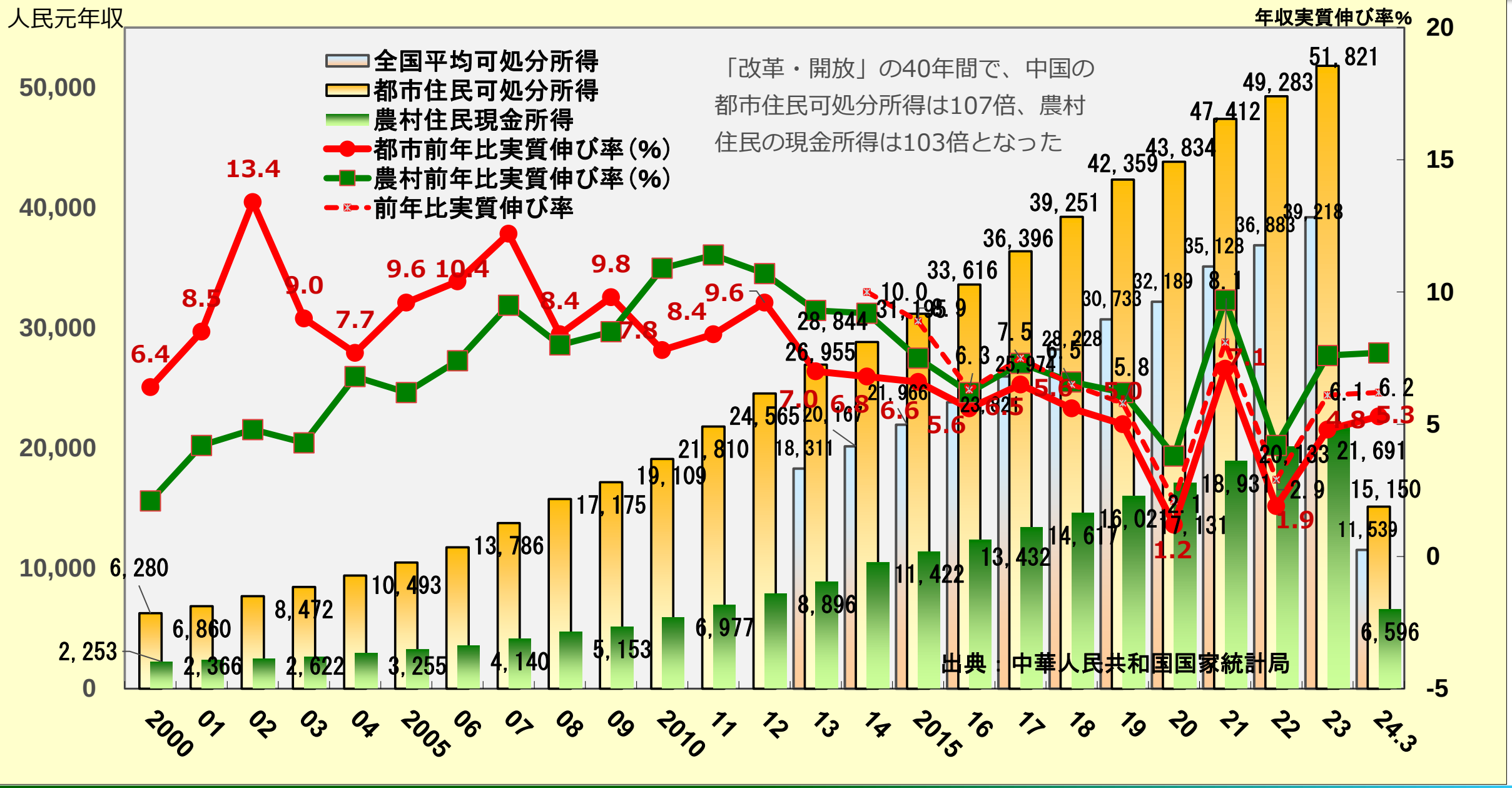
Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

固定資産投資/不動産投資/インフラ投資の推移



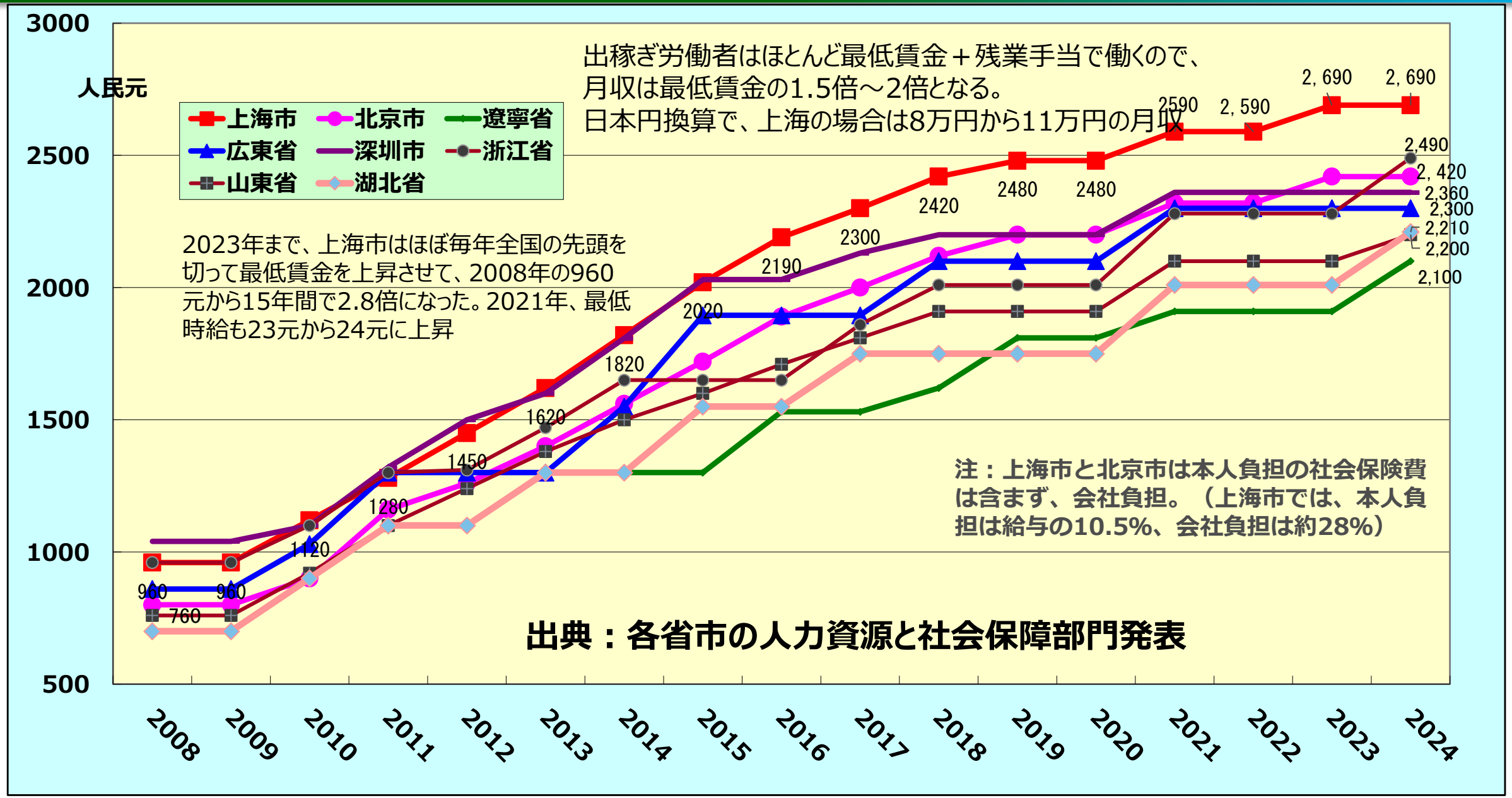
Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

都市と農村住民の可処分所得の推移



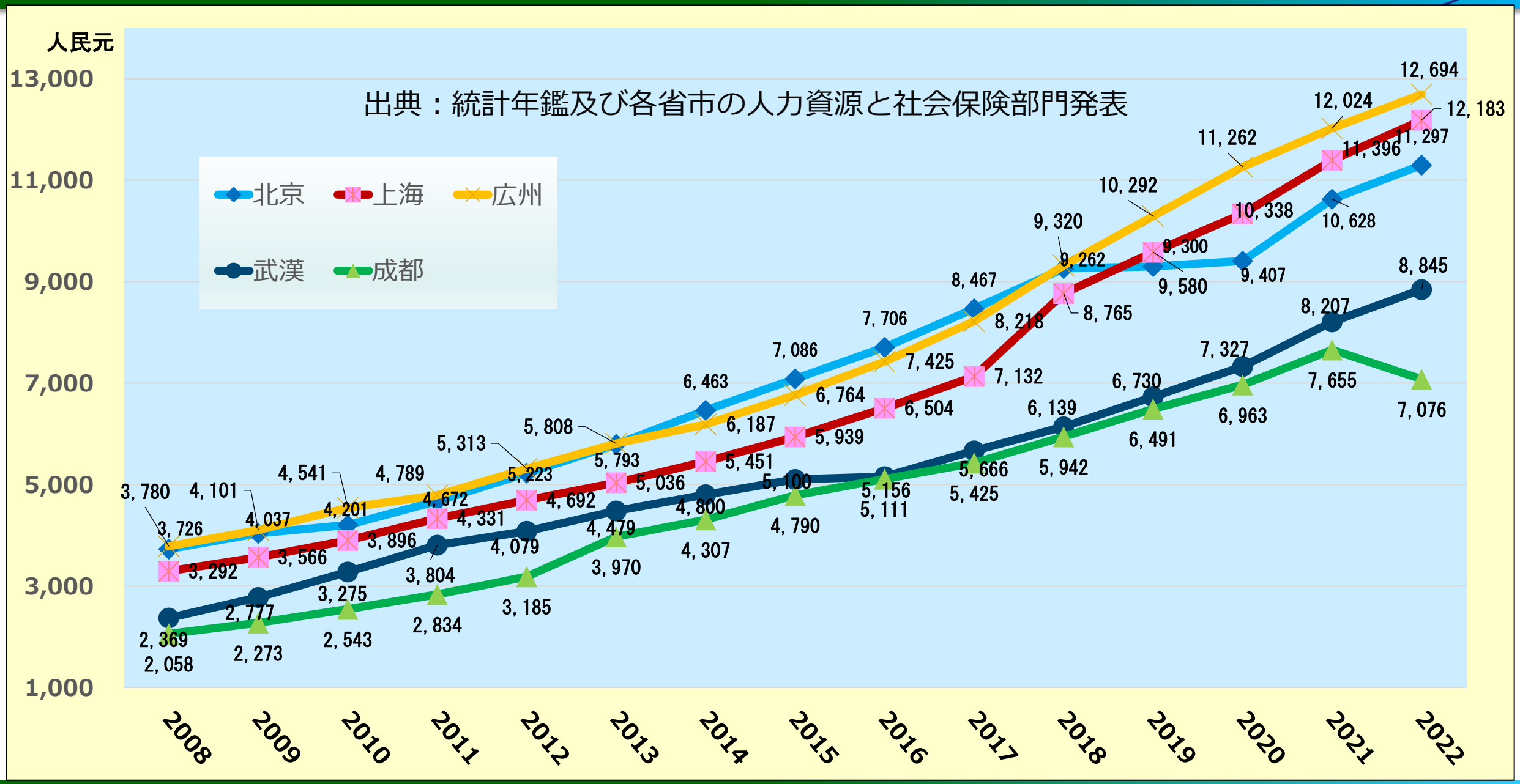
Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

各都市の法定最低賃金の推移



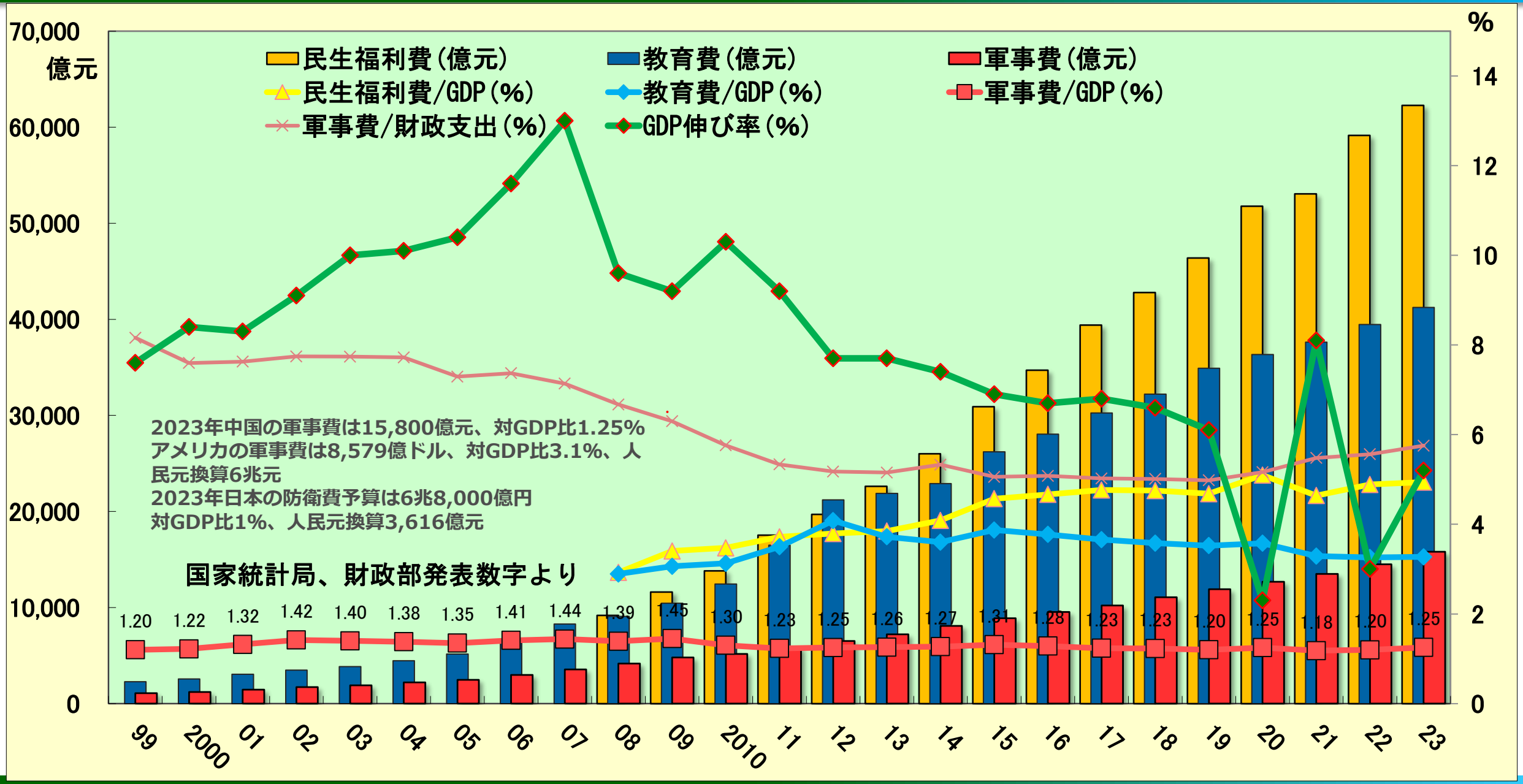
Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

各都市の平均賃金の推移



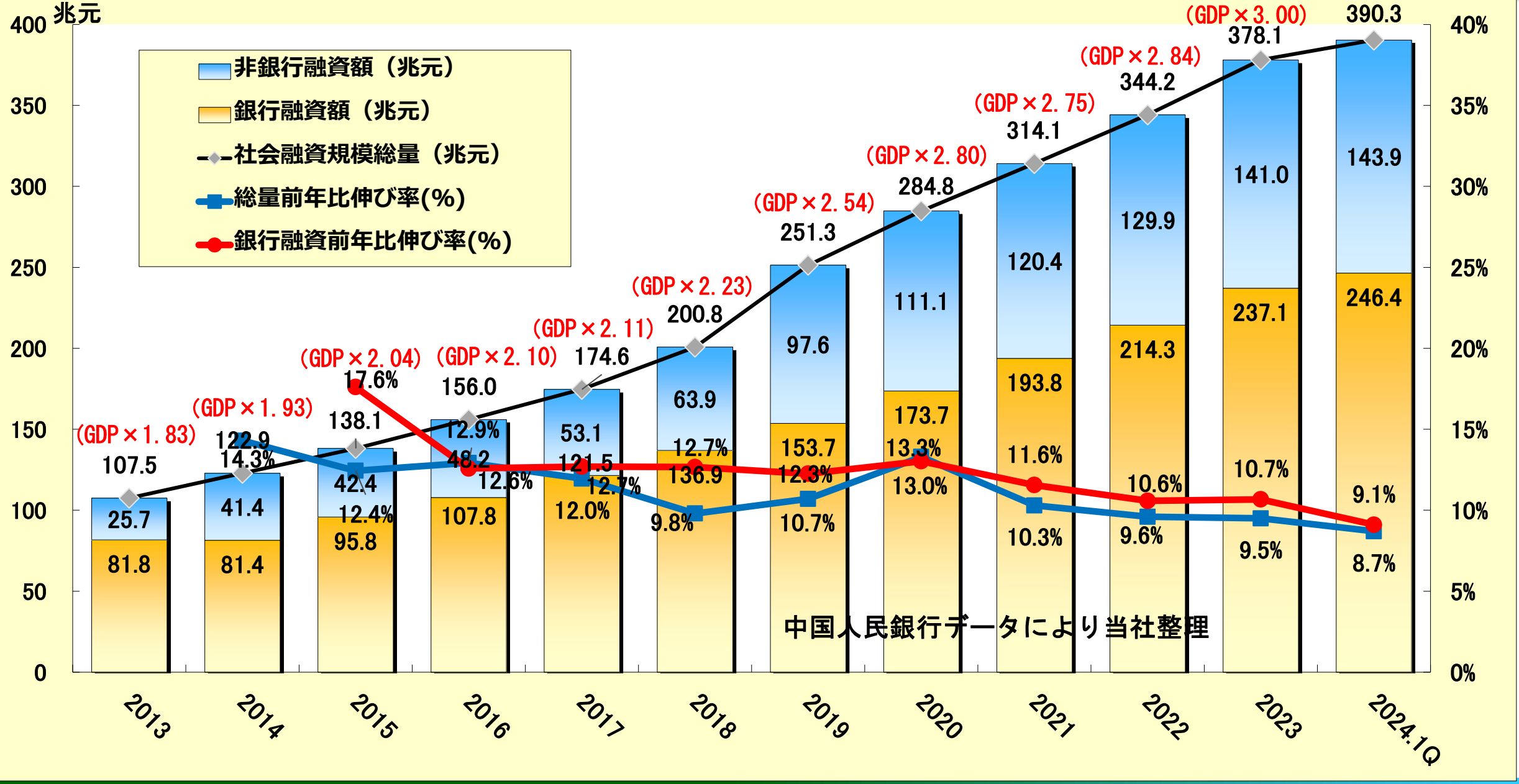
Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

中国のGDP、国家財政支出と民生福利費、教育費などの推移



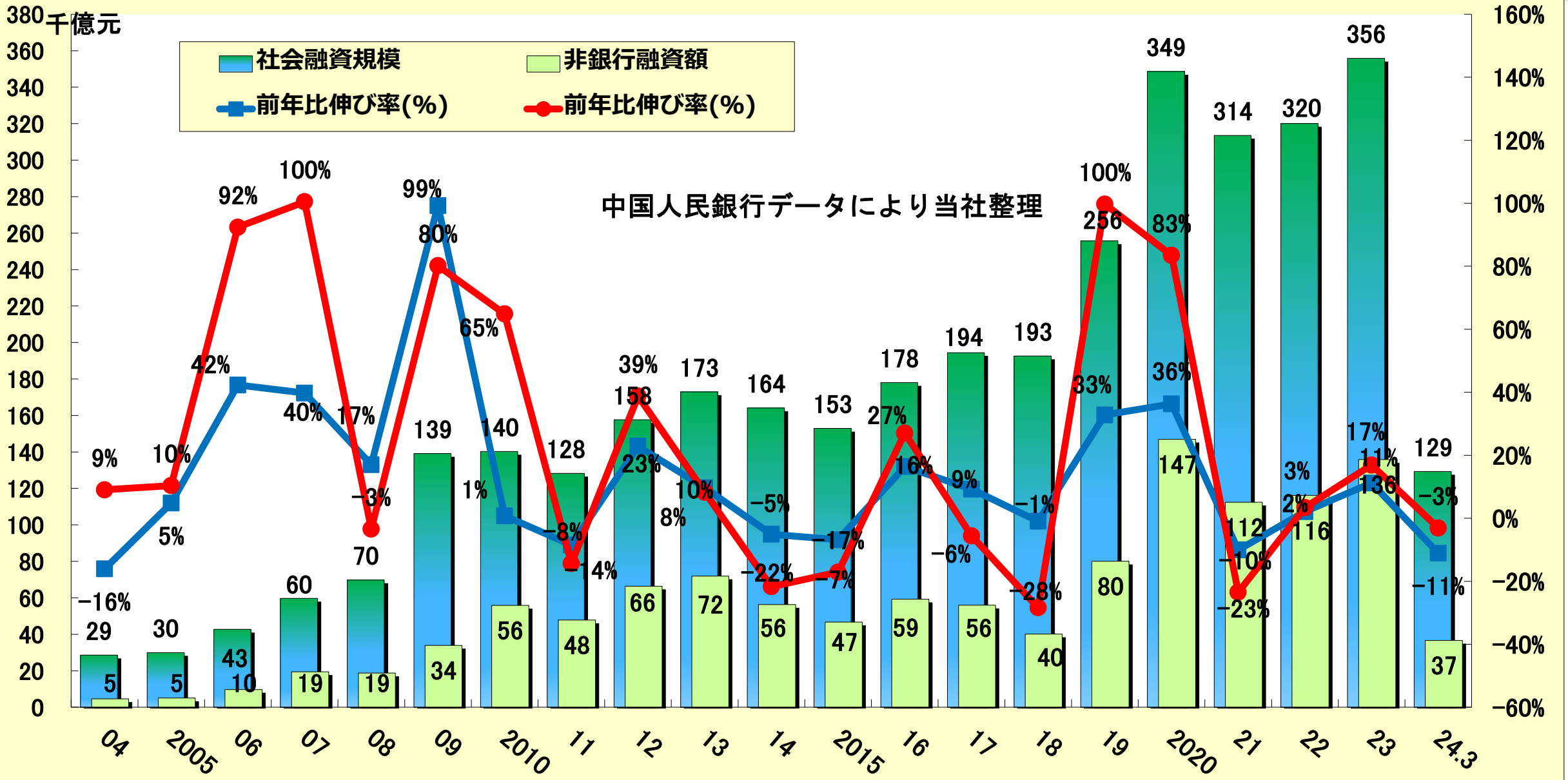
Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

中国の社会融資総量の残高



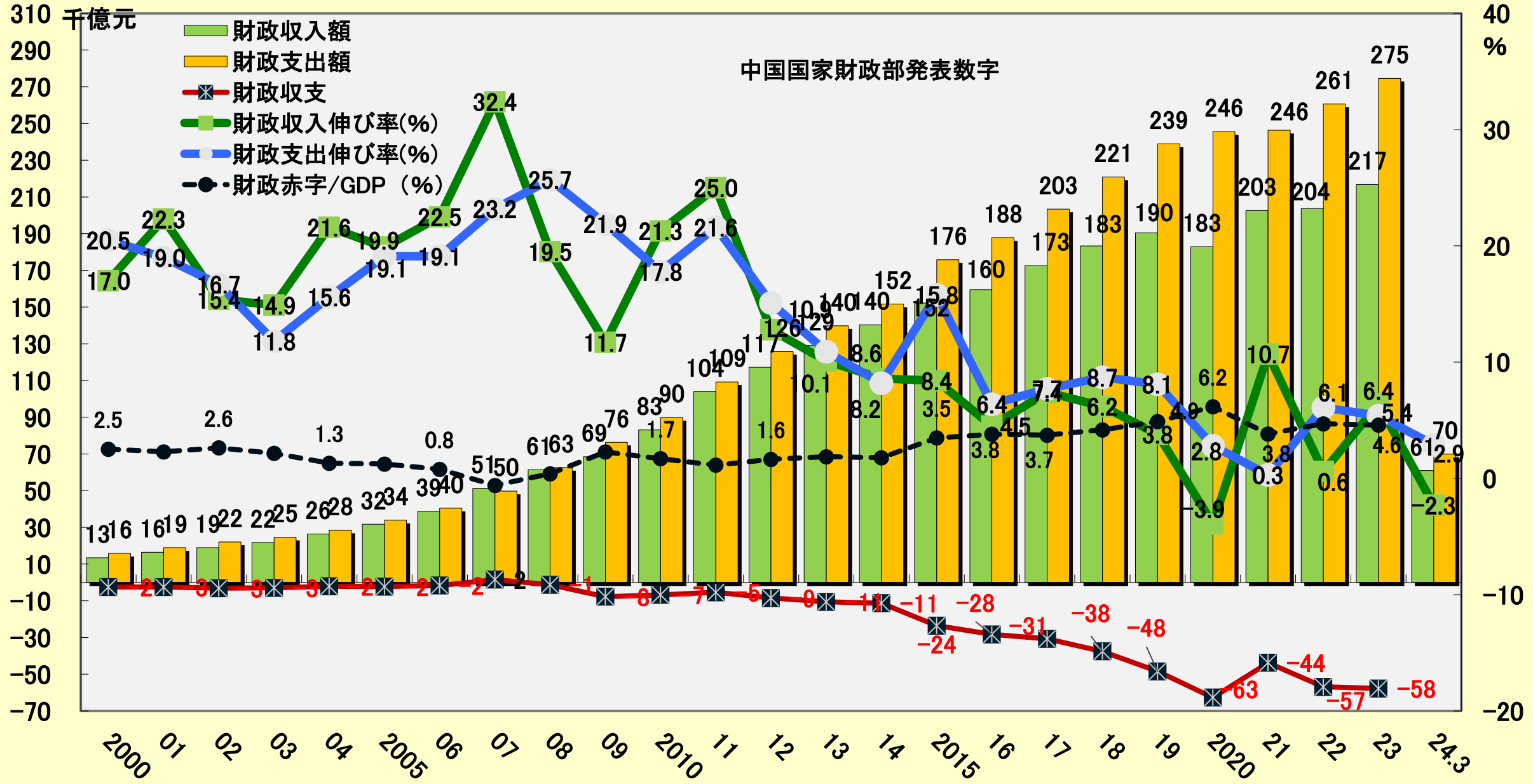
Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

中国の社会融資(増加)規模



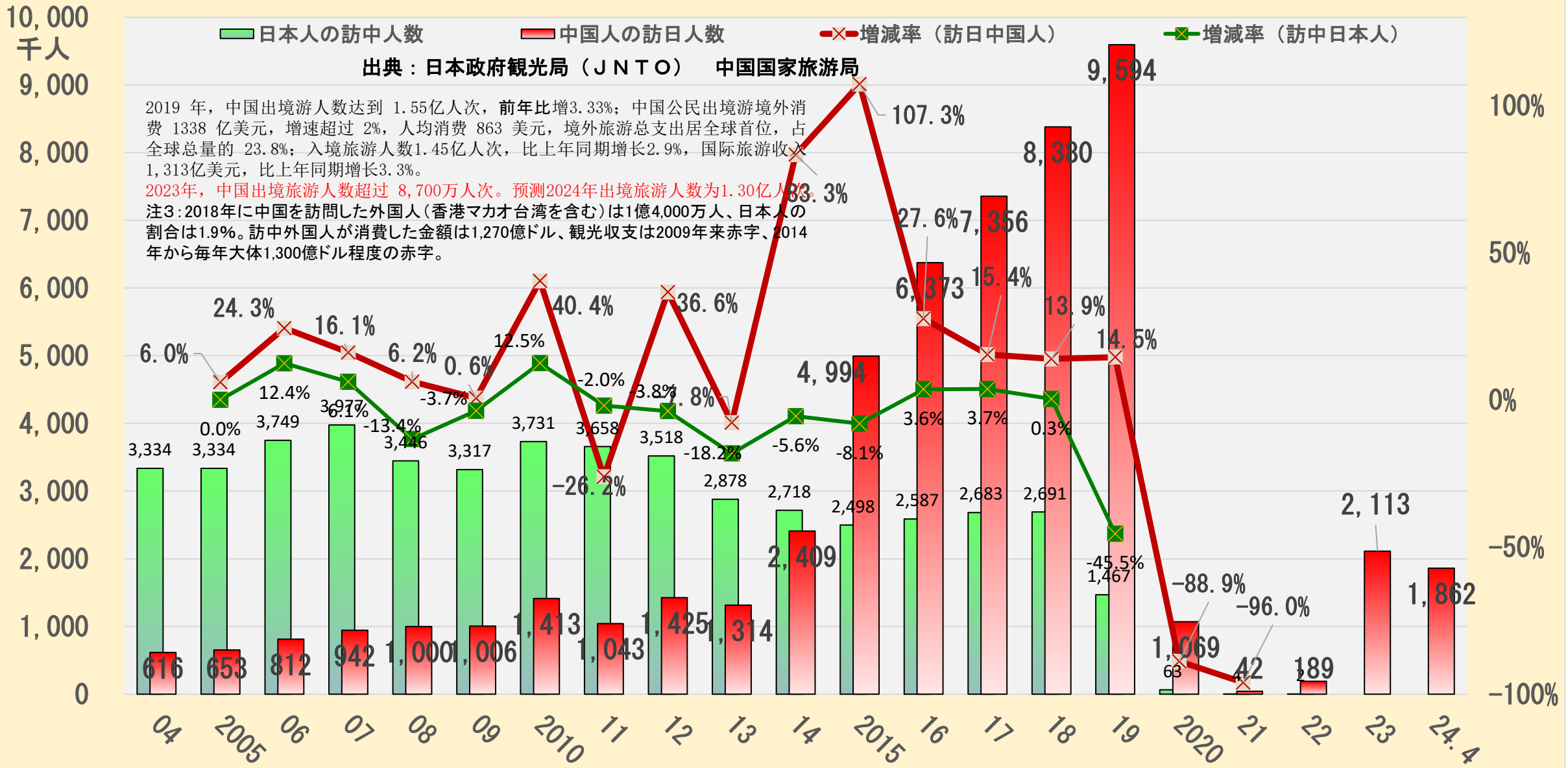
Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

中国の国家財政収支



Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

日本人と中国人の相互訪問人数推移



Copyright © 2024　HuaZhong Consulting Group　All Rights Reserved.

Ⅳ．避けられない中国、アメリカ、日本の貿易での相互依存体質

-2023年の世界の貿易額は前年度に比較して大幅に縮小した。理由はアメリカを除いて、世界的に不景気であったこと、アメリカ、日本が依然として中国に貿易戦争を仕掛けていることなど。

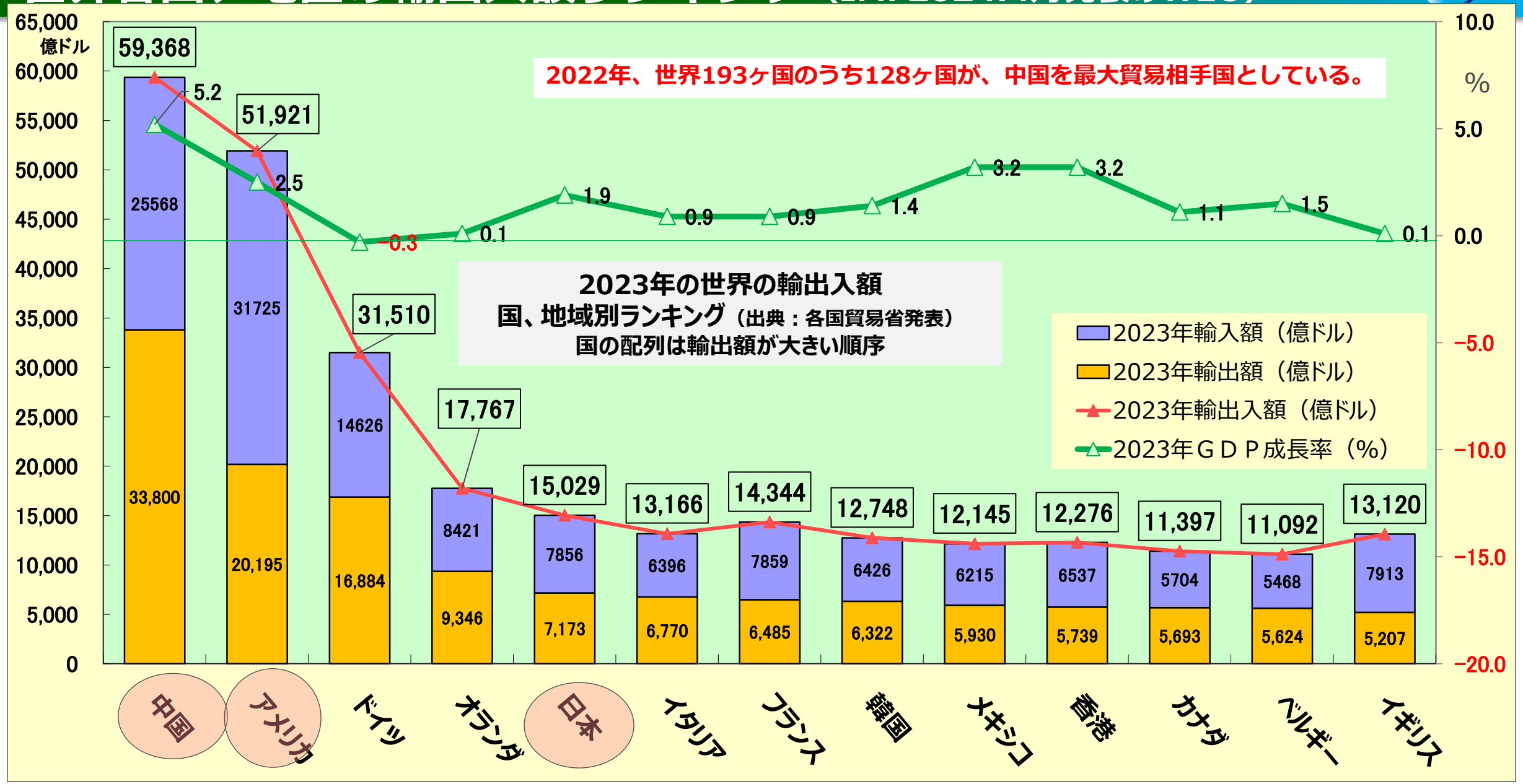
-UNCTAD（国連貿易開発会議United Nations Conference on Trade and Development）によれば、
2023年の世界の輸出総額は23兆7835億89百万ドル（輸入総額は24兆2346億78百万ドル）
中国の輸出が3兆3800億25百万ドルで世界シェア14.2%、アメリカは2兆195億42百万ドルで世界シェア8.5%、日本は7173億15百万ドルで世界シェア3.0%
貿易大国と言われた日本（人口1.26億人）は、ドイツ、オランダに抜かれて世界第5位。

-2023年は世界の貿易額は大幅縮小したが、中国は貿易総額、輸出額、貿易黒字額で、依然として世界最大の貿易大国、2022年、世界193ヶ国の128ヶ国が、中国を最大貿易相手国としている。

-アメリカは何としても中国が覇権国となることは抑え込みたい。それは誰にも止められない執念である。中国がここまで大きくなったことで、今後アメリカの中国たたきはますます過激になろう。しかしアメリカも日本も中国との貿易交流が無ければ、食べる物も衣服も家具も子供の玩具も無くなってしまう。角突き合わせながら、お互いの相互依存体制は今後とも続こう。

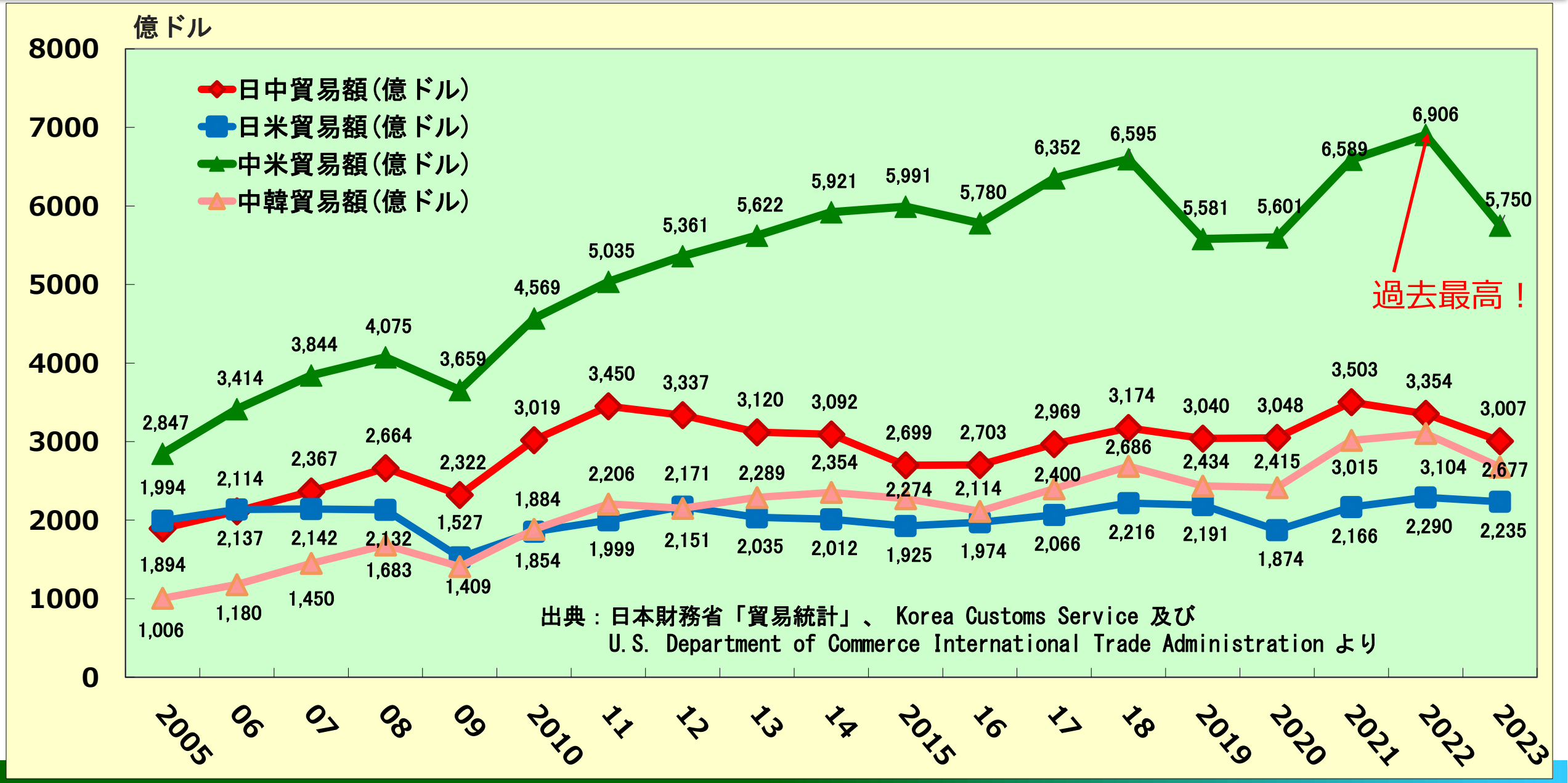
Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

世界各国、地区の輸出入額ランキング（IMF2024.4月発表のWEO）



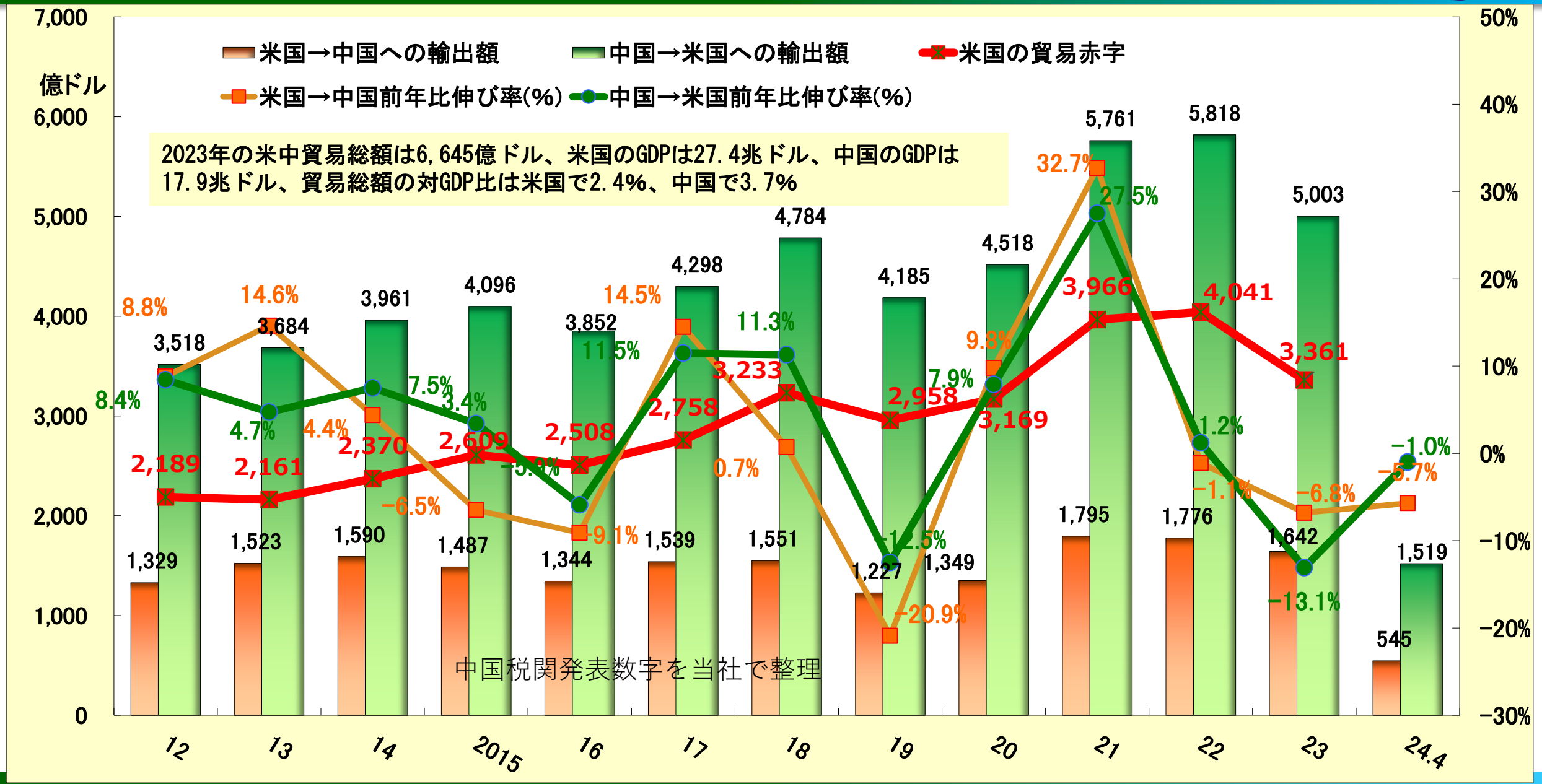
Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

日中、日米、中米の貿易額推移（2005～2023年）



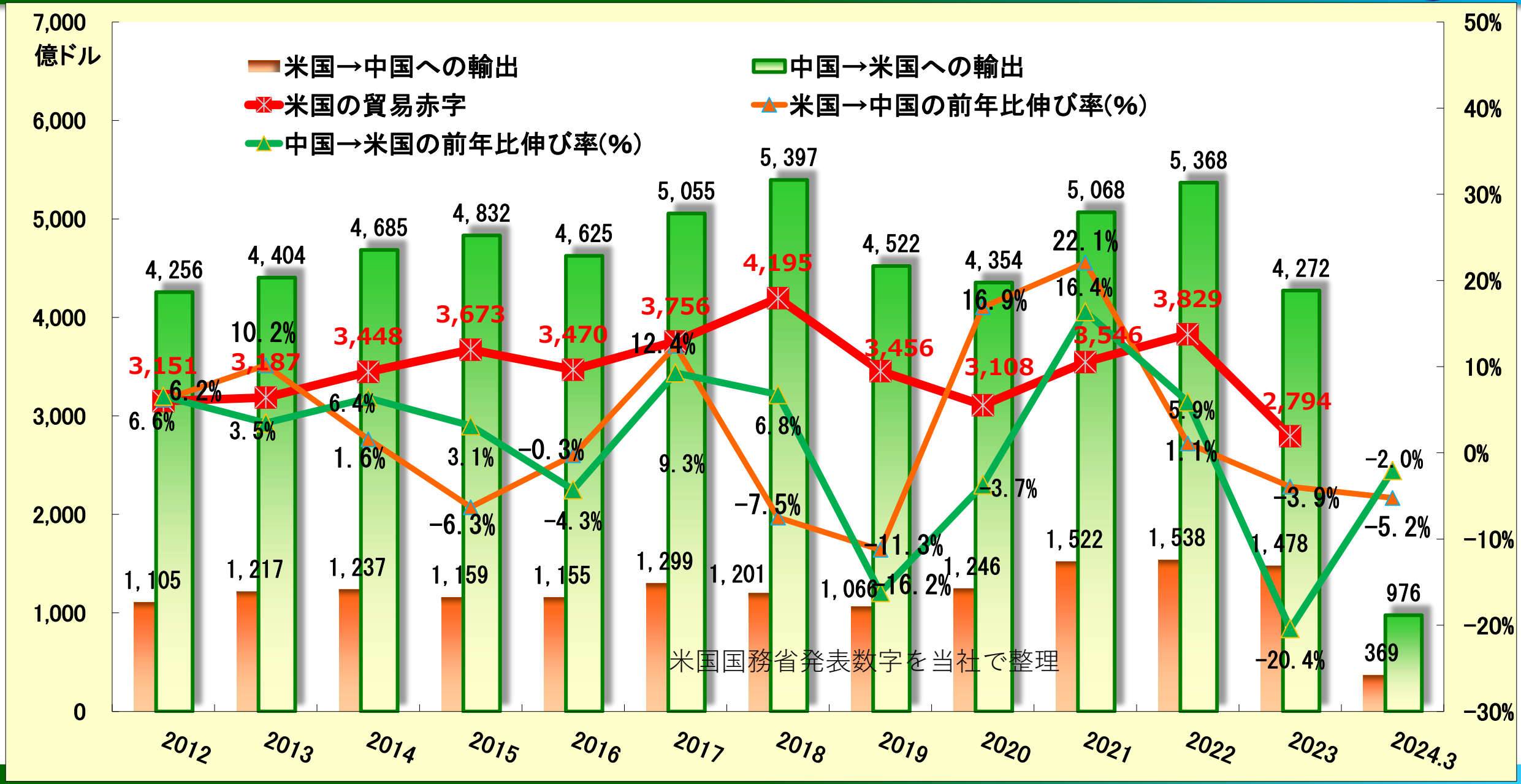
Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

中国とアメリカの（物）貿易額推移（中国データ）



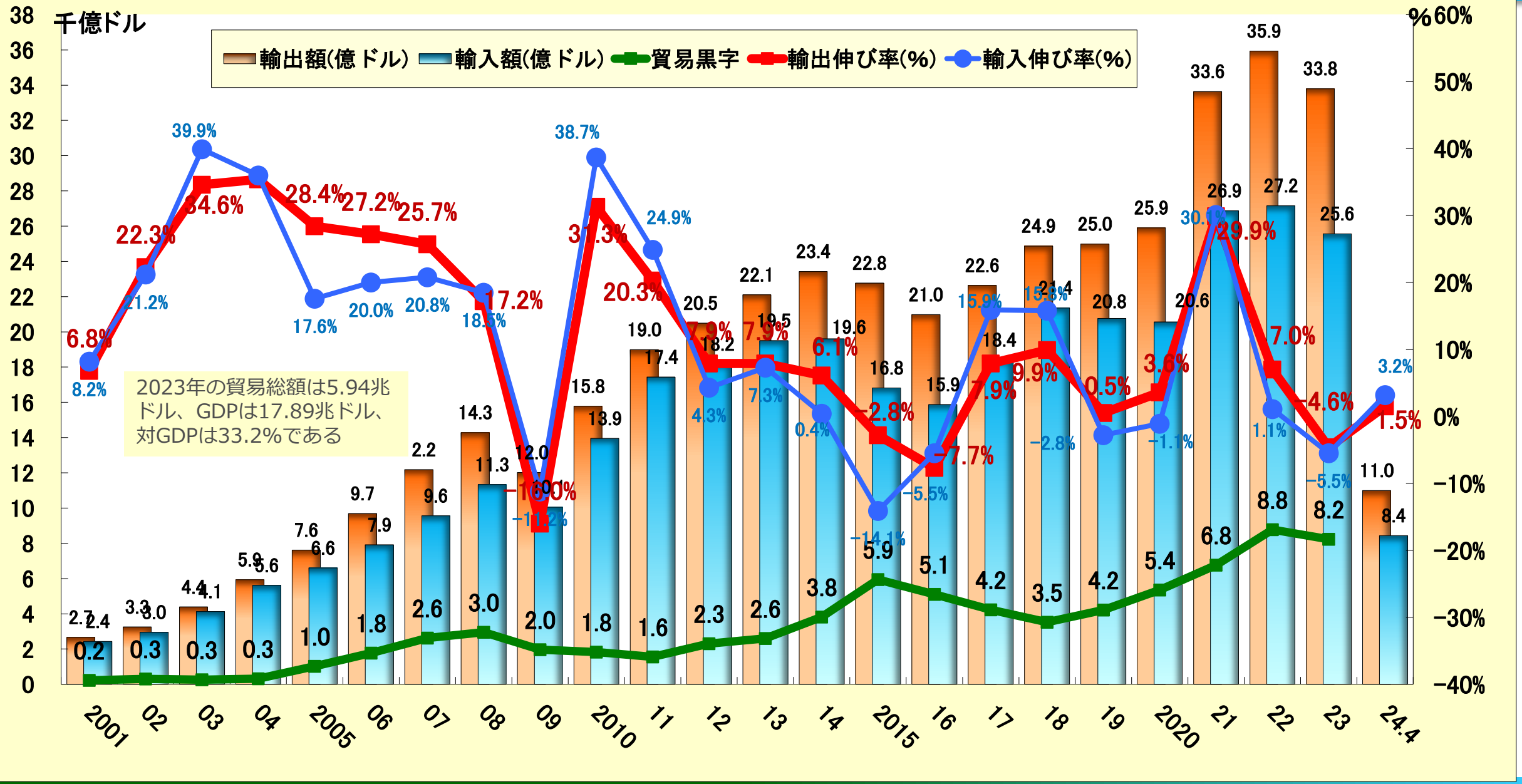
Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

中国とアメリカの（物）貿易額推移（米国データ）



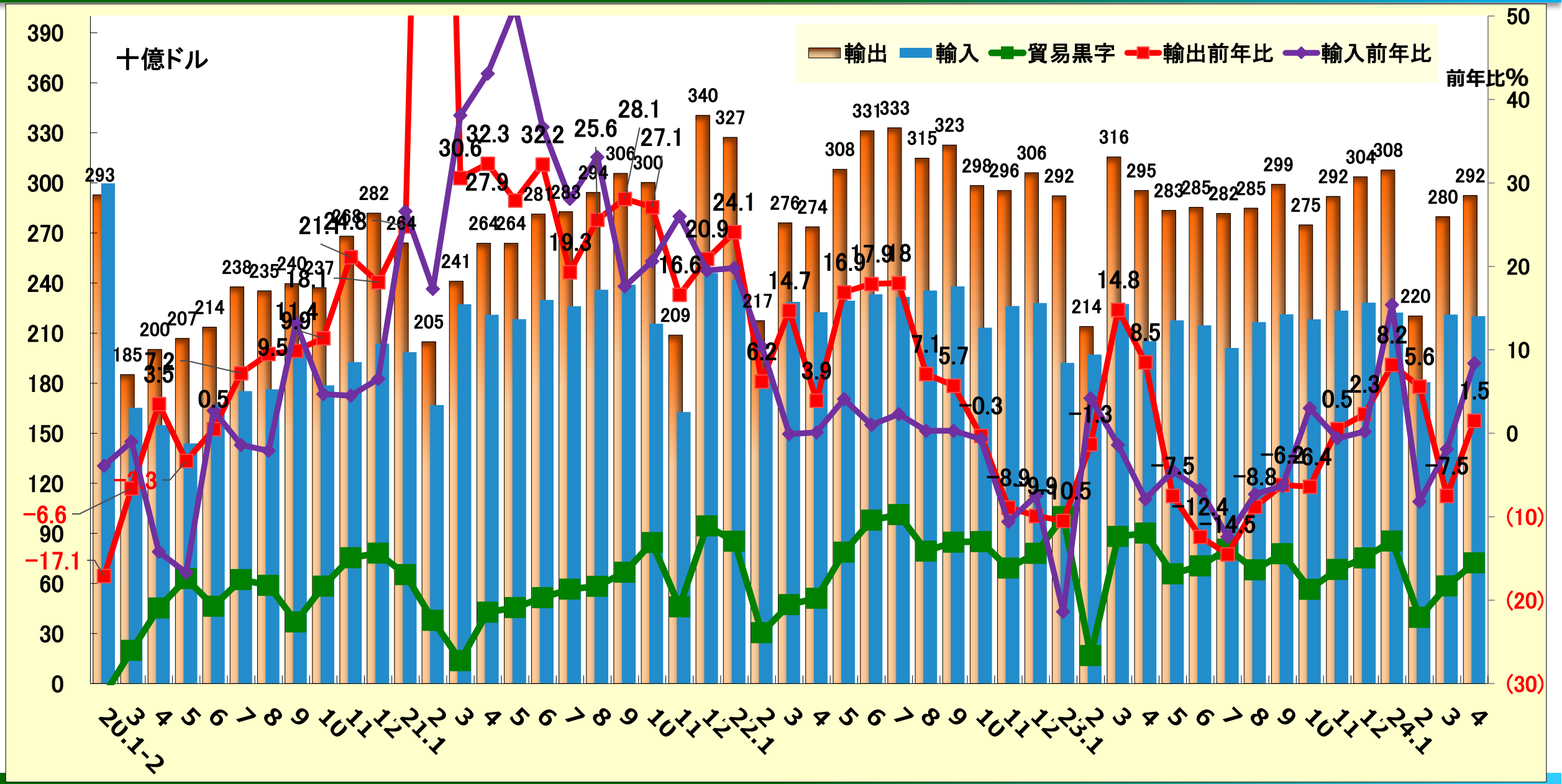
Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

中国の対外貿易額推移(中国税関発表)



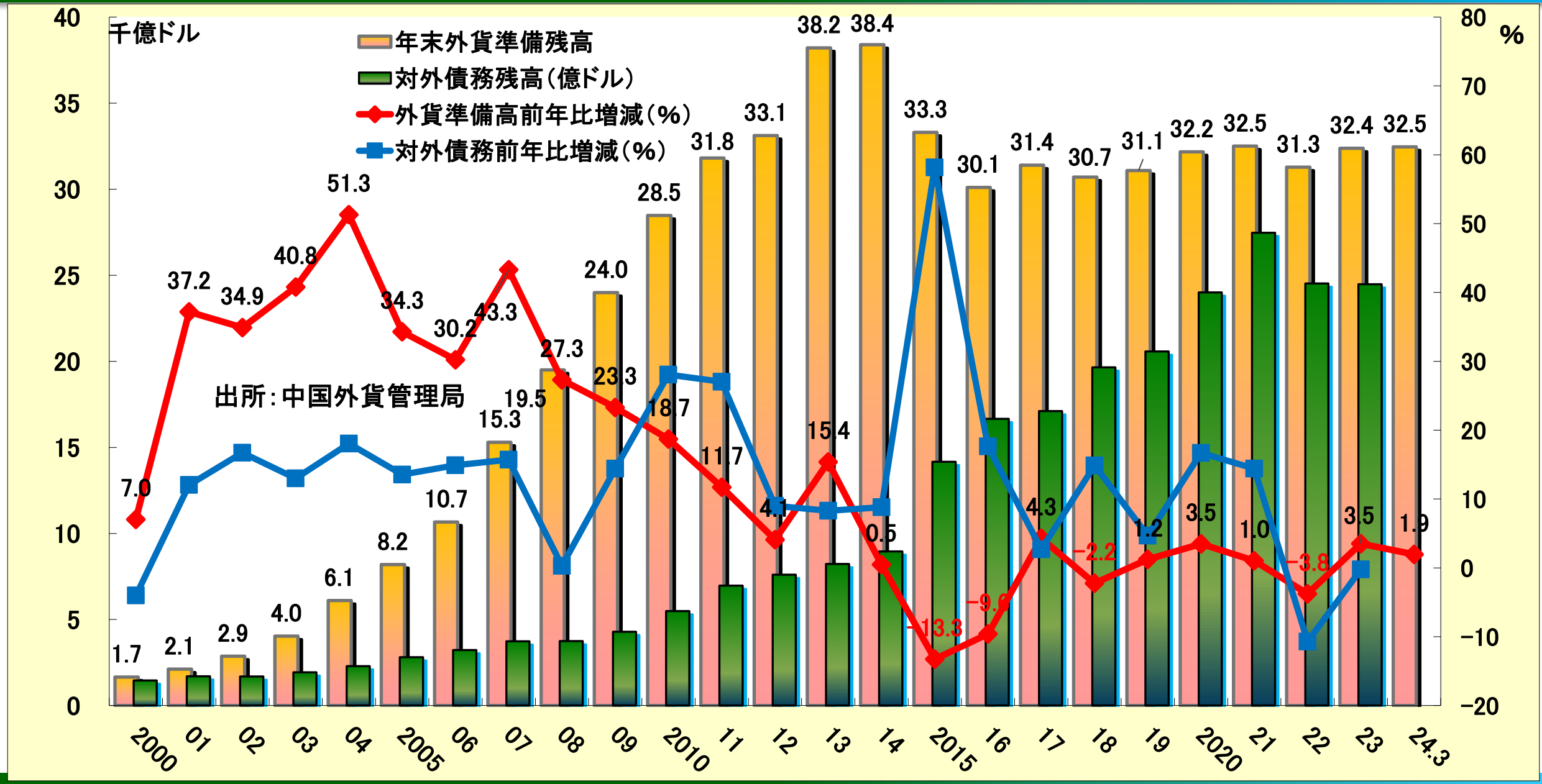
Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

中国の対外貿易額推移(中国税関発表)



Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

中国の外貨準備高と対外債務残高の推移

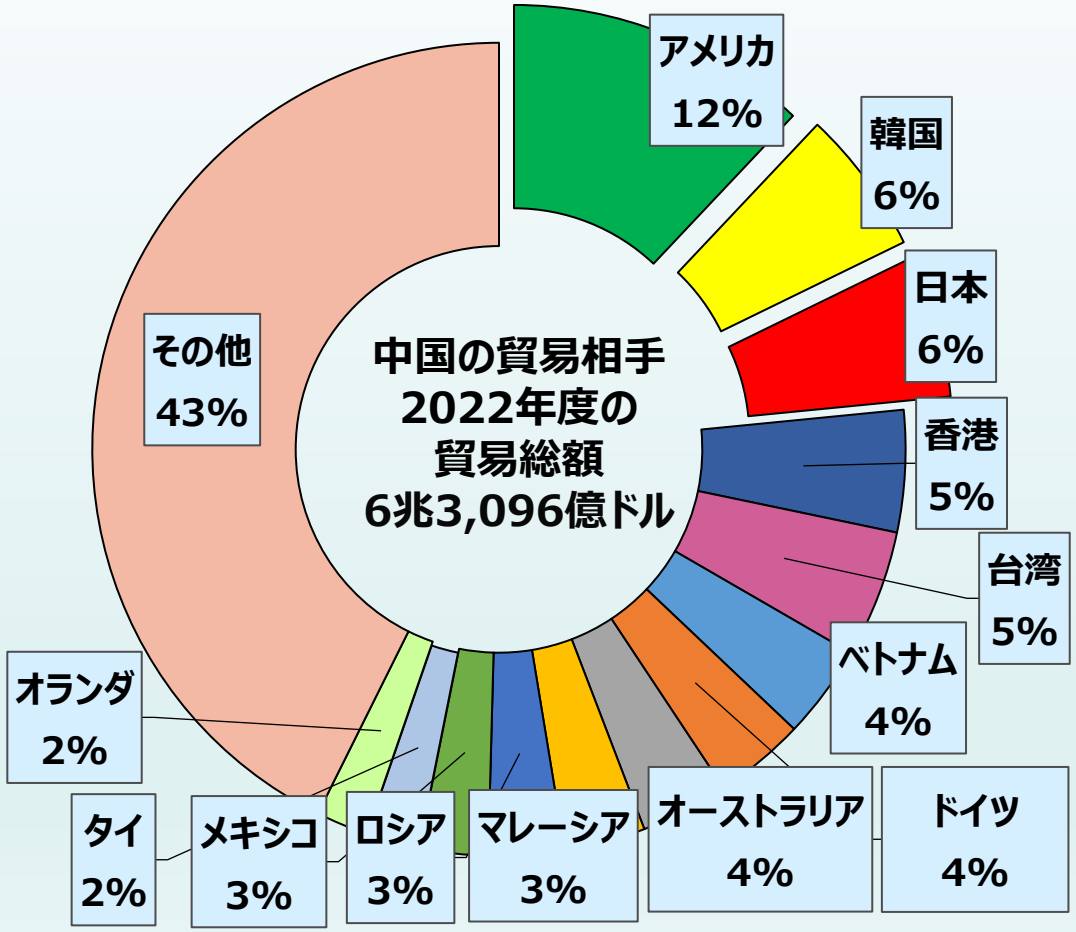


Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

中国の貿易相手国、地区の分布(2022年と2023年)

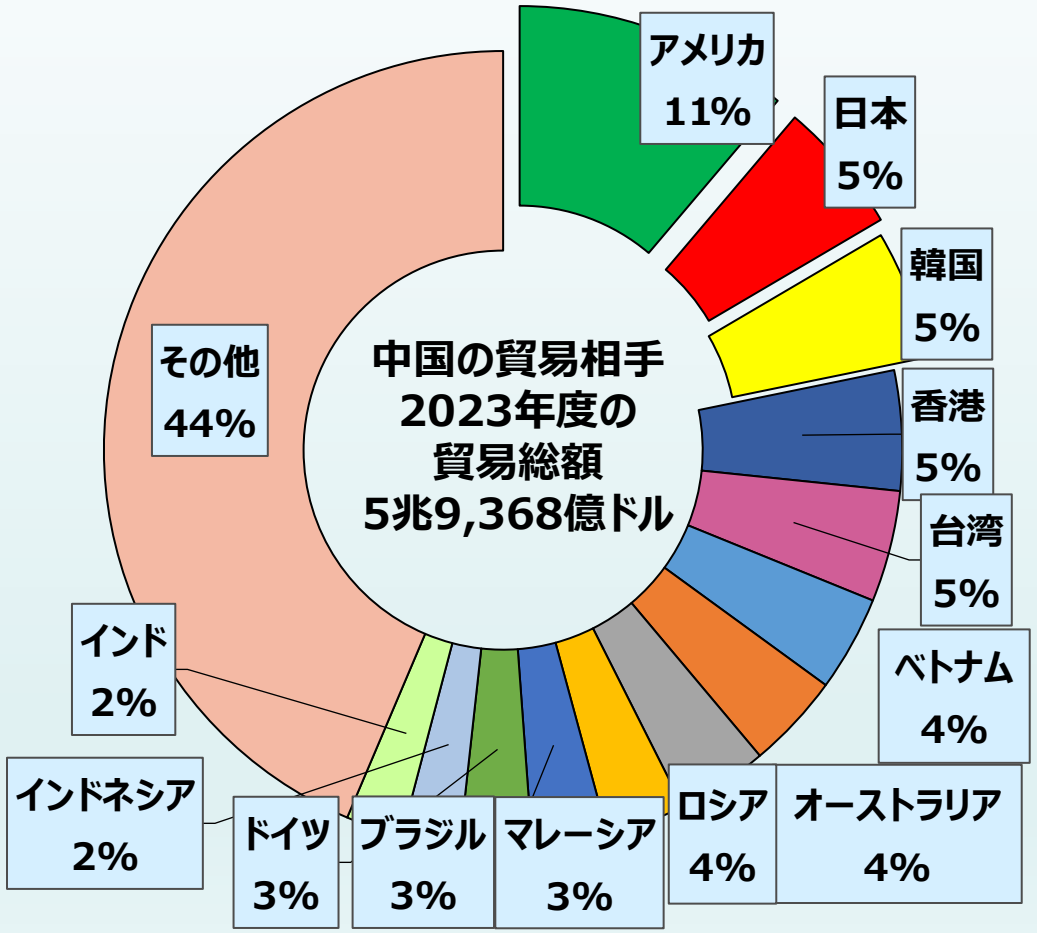
2022年1～12月の中国の貿易相手国、地区と比率

輸出入貿易総額： 6兆3,096億ドル
対アメリカの貿易比率は12%、金額 7,594億ドル(第1位)
対韓国の貿易比率は6%、 金額 3,623億ドル(第2位)
対日本の貿易比率は6%、 金額 3,574億ドル(第3位)



2023年1～12月の中国の貿易相手国、地区と比率

輸出入貿易総額：5兆9,368億ドル
対アメリカの貿易比率は11%、金額 6,645億ドル(第1位)
対日本の貿易比率は5%、 金額 3,180億ドル(第2位)
対韓国の貿易比率は5%、 金額 3,107億ドル(第3位)



出典：中国税関輸出入国別総額表

Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

中国の貿易（輸出と輸入）相手国、地区の分布(2023年度)

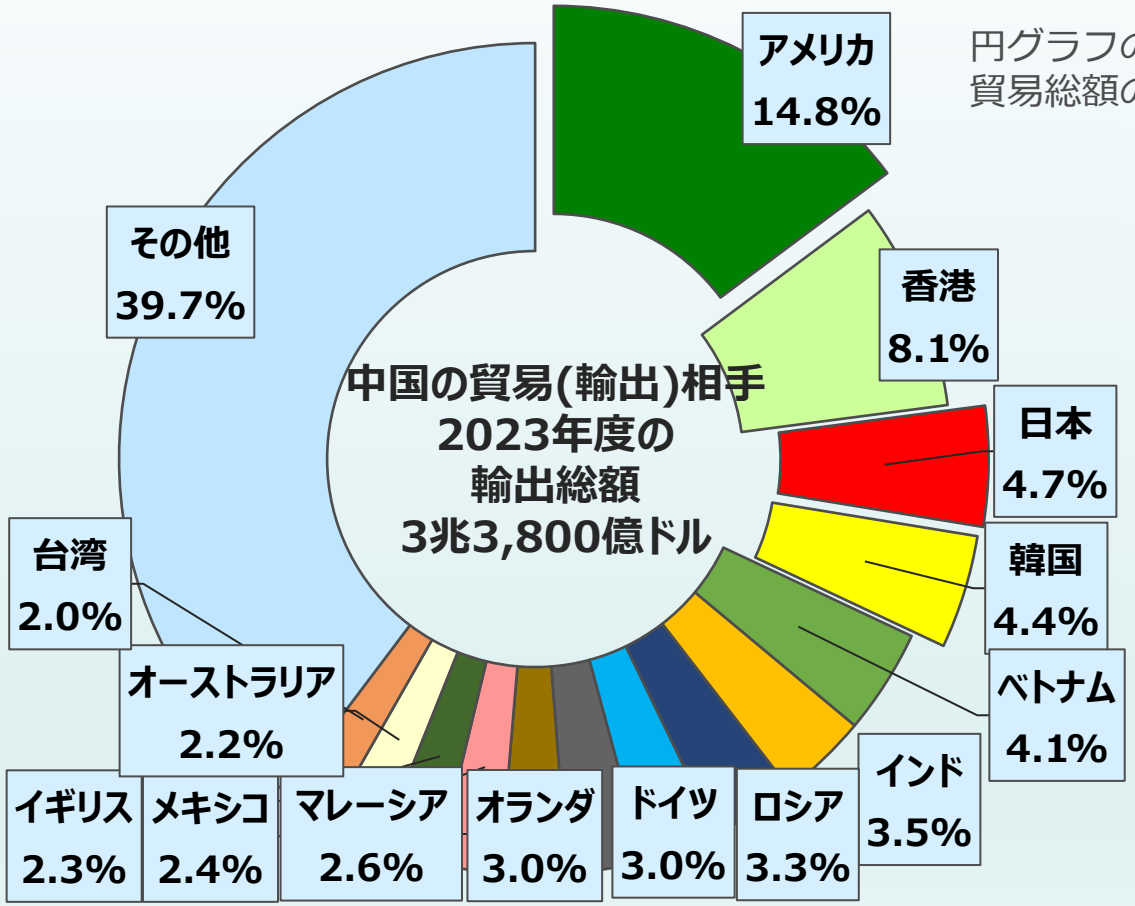
2023年度の中国の貿易（輸出）相手国、地区と比率

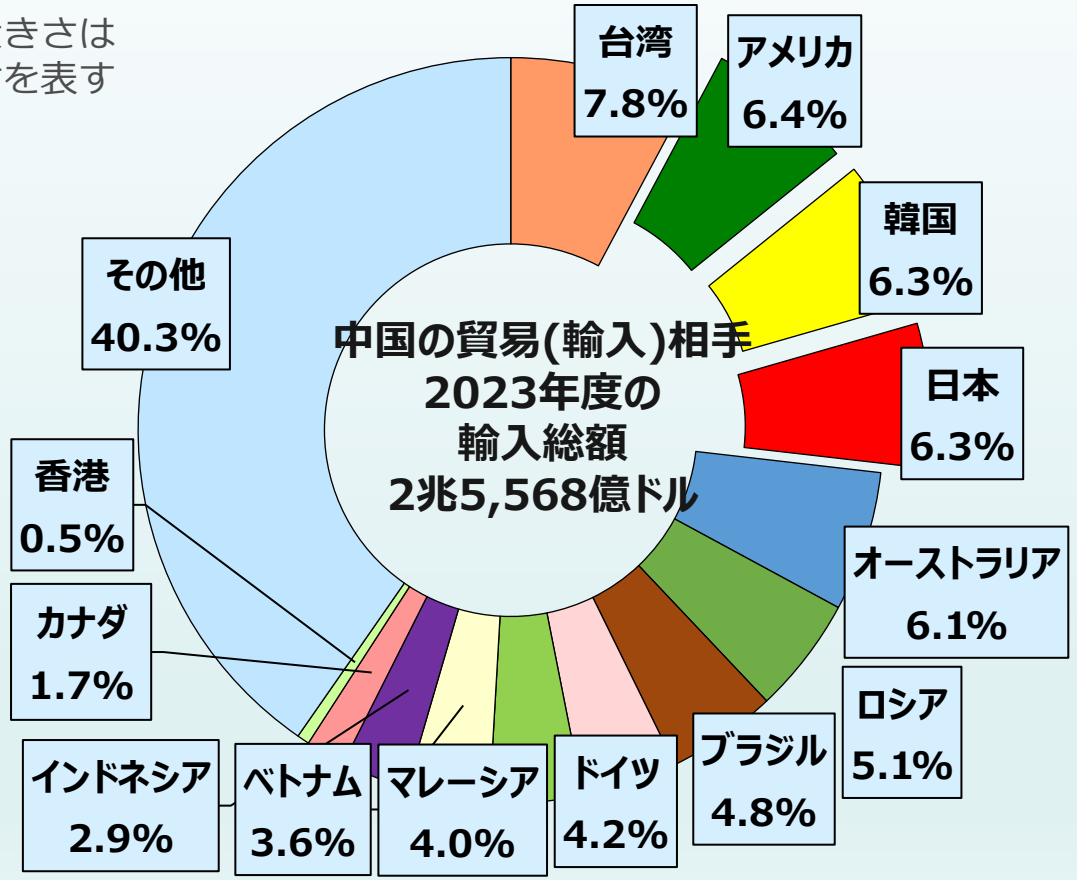
輸出総額：3兆3,800億ドル
対アメリカの比率14.8%、金額　5,003億ドル (第1位)
対日本の比率4.7%、　金額　1,575億ドル (第3位)
対韓国の比率4.4%、　金額　1,490億ドル (第4位)

2023年度の中国の貿易（輸入）相手国、地区と比率

輸入総額：2兆5,568億ドル
対アメリカの比率6.4%、金額　1,642億ドル (第2位)
対韓国の比率6.3%、　金額　1,618億ドル (第3位)
対日本の比率6.3%、　金額　1,605億ドル (第4位)

円グラフの円の大きさは
貿易総額の大きさを表す





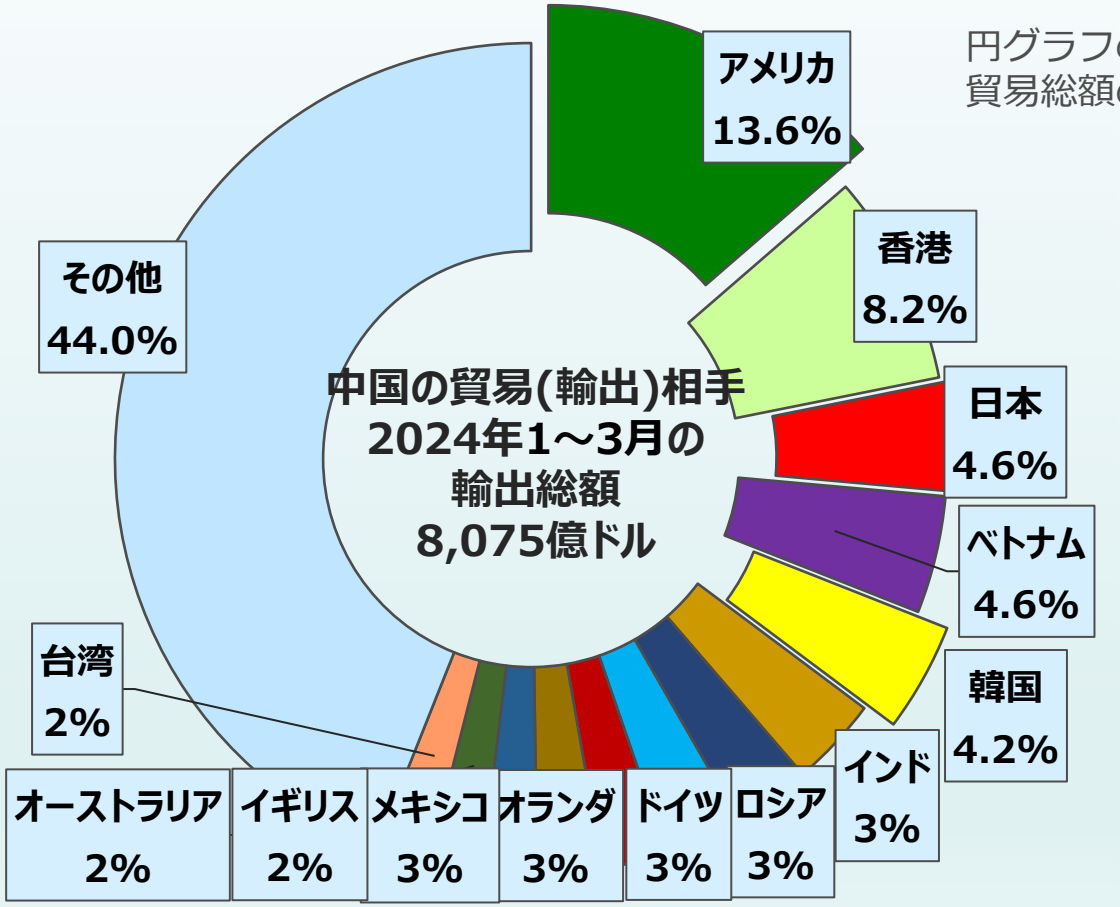
出典：中国税関輸出入国別総額表

Copyright © 2024　HuaZhong Consulting Group　All Rights Reserved.

中国の貿易（輸出と輸入）相手国、地区の分布(2024年1～3月)

2024年1～3月の中国の貿易（輸出）相手国、地区と比率

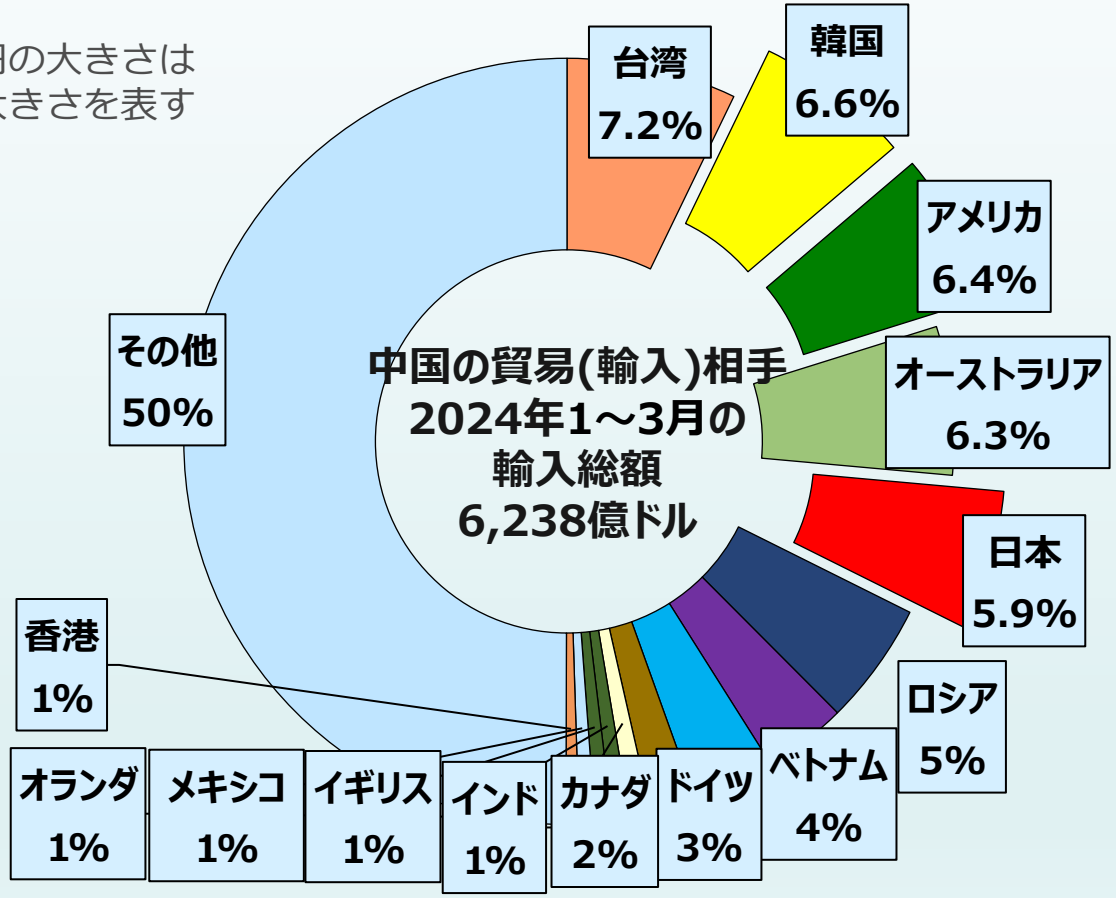
輸出総額：8,075億ドル
対アメリカの比率13.6%、金額　1,101億ドル (第1位)
対日本の比率4.6%、　金額　664億ドル (第3位)
対韓国の比率4.2%、　金額　342億ドル (第5位)



円グラフの円の大きさは
貿易総額の大きさを表す

2024年1～3月の中国の貿易（輸入）相手国、地区と比率

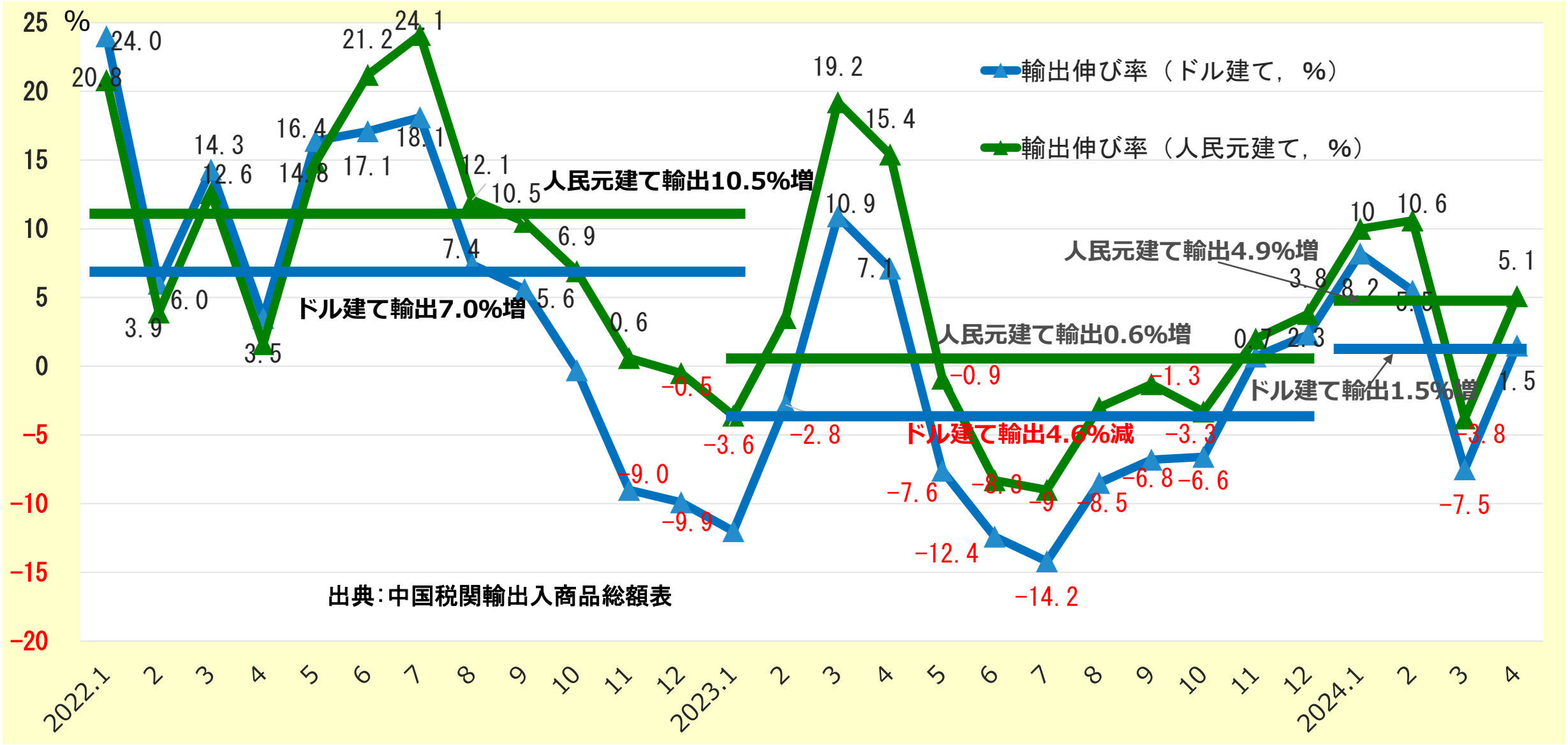
輸入総額：6,238億ドル
対韓国の比率6.6%、　金額　412億ドル (第2位)
対アメリカの比率6.4%、金額　399億ドル (第3位)
対日本の比率5.9%、　金額　370億ドル (第5位)



出典：中国税関輸出入国別総額表

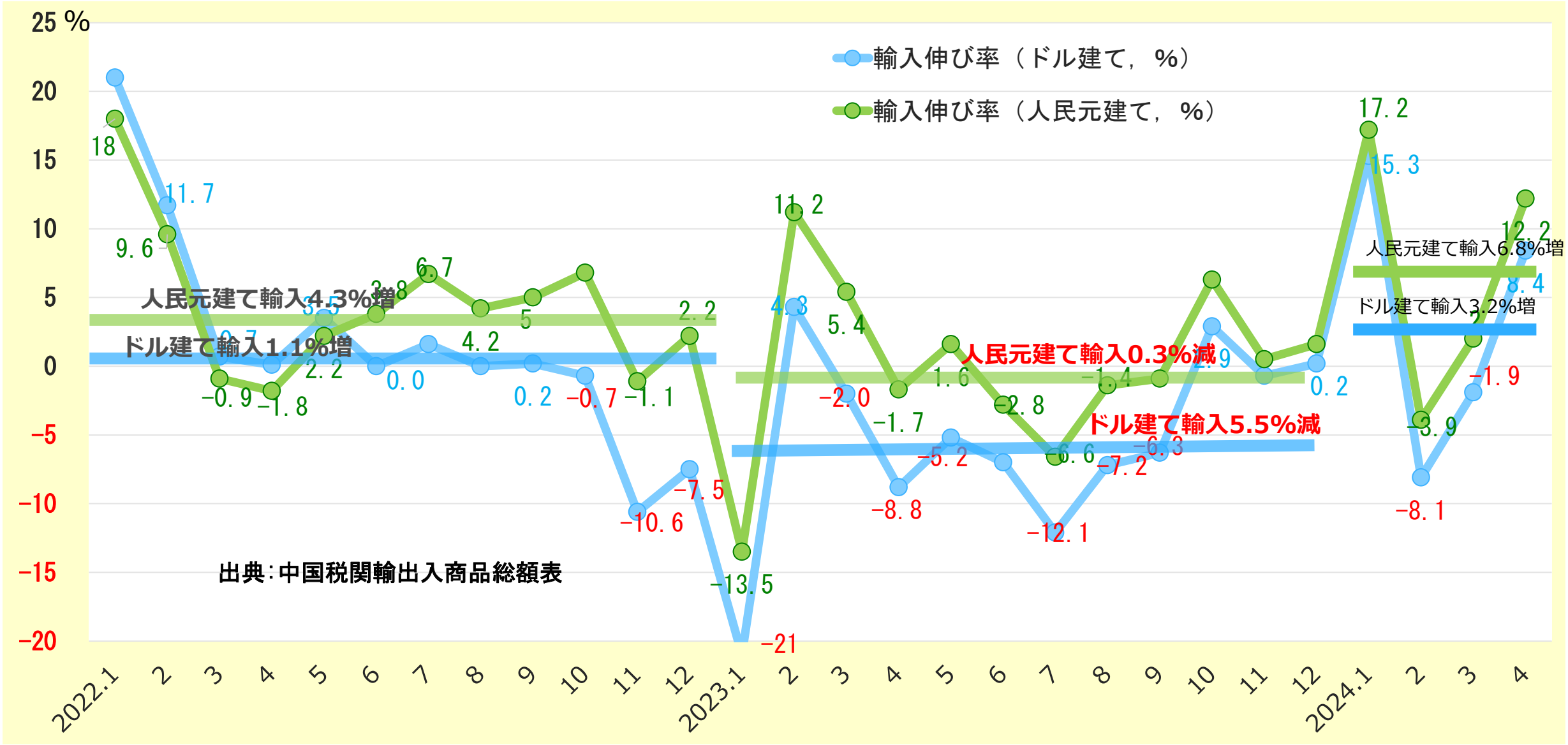
Copyright © 2024　HuaZhong Consulting Group　All Rights Reserved.

中国貿易動向（輸出）：人民元表示と米ドル表示の増減率対比



Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

中国貿易動向（輸入）：人民元表示と米ドル表示の増減率対比

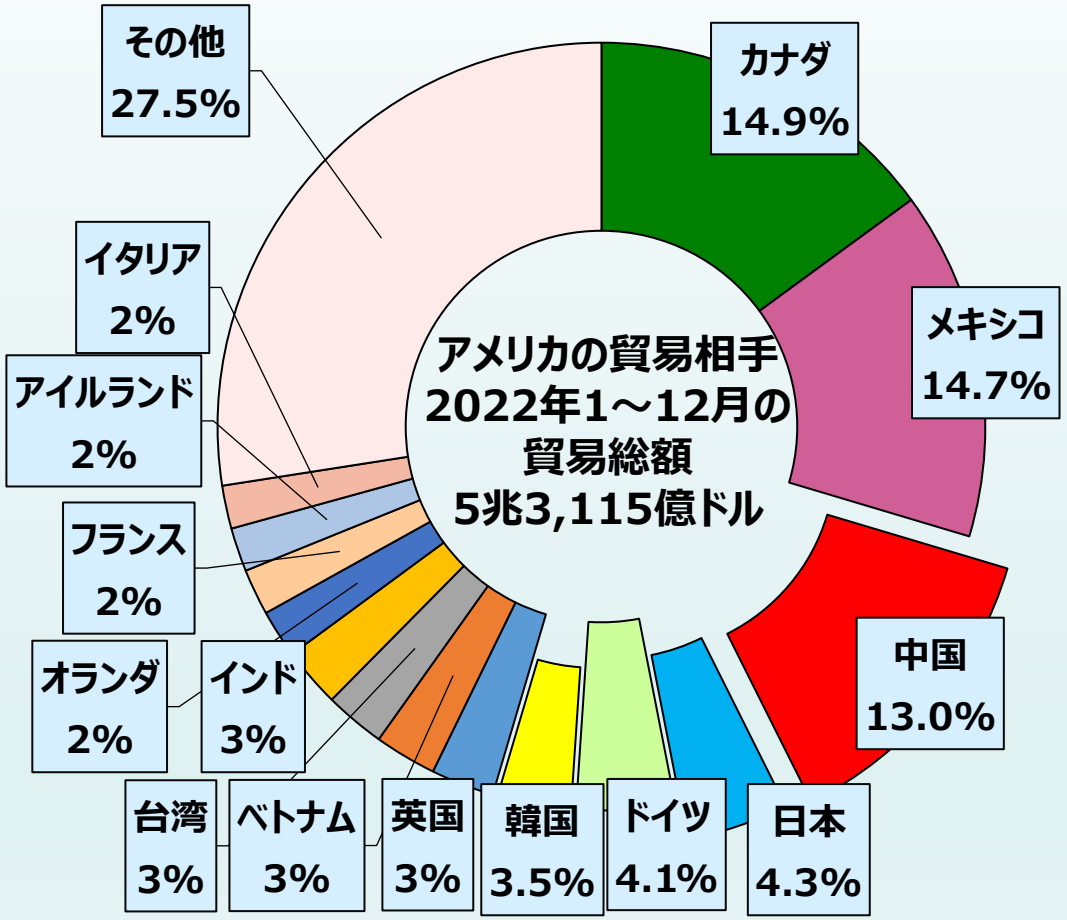


Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

アメリカの貿易相手国、地区の分布(2022と2023年)

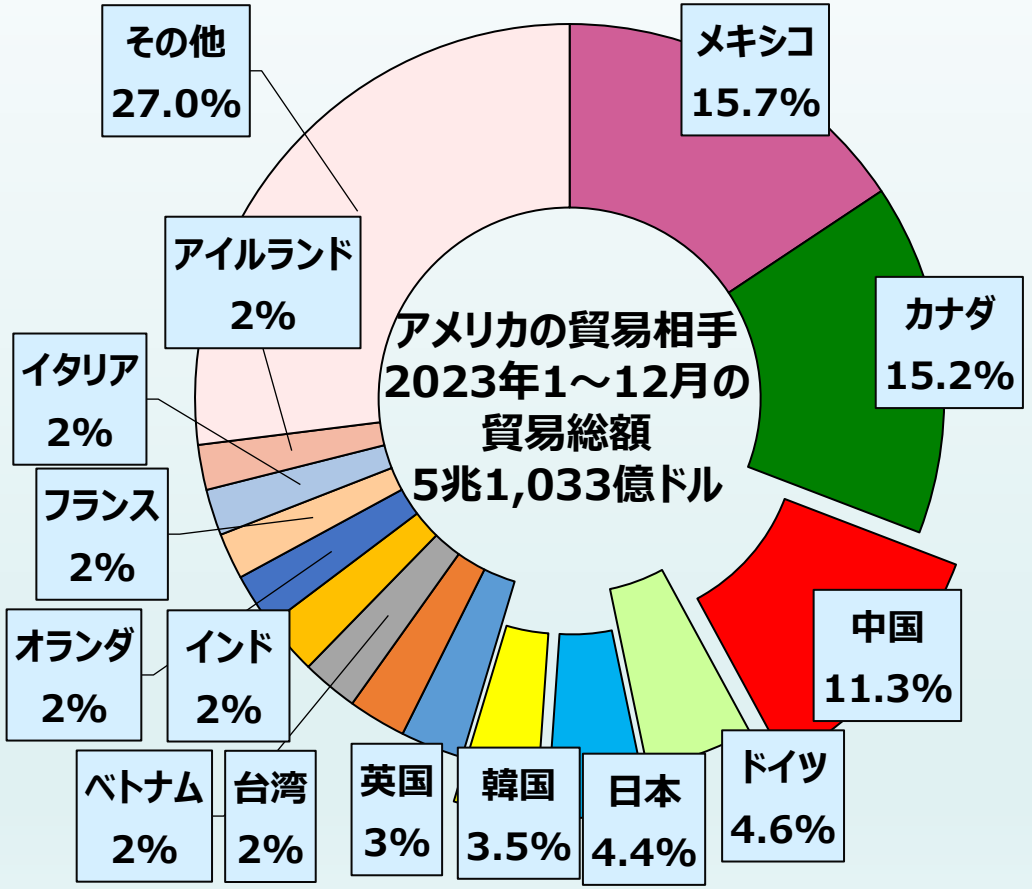
2022年1～12月のアメリカの貿易相手国、地区と比率

輸出入貿易総額：5兆3,115億ドル
対中国の貿易比率１3.0%、金額　6,906億ドル(第3位)
対日本の貿易比率　4.3%、金額　2,286億ドル(第4位)
対韓国の貿易比率　3.5%、金額　1,868億ドル(第6位)



2023年1～12月のアメリカの貿易相手国、地区と比率

輸出入貿易総額：5兆1,033億ドル
対中国の貿易比率１1.3%、金額　5,750億ドル(第3位)
対日本の貿易比率　4.4%、金額　2,235億ドル(第5位)
対韓国の貿易比率　3.5%、金額　1,811億ドル(第6位)

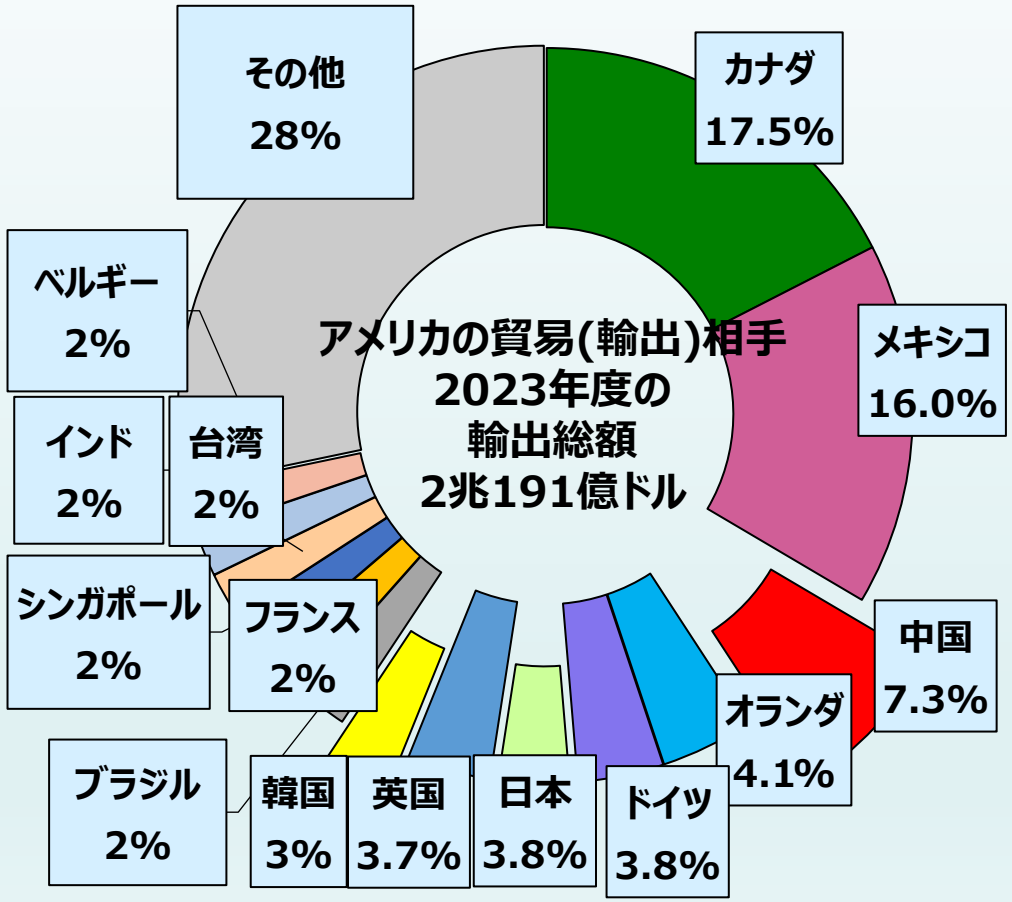


出典：　U.S. Department of Commerce
International Trade Administration

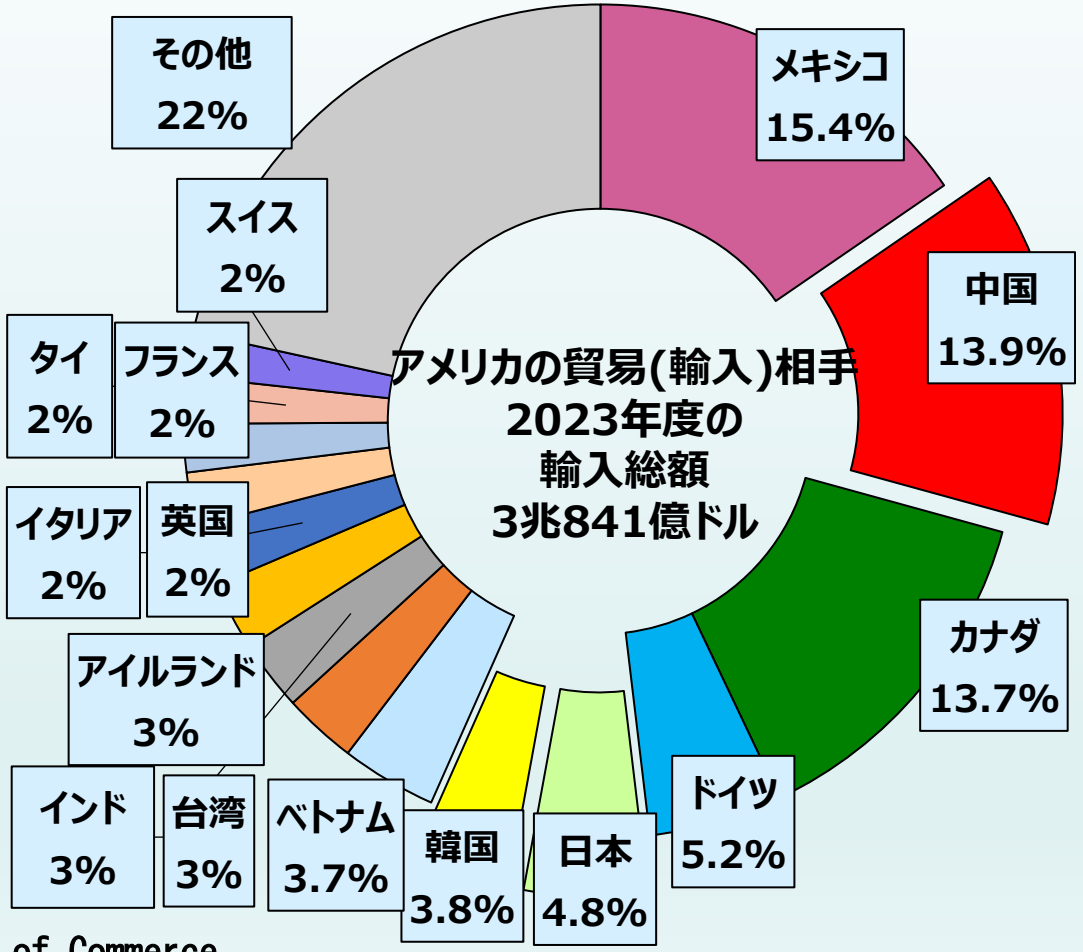
Copyright © 2023　HuaZhong Consulting Group　All Rights Reserved.

アメリカの貿易（輸出と輸入）相手国、地区の分布(2023年度)

2023年のアメリカの貿易（輸出）相手国と比率
輸出総額：2兆191億ドル
対中国の比率7.3%、金額　1,478億ドル (第3位)
対日本の比率3.8%、金額　762億ドル (第6位)
対韓国の比率3.2%、金額　648億ドル (第8位)



2023年のアメリカの貿易（輸入）相手国と比率
輸入総額：3兆841億ドル
対中国の比率13.9%、金額　4,272億ドル (第2位)
対日本の比率　4.8%、金額　1,473億ドル (第5位)
対韓国の比率　3.8%、金額　1,162億ドル (第6位)

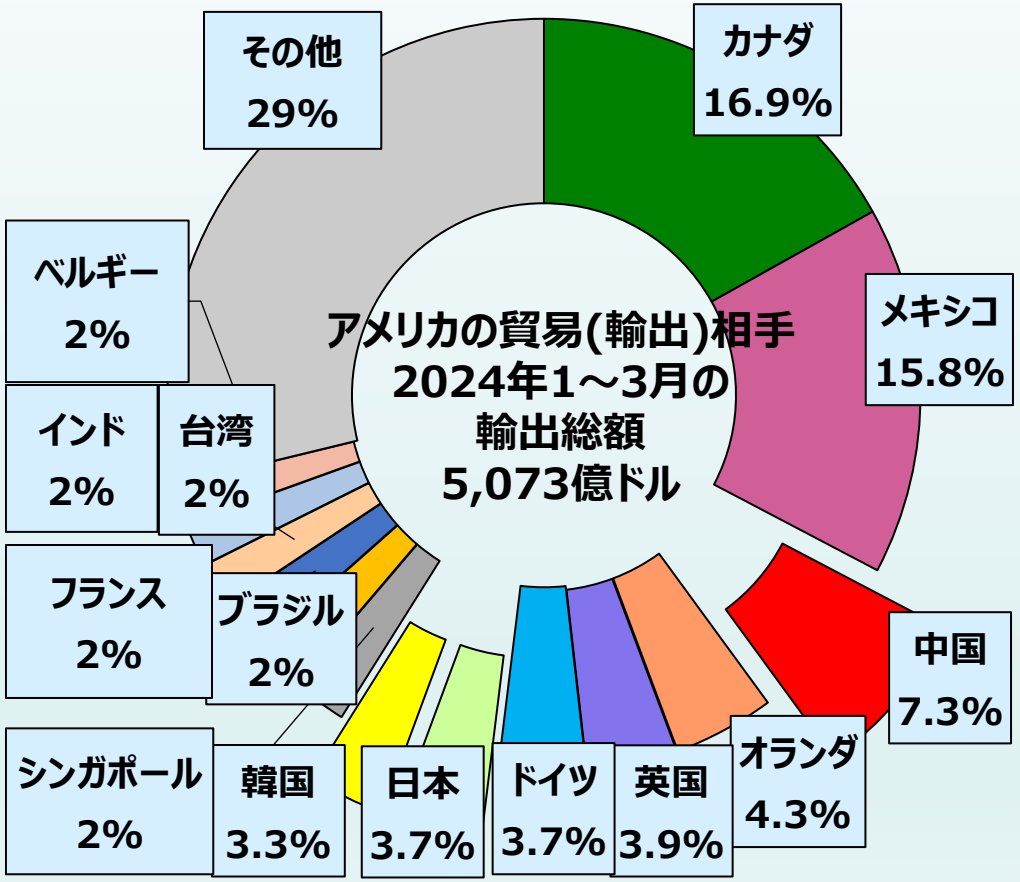


出典：　U.S. Department of Commerce
International Trade Administration

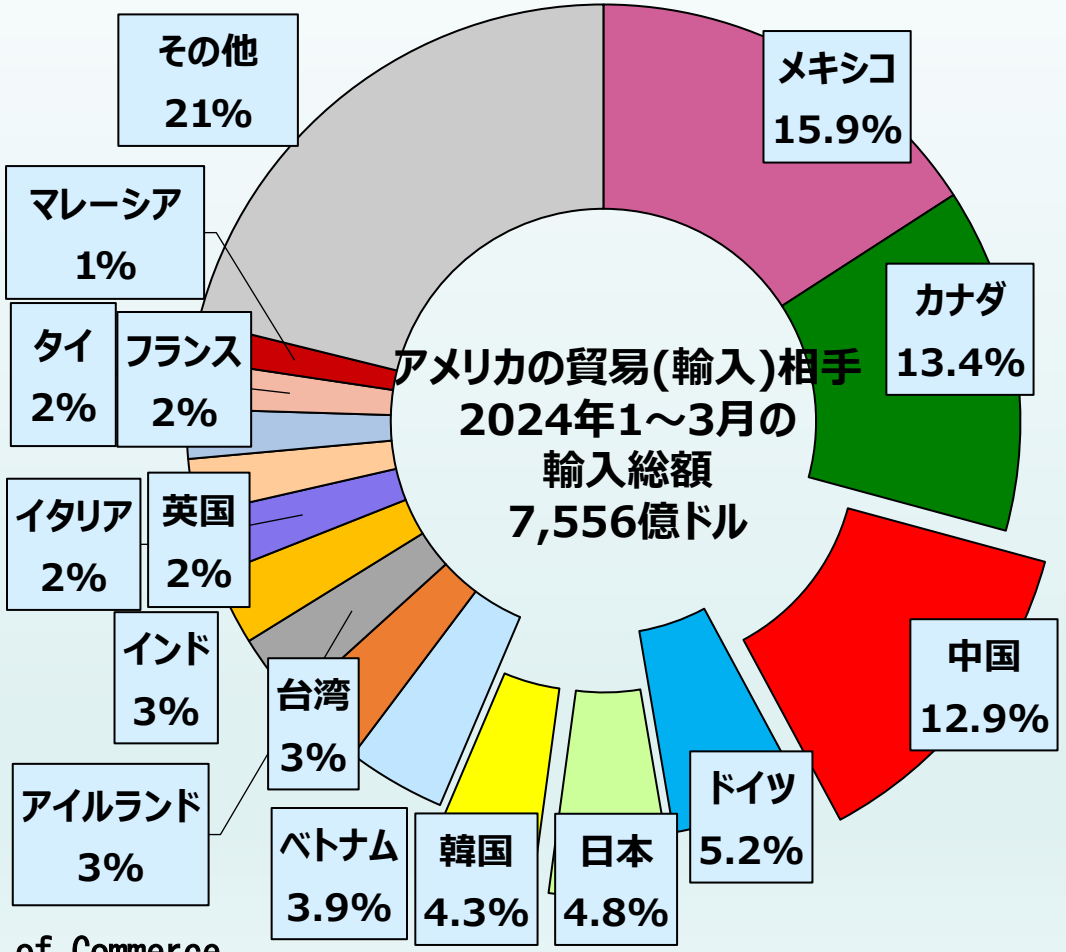
Copyright © 2023　HuaZhong Consulting Group　All Rights Reserved.

アメリカの貿易（輸出と輸入）相手国、地区の分布(2024年1～3月)

2024年1～3月のアメリカの貿易（輸出）相手国と比率
輸出総額：5,073億ドル
対中国の比率7.3%、金額　369億ドル (第3位)
対日本の比率3.7%、金額　187億ドル (第7位)
対韓国の比率3.3%、金額　167億ドル (第8位)



2024年1～3月のアメリカの貿易（輸入）相手国と比率
輸入総額：7,556億ドル
対中国の比率12.9%、金額　976億ドル (第3位)
対日本の比率　4.8%、金額　366億ドル (第5位)
対韓国の比率　4.3%、金額　322億ドル (第6位)

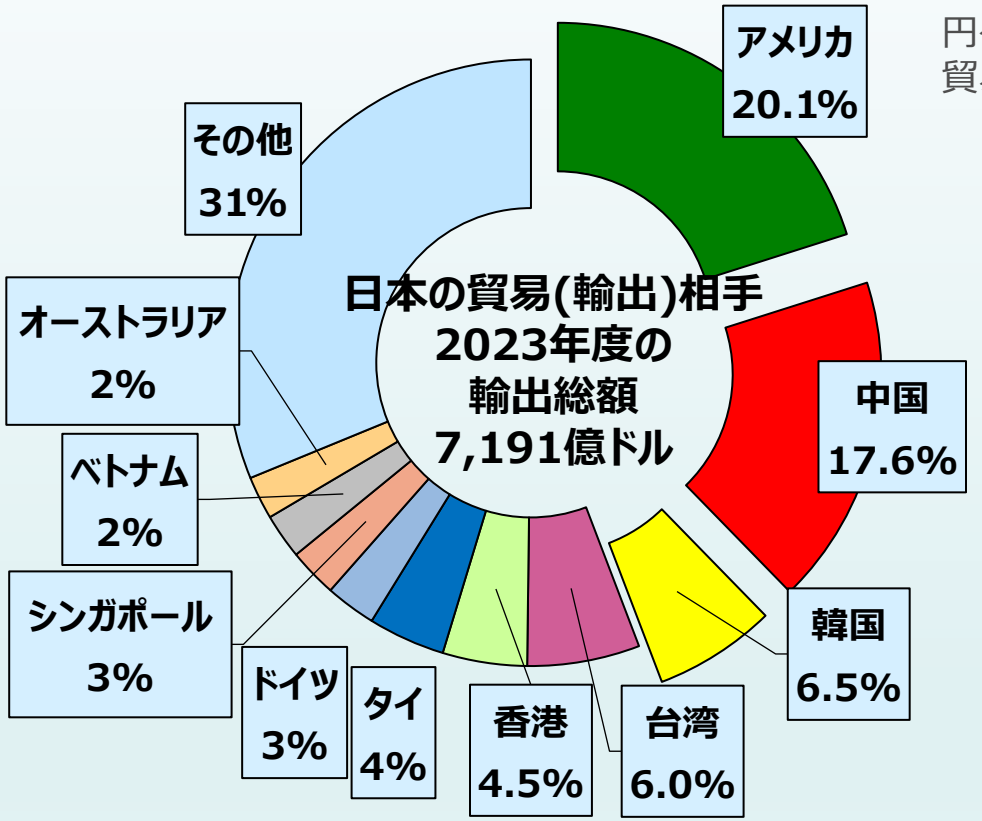


出典：　U.S.　Department of Commerce
International Trade Administration

Copyright © 2024　HuaZhong Consulting Group　All Rights Reserved.

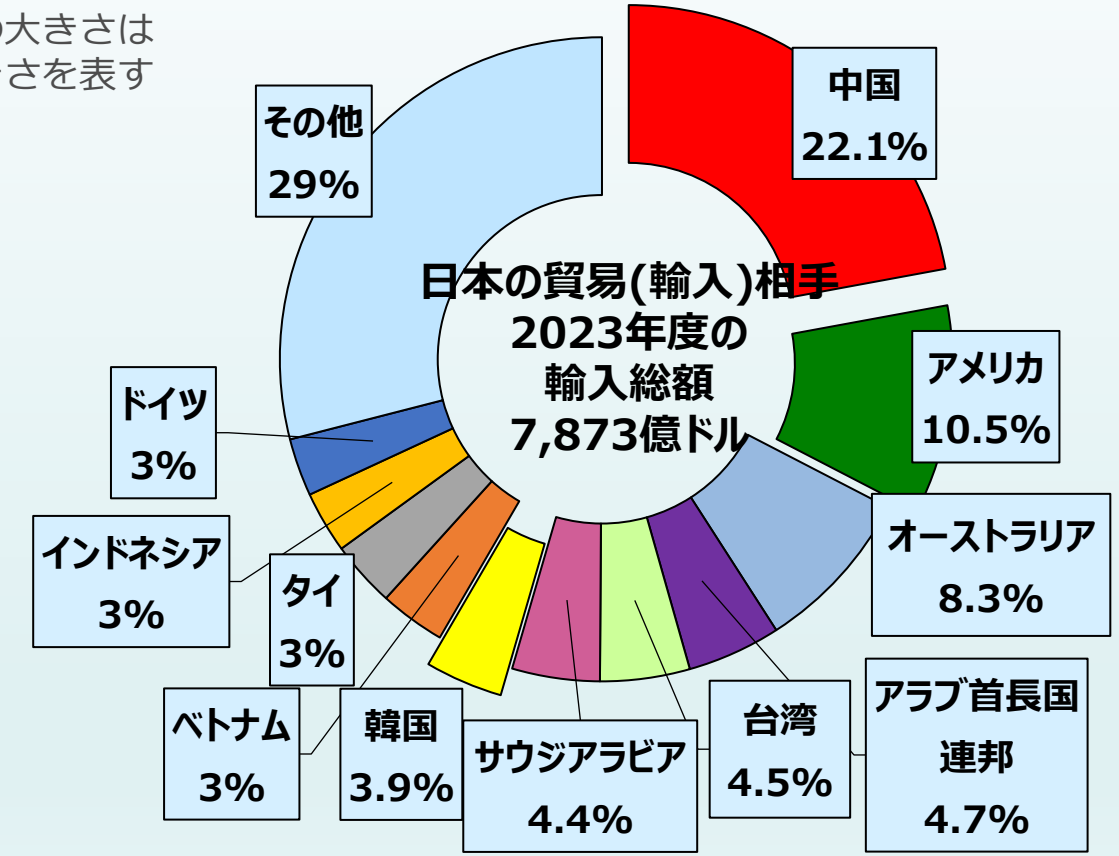
日本の貿易（輸出と輸入）の相手国、地区(2023年度)

2023年度の日本の輸出相手国、地区と比率
輸出総額：7,191億ドル
対アメリカの比率20.1%、金額1,442億ドル (第1位)
対中国の比率17.6%、金額　1,265億ドル (第2位)
対韓国の比率6.5%、　金額　470億ドル (第3位)



円グラフの円の大きさは
貿易総額の大きさを表す

2023年度の日本の輸入相手国、地区と比率
輸入総額：7,873億ドル
対中国の比率22.1%、金額　1,742億ドル (第1位)
対アメリカの比率10.5%、金額　824億ドル (第2位)
対韓国の比率3.9%、　金額　311億ドル (第7位)



出典：日本財務省貿易統計

Copyright © 2023　HuaZhong Consulting Group　All Rights Reserved.

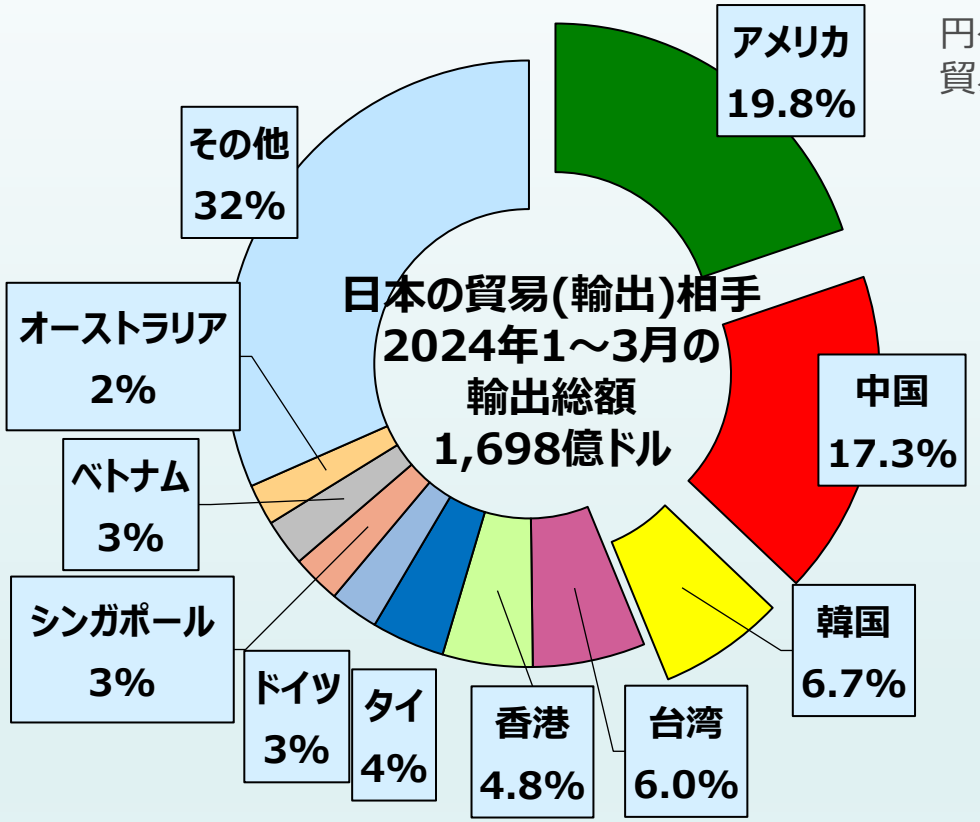
日本の貿易（輸出と輸入）の相手国、地区（2024年1～3月）

2024年1～3月の日本の輸出相手国、地区と比率

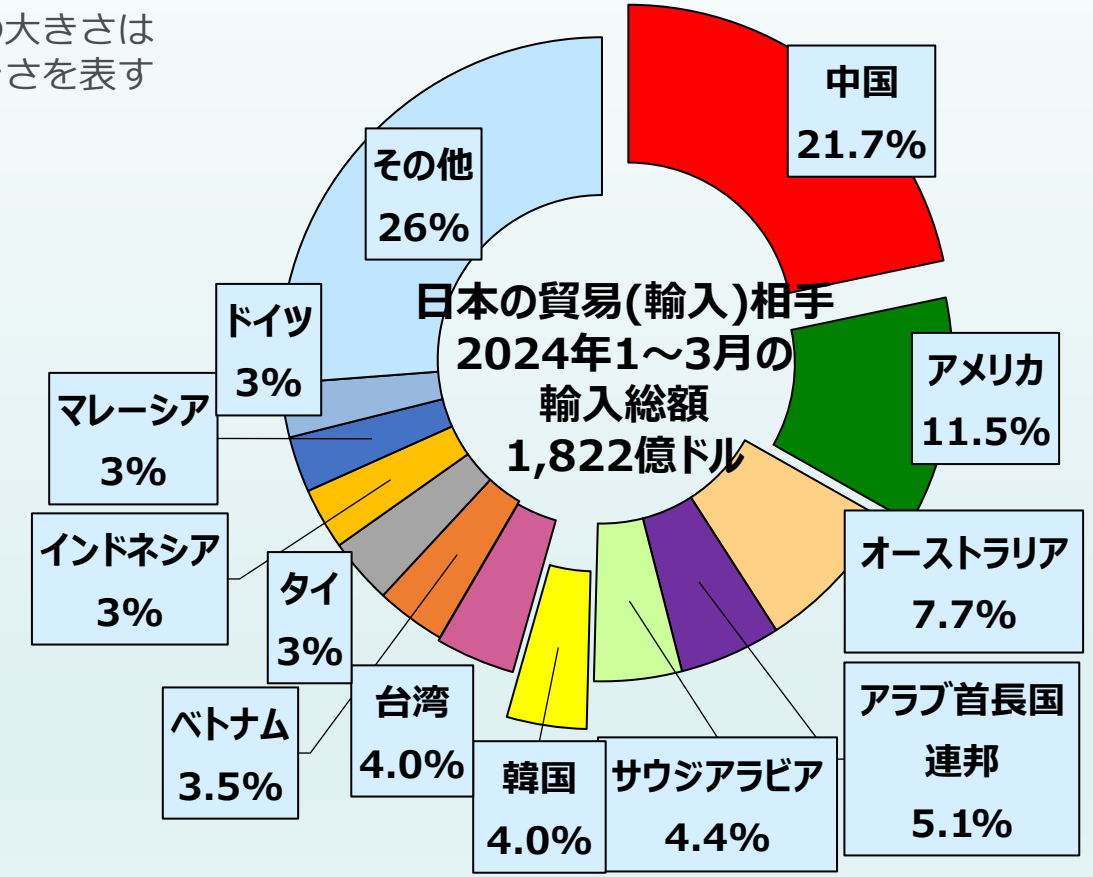
輸出総額：1,698億ドル
対アメリカの比率19.8%、金額　337億ドル（第1位）
対中国の比率　17.3%、金額　295億ドル（第2位）
対韓国の比率　　6.7%、金額　114億ドル（第3位）

2024年1～3月の日本の輸入相手国、地区と比率

輸入総額：1,822億ドル
対中国の比率　21.7%、金額　　396億ドル (第1位)
対アメリカの比率11.5%、金額　210億ドル (第2位)
対韓国の比率　　4.0%、金額　　73億ドル (第6位)



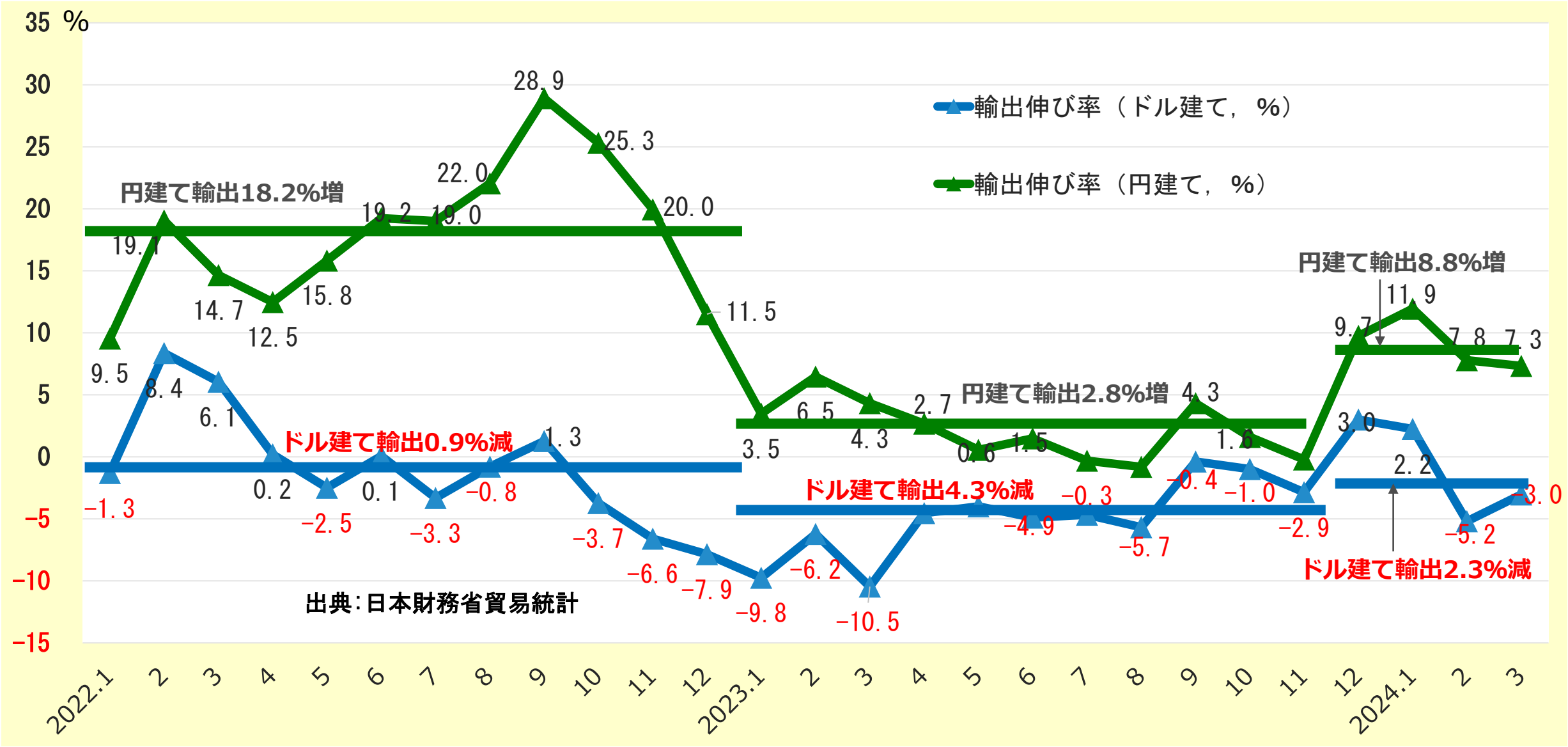
円グラフの円の大きさは
貿易総額の大きさを表す



出典：日本財務省貿易統計

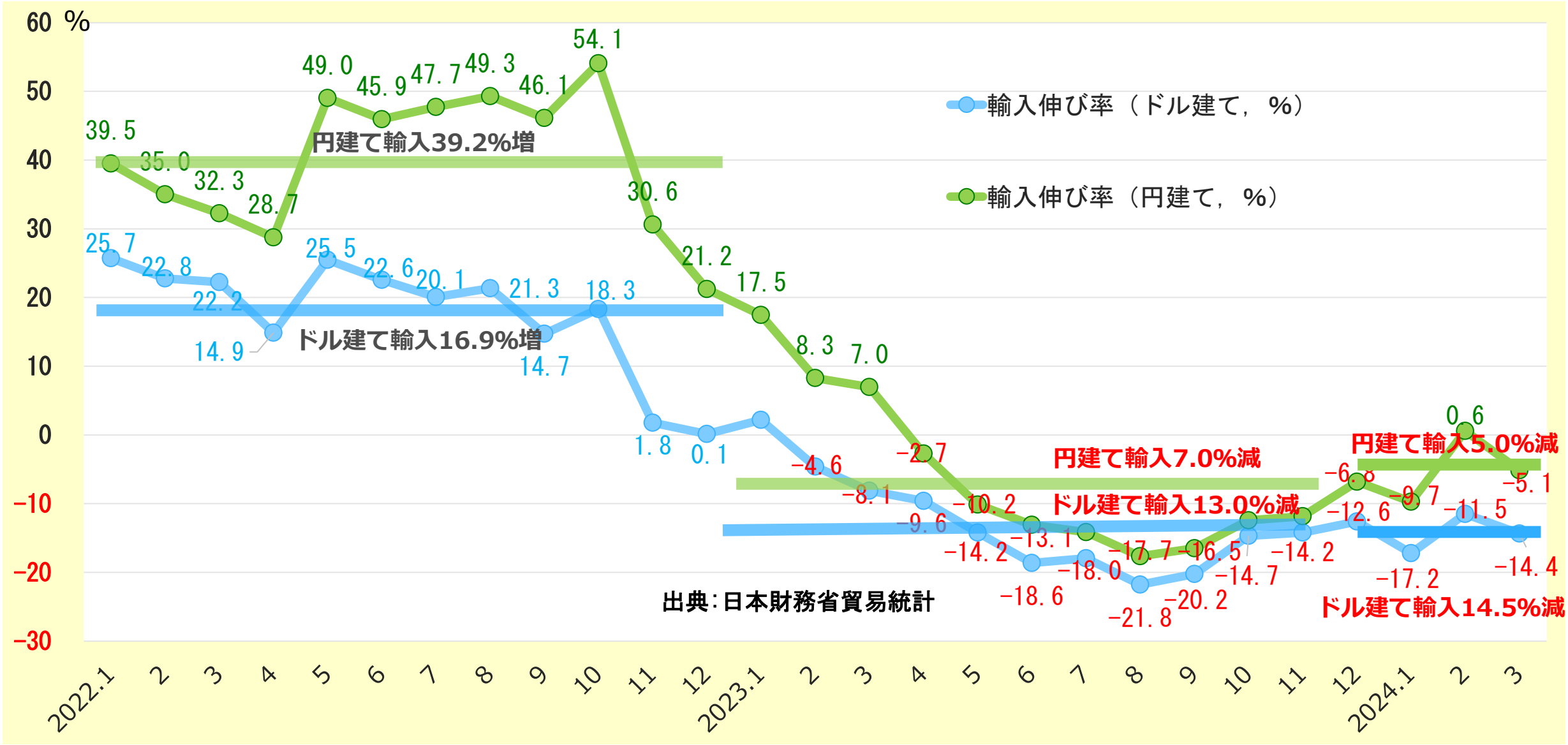
Copyright © 2024　HuaZhong Consulting Group　All Rights Reserved.

日本貿易動向（輸出）:日本円表示と米ドル表示の増減率対比



Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

日本貿易動向（輸入）:日本円表示と米ドル表示の増減率対比



Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

Ⅴ．中国における急速なNEV(New Energy Vehicle)化

-2023年の新車販売台数は3,009.4万台で、輸出台数も前年比58%増の491万台になり
日本を抜いて輸出台数世界一の座を確保した。東南アジアで日本車のシェアを奪いつつある

-年間販売台数は、2013年に2,000万台を超えて、10年間で更に1,000万台を積み上げた。
世界の自動車生産台数は8,500万台なので、中国はその35%を占めている。

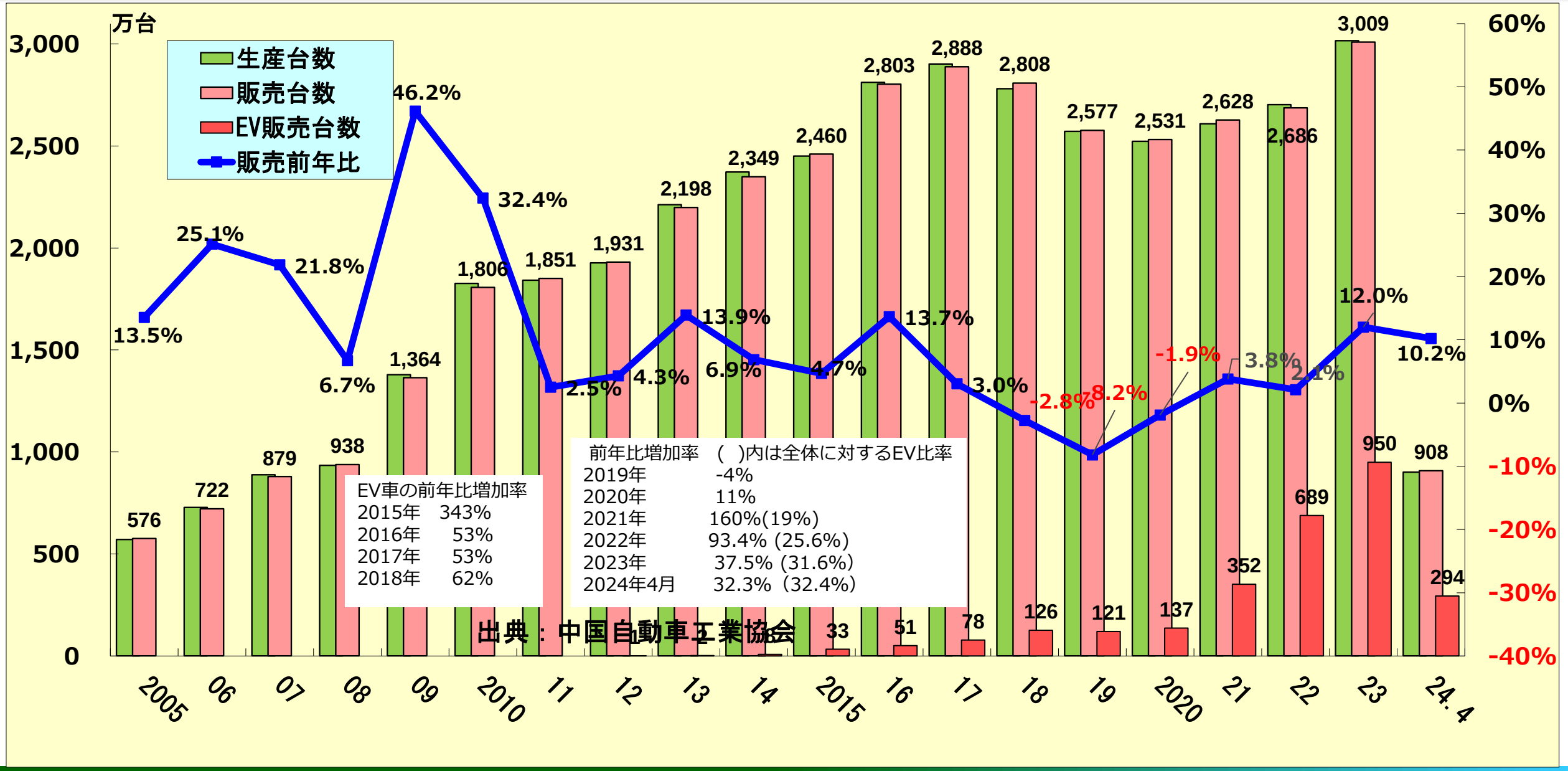
-NEV(New Energy Vehicle)車は、前年比38%増の950万台を販売して、新車全体販売
台数の32%になった。政府目標は2025年までに20%前後だったので、軽く突破した。
それだけガソリン車が減少したということで、日、独、米、韓系の自動車会社は苦戦

-内訳は、電気自動車（EV）が25%増の668.5万台、プラグインハイブリッド車(PHEV但し
レンジエクステンダー式HVを含む)が85%増の280.4万台、燃料電池車(FCV)が72%増
の6千台。PHEV車の伸び率が大きい

-中国ブランド車が躍進、全体の56%、1,459.6万台、前年比24%増、ドイツ系が17.8%、
日系が14.4%、米国系が8.8%、韓国系が1.6%、その他1.4%
車載電池メーカーは世界上位10社中、上位3社の中国企業で80%超のシェアを持つ。

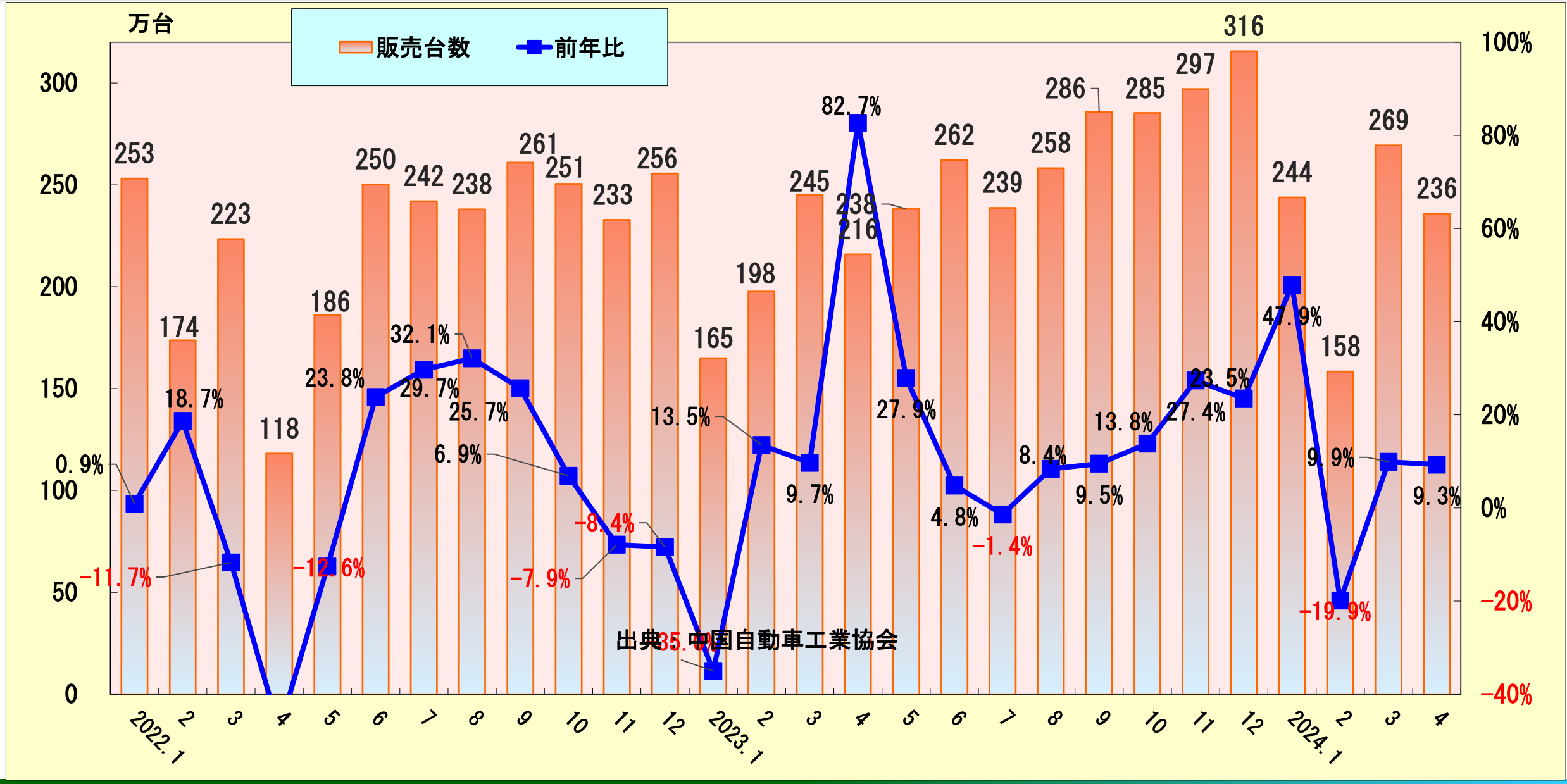
Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

中国の自動車・EVの生産販売台数



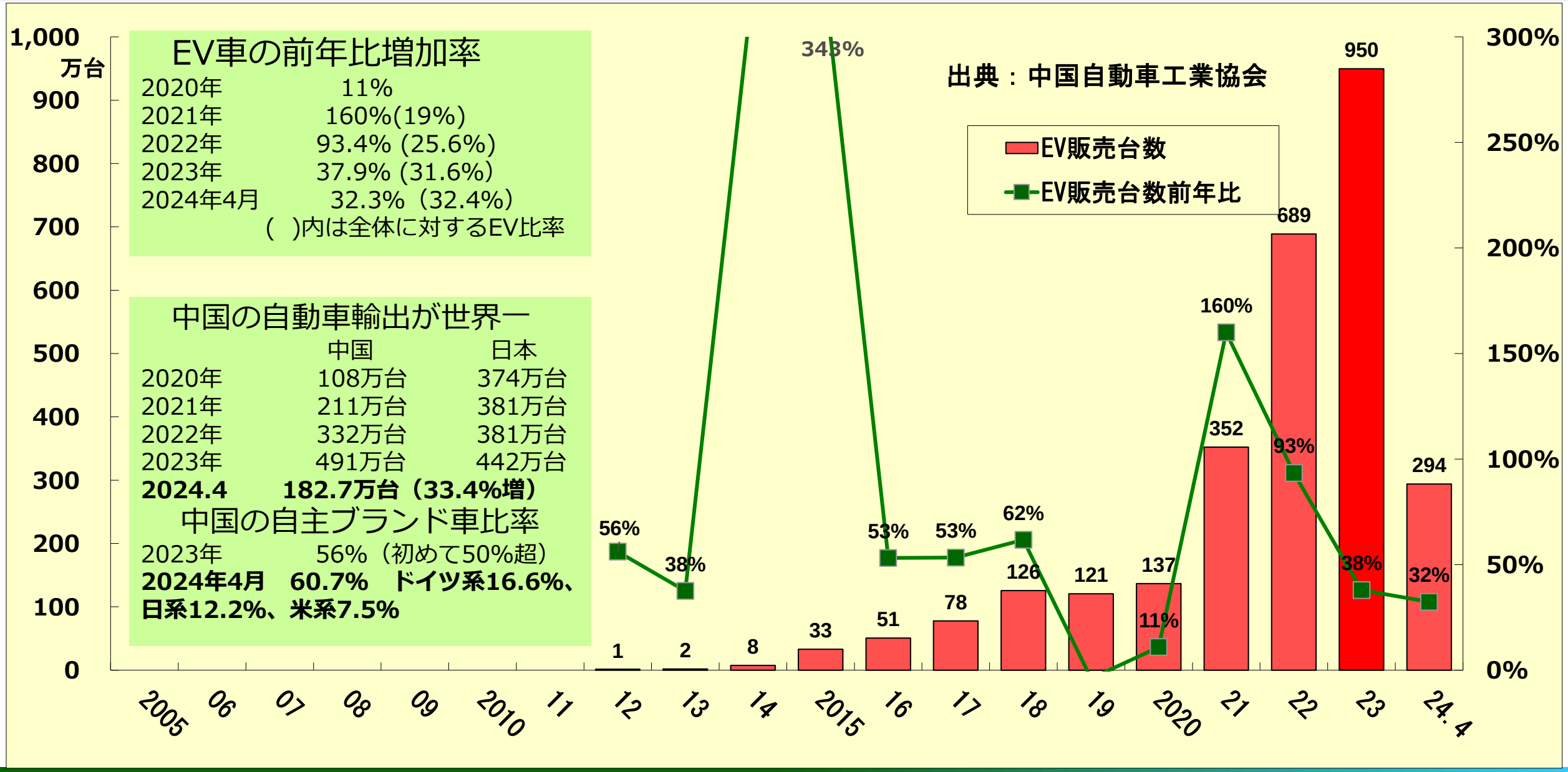
Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

中国の自動車の生産販売台数（月別）



Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

中国のNEV販売台数の急速な増加　輸出台数は日本超え



Copyright © 2024　HuaZhong Consulting Group　All Rights Reserved.

日本と中国の自動車メーカー販売台数（大型＋小型＋商用車）

年度	2023年全年		2022年全年		2021年全年	
販売する国	中国	日本	中国	日本	中国	日本
単位	万台	万台	万台	万台	万台	万台
全体合計	3,009	477.9	2686	420.1	2,627	444.8
内）EV	949.5 （前年比+37.9%）		689 （前年比+93.4%）		352 （前年比2.6倍）	
トヨタ	191	157.8	194	121.7	194.4	142.4
レクサス（輸入車）	18	9.4	18	4.1	22.6	5.1
ホンダ	123	59.4	137	26.9	156.2	58.0
日　産	79	48.0	105	27.2	138.1	45.2
上海自動車	503	/	530	/	546.4	/
BYD	302	/	187	/	75	/

Copyright © 2024　HuaZhong Consulting Group　All Rights Reserved.

Ⅵ．その他の話題

１．サイバーセキュリティ保有特許数で中国が10社中6社を占めた

-日本や米国、中国、欧州連合（EU）など世界95の国・地域に登録された各企業の保有特許を対象に抽出し、23年8月時点のトップは米IBMの6363件、2位はファーウェイの5735件、3位は騰訊控股（テンセント）の4803件だった。（出典：日本経済新聞　2023年11月4日）

２．自然科学分野で引用回数「トップ10%論文数」で中国が1位

-ランキング1位は、5万4405本の中国。2位は3万6208本の米国。3位は8878本の英国
中国は「トップ1%論文数」でも世界1位だった。(出典：nippon.com 2023.08.21)

3．AI 関連発明の出願件数は増加傾向にあり、中国とアメリカが突出

-2020年のAI関連発明の特許出願件数は、中国48,622件、アメリカ18,622件、韓国6,597件欧州3,034件、日本1,900件（出典：日本政府 特許庁審査第四部 審査調査室の「2023年度AI関連発明の出願状況調査 2023年10月）

４．脱炭素戦略における中国の太陽光発電、風力発電の世界シェア

-世界の太陽光発電設置容量：中国 254,355MW,アメリカ75,572MW,日本67,000MW,ドイツ53,783MW,インド39,211MW,イタリア21,600MW,（出典：solar-jp.net/2340）

Copyright © 2024　HuaZhong Consulting Group　All Rights Reserved.

スパイの嫌疑をかけられないために。中国での調査は資格が必要！

華鐘諮詢

中国では、外国人、外国企業及びその中国における代表処、外資系企業などが、会社業務で中国国内で「調査」をしようとする場合、必ずその調査は「中華人民共和国渉外調査許可証」を保有する企業に委託しなければならない、と法律で定められています。すなわち、自分で調査する行動自体が、中国では重大な違法行為になることに注意が必要です。

その法律とは「中華人民共和国渉外調査管理弁法」（国家統計局2004年10月公布）であり、外国人、外国企業、外資系企業が中国国内で自ら「調査」することを禁止して、資格のある特定の企業に「調査」を委託しなければならないと定めています。目的は渉外調査（外国人、外国企業の調査）を規範化して国家の安全と社会共通の利益を守ることとされています。

上海華鐘コンサルタントサービス有限公司は、この法律施行と同時にこの渉外調査資格を申請して、最初の審査で、最高級の「全国範囲の調査資格」を認定されました。証書の有効期限は3年、3年ごとに国家統計局より調査実績のヒアリングが行われて、更新の可否が判断されます。「渉外調査許可証」を取得しているのは、大部分が社会科学院などの国有企業や中国資本企業であり、外資系企業の資格取得は10%もありません。

渉外調査とは、「①海外組織、個人又は海外組織の在中国機関の委託、資金援助を受けて行われる市場調査と社会調査。②海外組織、個人又は海外組織の在中国機関との協力により実施する市場調査と社会調査。③海外組織の在中国機関が法に依拠して実施する市場調査。④調査資料、調査結果を海外組織、個人又は海外組織の在中国機関に提供する市場調査と社会調査」をいう。

用語の定義は、市場調査とは、関連商品及び商業サービスの市場における有り様と見通しの情報を収集整理する活動を指す。社会調査とは、市場調査を除き、アンケート、訪問面談、視察又はその他方式にて、関連社会情報を収集、整理、分析する活動を指す。海外とは、中華人民共和国の関外を指す。国内とは、中華人民共和国の関内を指す。海外組織の在中国機関とは、中国政府の認可を経て、海外組織が国内に設立する分支機構及び常駐代表機構を指す。渉外調査機関とは、法に依拠して渉外調査許可証を取得した機関を指す。

渉外調査の実施は、「渉外市場調査は、渉外調査機関を通じて実施しなければならず、渉外社会調査は必ず渉外調査機関を通じて報告、審査認可取得後、実施しなければならない。海外組織及び個人は国内にて市場調査及び社会調査を直接行ってはならず、渉外調査許可証を取得していない機関を通じて市場調査及び社会調査を実施してはならない。必ず「渉外調査許可証」取得済みの渉外調査許可企業に委託しなければならない。

Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

中華人民共和国涉外調査許可証

中 华 人 民 共 和 国

涉 外 调 查 许 可 证

国统涉外证字第 0046 号

调查机构名称 上海华钟咨询服务有限公司 法定代表人（主要负责人） 古林恒雄

登记类型 有限责任公司(中外合资) 许可范围 全国

住 所 上海市淮海中路755号新华联大厦东楼23楼

根据《涉外调查管理办法》规定，准予该机构从事涉外调查活动。

有效期限 自 2022 年 09 月 28 日至 2025 年 09 月 27 日

制证机关 国家统计局

颁发机关 国家统计局

颁发日期 2022 年 09 月 28 日

Copyright © 2024 HuaZhong Consulting Group All Rights Reserved.

終わりに

ご清聴、誠にありがとうございました。

ご質問事項がありましたら、随時、メールなどでお問い合わせください。
後ほど、メールにて書面回答を送付致します。

毎年、5月と11月に定例の華鐘コンサルタント中国セミナーを開催します。
また、毎月テーマを選んで月例セミナーも開催しています。
参加費用は無料ですのでご興味があれば下記HPからお申し込みください。

華鐘コンサルタントグループ
董事長　古林恒雄

(Mail:shcsskr@shcs.com.cn　HP:www.shcs.com.cn)

Copyright © 2024　HuaZhong Consulting Group　All Rights Reserved.